

Fujitsu メインフレーム帳票変換装置 連帳プリンター接続モデル

取扱説明書

目次

第 1 章	概要	22
1.1	製品概要	22
1.2	機能概要	23
1.3	各部の名称	23
1.3.1	前面	23
1.3.2	背面	27
1.4	接続構成	29
1.5	印刷機能	30
1.5.1	バーコード印刷	30
1.6	運用イメージ	31
第 2 章	運用方法	32
2.1	設定項目の確認	32
2.2	印刷運用の流れ	33
2.2.1	運用開始前の準備と設定	33
2.3	運用の手順	35
2.3.1	電源 ON	36
2.3.2	電源 OFF	37
2.3.3	本装置の設定	38
2.3.4	富士通メインフレームからの印刷実行	38
2.3.5	プリンター装置の印字調整	39
2.3.6	運用時の注意事項	39
2.4	従来装置と本装置の運用の違い	39
第 3 章	Web-UI の概要	41
3.1	Web-UI の操作画面	41
3.2	動作環境	41
3.3	注意事項	42
3.4	ログイン	43
3.4.1	アクセス手順	43
3.4.2	ユーザーモードと権限	44
3.4.3	ユーザーモードのパスワード	44
3.5	Web-UI の画面構成	45

第 4 章	Web-UI 操作（メインパネル）	46
4.1	状態コード表示エリア	47
4.2	装置状態表示エリア①	47
4.3	装置状態表示エリア②	48
4.4	メッセージエリア	49
4.5	インフォメーション通知エリア	52
4.6	装置情報表示エリア	54
4.7	接続チャンネル情報表示エリア	55
4.8	データランプ表示エリア	56
4.9	装置操作ボタンエリア	56
4.10	「ログアウト」ボタンエリア	62
第 5 章	Web-UI 操作（メニューパネル／コンテンツパネル）.....	63
5.1	一般ユーザーモードメニュー	69
5.1.1	送信ファイル情報表示	70
5.1.2	設定値一覧表示	71
5.1.3	印刷位置設定	72
5.1.4	用紙設定	76
5.1.5	印刷設定（一般設定）	82
5.1.6	印刷設定（JEF 設定）	84
5.1.7	印刷設定（第 2FPD 設定）	86
5.1.8	印刷設定（JEF/AP 設定）	92
5.1.9	送信ファイル設定	93
5.1.10	チャンネル設定	96
5.1.11	用紙長設定	98
5.1.12	データ操作	99
5.1.13	ユーザー管理者モード	105
5.2	ユーザー管理者モードメニュー	106
5.2.1	ネットワーク設定	107
5.2.2	送信先設定	110
5.2.3	アクセス制御設定	114
5.2.4	日時設定	115
5.2.5	表示設定	118
5.2.6	ログ操作	123
5.2.7	UPS 設定	126
5.2.8	パスワード変更	129
5.2.9	一般ユーザーモード	131

第 6 章	トラブルシューティング	132
付録 A	仕様	138
A.1	基本仕様	138
A.2	データ形式の仕様	139
A.3	印字範囲と印字禁止領域	141
A.4	印刷範囲	142
A.5	通信要件	144
付録 B	非互換一覧.....	145
付録 C	設置諸元.....	147
C.1	設置条件（プリンター装置、運用管理端末、および UPS を除く）.....	147
付録 D	オプション機構.....	149
付録 E	装置添付品.....	150
付録 F	周辺機器（推奨）.....	151
付録 G	定期保守のお願い.....	152
付録 H	プリンター設定一覧	153
付録 I	マーク印刷.....	168

目次

図 1.1	本装置の接続例.....	22
図 1.2	フロントパネル.....	23
図 1.3	フロントパネルのコントロールのボタンと表示ランプ.....	24
図 1.4	ドライブの表示ランプ.....	26
図 1.5	背面と電源ユニット.....	27
図 1.6	FCLINK カード（標準）.....	28
図 1.7	接続構成例.....	29
図 3.1	Web-UI.....	41
図 3.2	通信エラーのエラーダイアログ例.....	42
図 3.3	Web-UI の画面構成.....	45
図 4.1	メインパネルの構成.....	46
図 4.2	エラーコード表示.....	48
図 4.3	データ処理中表示.....	49
図 4.4	エラーメッセージ表示.....	49
図 4.5	ジョブ名表示.....	50
図 4.6	再起動メッセージ表示.....	51
図 4.7	インフォメーション通知.....	52
図 4.8	インフォメーションのポップアップ画面.....	52
図 4.9	装置名.....	54
図 4.10	ファームウェア版数表示.....	54
図 4.11	日時表示.....	55
図 4.12	ホスト接続情報.....	55
図 4.13	「スタート」ボタン.....	57
図 4.14	プリンター装置および富士通メインフレームとの通信中画面.....	57
図 4.15	READY 状態のメインパネル.....	58
図 4.16	「ストップ」ボタン.....	59
図 4.17	ストップ処理中画面.....	59
図 4.18	NOT READY 状態のメインパネル.....	59
図 4.19	リセット可能なエラー状態.....	60
図 4.20	リセット処理中画面.....	60
図 4.21	「ログアウト」ボタンエリア.....	62
図 5.1	メニューパネルとコンテンツパネル（READY 状態）.....	63
図 5.2	メニューパネルとコンテンツパネル（NOT READY 状態）.....	64
図 5.3	ユーザーモード表示領域.....	65
図 5.4	設定情報入力時のエラー表示例.....	66
図 5.5	設定未適用時の警告画面.....	67
図 5.6	設定未適用時の確認画面.....	67
図 5.7	送信ファイル情報表示.....	70
図 5.8	設定値一覧表示.....	72
図 5.9	印刷位置設定.....	73
図 5.10	垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の移動範囲.....	74
図 5.11	用紙設定.....	76
図 5.12	用紙情報登録画面.....	79
図 5.13	用紙情報削除確認画面.....	80
図 5.14	用紙情報詳細画面.....	81
図 5.15	印刷設定の一般設定.....	82

図 5.16	印刷設定の JEF 設定.....	84
図 5.17	第 2FPD 設定	86
図 5.18	第 2FPD 削除確認画面	89
図 5.19	プロテクト画面.....	90
図 5.20	コメント編集画面.....	91
図 5.21	印刷設定の JEF/AP 設定	92
図 5.22	送信ファイル設定（ジョブ名表示設定無効）.....	93
図 5.23	送信ファイル設定（ジョブ名表示設定有効）.....	94
図 5.24	チャンネル設定	97
図 5.25	用紙長設定	98
図 5.26	データ操作	99
図 5.27	「クリアプリント」ボタン操作可能状態.....	100
図 5.28	クリアプリント確認画面.....	100
図 5.29	クリアプリント実行中画面	100
図 5.30	クリアプリント失敗画面.....	101
図 5.31	「データキャンセル」ボタン操作可能状態	102
図 5.32	データキャンセル確認画面	102
図 5.33	データキャンセル実行中画面	102
図 5.34	送信ファイルログ画面.....	104
図 5.35	ユーザー管理者モードのパスワード入力画面.....	105
図 5.36	パスワード入力エラー画面	105
図 5.37	ネットワーク設定（LAN1）.....	107
図 5.38	ネットワーク設定（LAN2）.....	107
図 5.39	ネットワーク設定（ゲートウェイ）.....	108
図 5.40	ネットワーク設定の適用画面	109
図 5.41	送信先設定（プリンター）.....	110
図 5.42	送信先設定の適用画面.....	111
図 5.43	接続確認の確認画面	111
図 5.44	接続確認中を示す画面.....	112
図 5.45	接続成功時の確認結果画面	112
図 5.46	接続失敗時の確認結果画面	112
図 5.47	プリンター接続中の画面.....	113
図 5.48	アクセス制御設定.....	114
図 5.49	アクセス制御設定の適用画面	115
図 5.50	日時設定.....	116
図 5.51	NTP サーバーとの時刻同期中画面.....	117
図 5.52	表示設定（日時表示）.....	118
図 5.53	表示設定（接続先情報表示）.....	119
図 5.54	表示設定（ジョブ名表示）.....	119
図 5.55	日時表示を「無効」に設定した場合	120
図 5.56	日時表示を「有効」に設定した場合	120
図 5.57	接続先情報表示の画面.....	121
図 5.58	接続先情報表示削除確認の画面.....	122
図 5.59	サポートログ収集.....	123
図 5.60	サポートログ収集確認画面	123
図 5.61	サポートログ収集中ポップアップ画面	124
図 5.62	サポートログ収集の成功画面	124
図 5.63	サポートログ収集の失敗画面	124
図 5.64	ダウンロード画面.....	125
図 5.65	確認画面.....	125
図 5.66	UPS 設定（UPS）.....	126
図 5.67	UPS 設定（自動停止）.....	126
図 5.68	設定可能な自動停止	127

図 5.69	入力可能な UPS	128
図 5.70	UPS 設定の適用画面	129
図 5.71	パスワード変更（一般ユーザー）.....	129
図 5.72	パスワード変更（ユーザー管理者）.....	130
図 5.73	一般ユーザーパスワードの初期化画面.....	130
図 5.74	一般ユーザーモード	131
図 A.1	印刷範囲（F モード）.....	142
図 A.2	印刷範囲（I モード）.....	143
図 C.1	保守エリア	148
図 I.1	コピーセパレーションマークの差異イメージ	168

表目次

表 1.1	コントロールパネルのボタンと表示ランプ	24
表 1.2	ドライブの表示ランプ	26
表 1.3	背面と電源ユニット	28
表 1.4	FCLINK カード	28
表 2.1	初期設定と運用中の操作／表示項目	32
表 3.1	Web-UI の動作環境	41
表 3.2	ユーザーモードとアクセス制限	44
表 3.3	ユーザーモードと初期パスワード	44
表 3.4	画面構成	45
表 4.1	メインパネルの部品一覧	46
表 4.2	装置状態表示エリア①	47
表 4.3	メッセージアイコンとメッセージ表示	52
表 4.4	インフォメーションのポップアップ画面	53
表 4.5	ホスト接続情報表示	55
表 4.6	データランプの表示状態と意味	56
表 4.7	装置状態の表示と機能	56
表 4.8	「電源」ボタンを押したときのポップアップ画面	61
表 5.1	ユーザーモード表示領域	65
表 5.2	装置状態と選択可能なメニュー	66
表 5.3	メニューパネル	68
表 5.4	一般ユーザーモードメニュー一覧	69
表 5.5	送信ファイル情報表示の項目	70
表 5.6	印刷位置設定の設定項目	73
表 5.7	垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の移動量調整可能範囲	73
表 5.8	用紙設定	77
表 5.9	用紙情報（登録）	79
表 5.10	用紙情報（詳細）	81
表 5.11	印刷設定（一般設定）	83
表 5.12	印刷設定（JEF 設定）	84
表 5.13	印刷設定（第 2FPD 設定）	87
表 5.14	プロテクト画面の操作	90
表 5.15	コメント編集画面の操作	91
表 5.16	印刷設定（JEF/AP 設定）	92
表 5.17	送信ファイル設定（ジョブ名表示設定無効）の項目	93
表 5.18	送信ファイル設定（ジョブ名表示設定有効）の項目	94
表 5.19	送信ファイル名	96
表 5.20	チャンネル設定の項目	97
表 5.21	デフォルト用紙長の設定項目	98
表 5.22	送信ファイル一覧画面	103
表 5.23	送信ファイルログ画面	104
表 5.24	ユーザー管理者モードメニュー一覧	106
表 5.25	ネットワーク設定の項目	108
表 5.26	送信先設定の項目	110
表 5.27	アクセス制御設定の項目	114
表 5.28	日時設定の項目	116
表 5.29	接続先情報表示の項目	121

表 5.30	ジョブ名表示の設定項目.....	122
表 5.31	UPS の項目.....	127
表 5.32	パスワード変更の設定項目（一般ユーザー／ユーザー管理者）.....	130
表 6.1	状態コード一覧.....	132
表 6.2	エラーコード一覧.....	132
表 A.1	基本仕様.....	138
表 A.2	JEF（ラインプリンタモード）.....	139
表 A.3	JEF/AP（ページプリンタモード）.....	140
表 A.4	印字範囲と印字禁止領域.....	141
表 A.5	ネットワーク通信ポート.....	144
表 B.1	従来構成と富士通メインフレーム + 本装置 +CF191/CF168 との相違点.....	145
表 C.1	設置条件.....	147
表 C.2	設置条件（ラック搭載）.....	147
表 D.1	オプション.....	149
表 E.1	装置添付品.....	150
表 F.1	推奨周辺機器.....	151
表 H.1	システム設定.....	153
表 H.2	[入力ゲートウェイ]-[論理プリンター].....	156
表 H.3	[入力ゲートウェイ]-[ジョブテンプレート].....	156
表 H.4	[面付けテンプレートの登録情報一覧].....	159
表 I.1	用紙仕分け時のカット位置.....	168

はじめに

このマニュアルは、富士通メインフレームの帳票を、本装置を使用して、富士フイルムビジネスイノベーション社のモノクロ高速連帳プリンター Revoria Press CF191/CF168（以降、CF191/CF168 と表記）に印刷するための設定および運用する方法について説明しています。

このマニュアルは、本装置のシステム設計者およびオペレーターの手引きとしてご利用いただくことを目的として説明しています。

このマニュアルの内容についてよくご理解いただいたうえでご使用ください。

なお、プリンター装置の操作についてはプリンター装置のマニュアルを参照ください。

初版
2023 年 4 月

本装置は、日本国内でご利用いただくことを前提に製造・販売しております。
したがって、日本国外でのご使用はできません。

登録商標

本装置に関連する他社商標については、以下のサイトを参照してください。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/brand.html>

- Revoria Press は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。
- QR コードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- Magic Packet は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
- その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。
- このマニュアルに記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示（®、™）を付記していません。

内容と構成

このマニュアルは、以下の構成になっています。

- 第1章 概要

製品概要、機能概要、および装置外観の各部名称について説明しています。

- 第2章 運用方法

起動と停止、環境設定、印刷などの本装置の基本操作について説明しています。

- 第3章 Web-UI の概要

Web-UI を使用する際の動作環境、操作画面、各種メニューの操作手順について説明しています。

- 第4章 Web-UI 操作（メインパネル）

本装置の状態表示と主な操作（メインパネル）について説明しています。

- 第5章 Web-UI 操作（メニューパネル／コンテンツパネル）

本装置の状態表示と主な操作（メニューパネル／コンテンツパネル）について説明しています。

- 第6章 トラブルシューティング

トラブルシューティングについて説明しています。

付録として以下の内容を掲載しています。

- 付録 A 仕様
- 付録 B 非互換一覧
- 付録 C 設置諸元
- 付録 D オプション機構
- 付録 E 装置添付品
- 付録 F 周辺機器（推奨）
- 付録 G 定期保守のお願い
- 付録 H プリンター設定一覧
- 付録 I マーク印刷

安全に使用していただくために

このマニュアルには、本装置を安全に正しくお使いいただくための重要な情報を記載しています。本装置をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、[「安全上のご注意」\(P.15\)](#)をよく読みご理解されたうえで本装置をお使いください。
また、このマニュアルは、本装置の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

■ 電波障害対策について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

■ アルミ電解コンデンサについて

本装置のプリント板ユニットに使用しているアルミ電解コンデンサは寿命部品であり、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因になる場合があります。

目安として、通常のオフィス環境（25℃）で使用された場合には、保守サポート期間内（5年）には寿命に至らないものと想定していますが、高温環境下での稼働など、お客様のご使用環境によっては、より短期間で寿命に至る場合があります。寿命を超えた部品について、交換が可能な場合は、有償にて対応させていただきます。なお、上記はあくまで目安であり、保守サポート期間内に故障しないことをお約束するものではありません。

■ ハイセイフティ用途での使用について

本装置およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本装置を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

■ 瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷によって生じた電源ユニットの瞬時電圧低下により影響を受ける可能性があります。瞬時電圧低下を防ぐために、無停電電源装置（UPS）のご使用を推奨します。

（この注記は、JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）が発行したガイドライン『パーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策』に従っています。）

■ 「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術について

当社のドキュメントには「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

■ 高調波電流規格について

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

表記について

この取扱説明書は、いろいろな絵表示を使用しています。これは本装置を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は以下のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うおそれがあることを示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことがあり得ることと、物的損害が生じる危険性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものなのかを区別するために、上記の表示と同時に以下のような記号を使っています。



△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は感電注意）を示しています。



⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。



●で示した記号は、必ず行っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は電源プラグを抜く）を示しています。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号については、以下のような意味があります。

注意

お使いになるときに注意していただきたいことを記述しています。必ずお読みください。

備考

操作や設定を行ううえで知っておくと便利な機能や使い方など、本文を補足する内容を記載しています。

使用している用語について

項	用語	内容
1	JEF（ライン プリンタモード）	Japanese processing Extended Feature. 富士通が独自開発した拡張漢字コードをベースとした日本語処理機能を持つ印刷データの名称です。
2	JEF/AP（ページ プリンタモード）	Japanese processing Extended Feature/Advanced Printing. JEF の日本語処理機能に、アウトラインフォントやページ単位の制御などを加えることで、表現の自由度を大きく高めた拡張印刷データの名称です。
3	dpi	Dot Per Inch. プリンターの解像度（ドット密度）を表す単位記号です。約 25.4mm（1 インチ）あたりに印刷されるドット数を表します。
4	CPI	Character Per Inch. 約 25.4mm（1 インチ）あたりに印刷できる文字数を表します（文字ピッチとも言います）。
5	LPI	Line Per Inch. 約 25.4mm（1 インチ）あたりに印刷できる行数を表します（行ピッチとも言います）。
6	坪量 (g/m ²)	1 m ² あたりの用紙の重さ（用紙の厚さを示す単位）です。
7	連量 (kg)	四六判用紙 1000 枚の重さ（用紙の厚さを示す単位）です。
8	GS1-128	医療用などに使用される GS1-128 コード（旧 UCC/EAN-128）です。
9	GS1-128 （料金代理収納）	公共料金など代理収納 GS1-128 コード（（旧 UCC/EAN-128）コンビニ料金代理収納用）です。
10	CF191/CF168	富士フイルムビジネスイノベーション社のモノクロ高速連帳プリンター Revoria Press CF191/CF168 です。

安全上のご注意

設置時の注意事項

■ 準備

指示



本装置は、情報技術機器の関連する安全規則に準拠しています。本装置を設置する際は、保守技術員（担当 CE）にご連絡ください。

このマニュアルには、ハードウェアの設置作業の一部としてユーザーが注意すべき点や禁止事項、および保守技術員（担当 CE）または担当者が行うべき作業に関する情報を記載しています。

■ 輸送、開梱、設置

指示



- 本装置が寒い環境から操作室に移動された場合、結露が生じる場合があります。本装置が室温で温まり、完全に乾いた状態になるまで、本装置の起動を実施しないでください。順応時間は、本装置の構成や搭載により異なりますが、最低でも 12 時間以上必要です。
- 本装置の開梱から、設置および装置を使用開始するまで、本装置に関する設置要件や取扱情報の指示に従ってください。設置要件には、設置場所の大きさ、電気値、必要な環境、気候条件などが含まれます。



禁止



- 湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に設置しないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルおよび各種ケーブル類に足が引っかかる場所には設置しないでください。故障の原因となります。
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所には設置しないでください。故障の原因となります。
- 腐食性ガスが発生する地域や塩害地域では使用しないでください。故障の原因となります。
腐食性ガスや塩風は、装置を腐食させ、誤動作、破損、および装置寿命を著しく短くする原因となりますので、空気清浄装置を設置するなどの対策が必要になります。また、塵埃が多い場所についても、記憶媒体の破損、冷却の妨げなどにより、誤動作や寿命短縮の原因となります。
 - 腐食性ガスの発生源としては、化学工場地域、温泉／火山地帯などがあります。
 - 塩害地域の目安としては、海岸線から 500m 以内となります。
- 本装置の上に重量物を載せないでください。また、本装置の上に物を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。また、本装置が故障したり誤動作をしたりする場合があります。

指示



- 地震発生時の転倒防止のために、ラックシステム設計の際には必ず装置／ラックの固定などの耐震対策を行う必要があります。担当営業員にご相談ください。
本装置（ラックシステムを含む）は、250gal（震度 5 強相当）以下の振動では問題なく動作されるように設計されています。
- 本装置は、水平で安定した場所、および大きな振動の発生しない場所に設置してください。振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所は、装置が落ちたり倒れたりしてけがの原因になりますので、設置しないでください。
- 本装置を移動するときは、必ず電源を切り、ケーブル類を外してください。

■ ケーブル類の接続

警告



荒天時にデータ転送路を接続したり、接続を切断したりしないでください（落雷の危険があります）。

ケーブル類を接続する場合または接続を取り外す場合、必ずプラグを持って作業を行ってください。ケーブルは絶対に引っ張らないでください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルがプラグから外れる可能性があります。

損傷したり曲がったりする危険がないようにケーブルを配線します。

■ 電源へのシステムの接続

指示



現地の電源環境が、本装置の定格電圧に適合することを確認してください。要件を満たさない場合は、本装置が損傷または破損することがあります。

禁止



- 運用を開始する前に、すべてのケーブル類が正常であり、破損していないことを確認してください。特に、ケーブルが曲がっていないこと、角にきつく配線していないこと、ケーブルの上に何も配置されていないことを確認してください。また、すべてのコネクタがしっかりと固定されていることを確認してください。ケーブルに不具合や、配線に不備があると、健康を害したり（感電）ほかのデバイスを損傷するおそれがあります。
- 電源プラグのある本装置は、使用する国の安全性試験に合格した AC 交流電源ラインを備えており、認可済みの耐衝撃ソケットにのみ接続できます。これ以外のものに接続すると感電するおそれがあります。
- 本装置のソケットまたは PE（保護接地）壁コンセントの周辺に障害物がなく、緊急時には誰でも電源プラグをソケットから抜くことができるようになっていることを確認してください。また、ソケットを電源回路から切断するブレーカーが建物内に設置されている必要があります。
- 故障時または整備が必要な状況が発生した場合（データの格納やケーブルに不具合がある場合、液体や異物が本装置に入った場合など）は、電源が遮断されることがあります。建物内の設置に関する問題は、必要に応じて建物の管理者に連絡してください。



- 指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルや電源プラグが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルを折り曲げるなどして束ねた状態で使用しないでください。
ケーブルは伸ばして使用してください。そのまま使用すると、火災の原因となります。



- 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。



電源を投入する前に、必ずアース接続をしてください。
アース接続ができない場合は、担当営業員にご相談ください。
万一漏電した場合、火災・感電の原因となります。

操作中の注意事項



禁止

- ・ 貴金属、クリップなどの異物や液体が本装置に入らないようにしてください。感電や短絡（ショート）が発生する可能性があります。
- ・ 本装置の使用中に換気が正常に行えないと、装置の温度上昇が発生する危険があります。換気口がふさがれていないこと、およびほこりで汚れていないことを確認してください。換気口がふさがれていると、操作に支障をきたすことがあります。
- ・ 本装置が正常に使用できるのは、格納カバーを正しく取り付け、ドアを閉めた状態の場合のみです（冷却、防火、電界、磁界、電磁界に対する遮蔽）。この要件を満たす場合に、EMC（電磁環境両立性）に適合した限界値が適用されます。
- ・ 故障時および整備中は電源プラグを抜いてください。本装置の電源を切っても、本装置は回路から切断されません。故障時や整備時には、本装置の電源プラグを抜く必要があります。以下の手順を行ってください。

- (1) 本装置の電源を切断する
- (2) メイン プラグを抜く
- (3) 修理相談窓口に連絡する

本装置が無停電電源装置（UPS）に接続されているときは、UPS の電源プラグを抜いても引き続き動作します。この場合は、UPS のユーザーマニュアルに従って、UPS をシャットダウンする必要があります。

- ・ 周辺機器もまた、配電から切断しただけでは電源を切ったことにはなりません。主電源から完全に切断するためには、電源プラグを抜く必要があります。
- ・ 本装置の上または近くに花瓶・植木鉢・コップなどの水や液体が入った容器、金属物を置かないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- ・ 清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含む物）を使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- ・ 本装置の上に重量物を載せないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。
- ・ CD/DVD ドライブなどの差し込み口に指などを入れないでください。けがの原因となります。
- ・ 携帯電話などを本装置に近づけて使用しないでください。本装置が正しく動作しないおそれがあります。



指示

- ・ 周囲で殺虫剤などを使って害虫駆除を行う場合には、本装置を停止し、ビニールなどで保護してください。

プラグ



- 本装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源ケーブルなども外してください。
作業は足元に十分注意して行ってください。電源ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となったり、本装置が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
- 長時間本装置を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災・感電の原因となります。
- 万一、本装置から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本装置の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。その後修理相談窓口にご連絡してください。
お客様自身による修理は危険です。絶対に修理しないでください。
異常状態や不適切な修理のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 異物（水・金属片・液体など）が本装置の内部に入った場合は、ただちに本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理相談窓口にご連絡してください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

警告



本装置がスライドレール式ラックに取り付けられている場合は、本装置をラックから引き出しすぎないように気を付けてください。本装置がラックから落下して、本装置が破損したり、けがをするおそれがあります。

整備上の注意事項

■ 拡張、修理

禁止



本装置の修理は認可された資格者だけが行うことができます。不適切な修理を行うと、著しい危険が伴うことがあります（感電、火災）。

分解



不正に本装置や本装置の各部品を解体することは非常に危険です。不正に本装置や本装置の各部品を解体すると、保証の無効および賠償の対象外となります。



分解



- 本装置を勝手に改造しないでください。
火災・感電の原因となります。
- 本装置のカバーや差し込み口に付いているカバーは取り外さないでください。
内部の点検、修理は修理相談窓口にご連絡ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

ラック キャビネットの取り扱い

ラック キャビネットを取り扱ううえで、安全に関する注意事項を示します。



- ラックの固定
ラックが倒れないように必ず固定してください。
スタビライザーを設置する必要があるシステムおよびラック キャビネットは、必ず適切な部品を使用してスタビライザーを取り付けてください。
ただし、ラックが固定されている場合でも、スライド式のモジュールがレールから外れるおそれがあります。複数のモジュールが同時に引き出された場合、ラックの安定性が保たれない事態が発生することがあります。
- 過負荷の防止
同じ回路に多数のデバイスが接続されている場合は、電流分布に過負荷が生じていないことを確認してください。製品のタイプ表示に記載されている公称値に従ってください。



- システムの接地
システムのアース（アース線）はサーバー デバイスまたは周辺機器に接続されます。
ラック キャビネットの接地は、電気保安上は必要ではありませんが、特定の基準および標準に準拠する必要がある場合があります。

静電気敏感性コンポーネントを含むモジュール（EGB/ESD）

EGB とは ESD（静電気放電）のことで、静電気放電に脆弱なコンポーネントを保護し、損傷や破損が発生しないようにするために行う処置を指します。静電気敏感性コンポーネントを含むシステムやモジュールには、通常以下のような識別表示があります。



静電気敏感性コンポーネントを
含むモジュールの表示

静電気敏感性コンポーネントが破損することを防ぐため、以下の処置を行ってください。



禁止

- モジュールの設置および取り外しの準備
静電気敏感性コンポーネントを含むモジュールに触れる前に、（接地されているものに触れるなどして）静電気を放電してください。
- 保護を確実にするため、このタイプのモジュールを取り扱う際に手首に人体接地用バンド（リストストラップ）を装着している場合は、リストストラップをシステムの塗装されていない非導電の金属部分に接続してください。
- 静電気を発生させない道具のみを使用してください。
- コンポーネントを取り付けまたは取り外す前に、本装置の電源を切断し、本装置の電源コードを抜いてください。
- モジュールの運搬
モジュールの端部分のみを触れるようにしてください。モジュールの端子ピンや伝導路に触れないでください。
- モジュールの取り付けと取り外し
モジュールを取り付けおよび取り外す際に、リストストラップを着用するか、または金属質のものに手を触れて、人体の静電気を放電してください。
静電気を放電せずに作業を行うと、本装置が故障するおそれがあります。
作業中はセロファンの包装（菓子類やタバコなど）に触らないでください。これらの包装に触れると、静電気が増加します。
- モジュールの保管
モジュールは常時、保護 ESD 包装に入れて保管してください。保護 ESD 包装は損傷がない状態である必要があります。極度に折り目が付いたり、穴が開いたりしている保護 ESD 包装は、静電気に対する保護になりません。

第1章 概要

1.1 製品概要

本装置は、富士通メインフレームから FCLINK (*1) 接続で CF191/CF168 へ印刷するための中継を行う装置です。本装置を経由することにより、富士通メインフレームから、FCLINK/CTS チャンネル経由での JEF（ラインプリンタモード）および JEF/AP（ページプリンタモード）の形式のデータを印刷できます。本装置の操作や設定は、運用管理端末の Web ブラウザから行います（Web-UI 操作）。

なお、本装置はプリンター装置への印刷データ送信終了で処理が完了となり、その後プリンター装置側で印刷処理が行われます。そのため、従来装置（PS5600C）と比べて印刷完了までに若干のタイムラグが発生します。

また、本装置は CF191/CF168 での印刷状態を監視していないため、印刷中に発生する用紙なしや用紙づまりなどのエラーは検知／通知できません。実際の印刷状態や結果については、プリンター装置側（操作パネルまたは Print Station）でご確認のうえ、必要に応じてリカバリー操作などを行ってください。

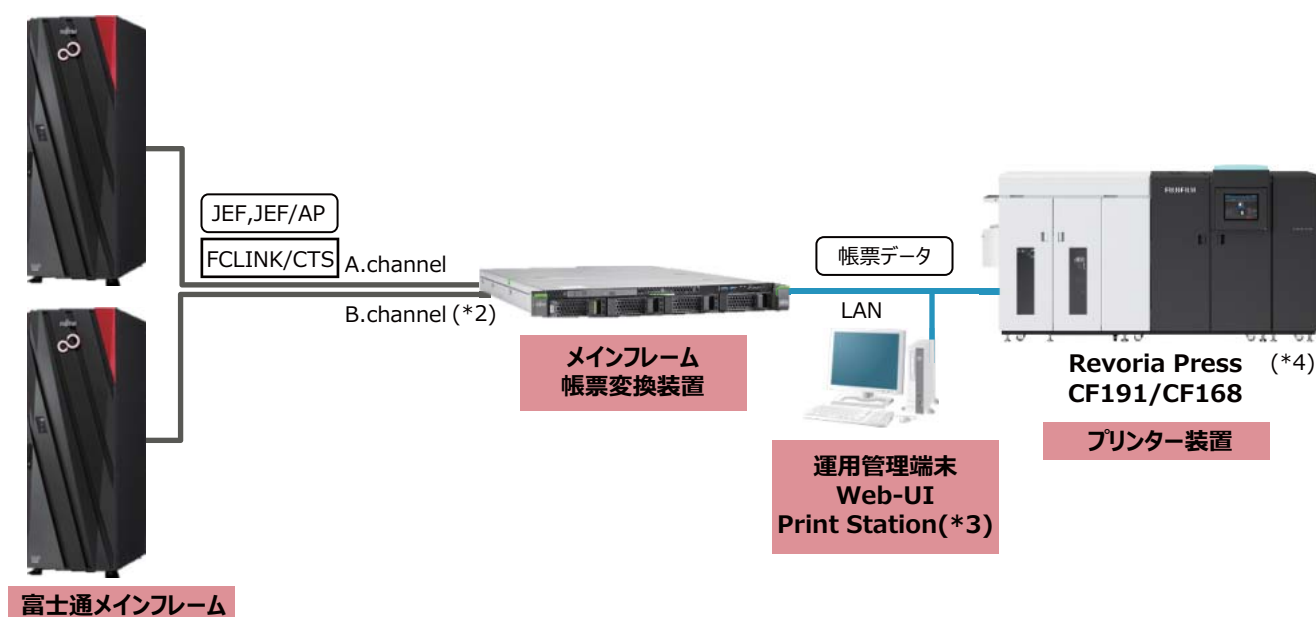


図 1.1 本装置の接続例

- *1: コンソール・テープ接続機構（CTS）も含まれます。
- *2: 2 チャンネルスイッチ（PS-R100A51）オプションの導入が必要です。
- *3: Print Station は CF191/CF168 のオプションソフトウェアになります。運用管理端末へのインストールも可能です。
- *4: プリンター装置の画像は富士フイルムビジネスイノベーション社提供

1.2 機能概要

本装置は、富士通メインフレームから FCLINK / CTS チャンネル経由で CF191/CF168 へ印刷するための中継を行います。本装置はチャンネル印刷に関する以下の機能を提供します。

- 富士通メインフレームからの印刷データを CF191/CF168 へ送信
- チャンネル印刷に関連する各種設定（[「5.1.5 印刷設定（一般設定）」](#)（P.82）～[「5.1.8 印刷設定（JEF/AP 設定）」](#)（P.92）参照）
- 本装置の状態表示（[「4.2 装置状態表示エリア①」](#)（P.47）参照）
- チャンネル接続の ON Line / OFF Line の操作（[「5.1.10 チャンネル設定」](#)（P.96）参照）
- 印刷データのクリアプリント／データキャンセルの操作（[「5.1.12 データ操作」](#)（P.99）参照）

1.3 各部の名称

1.3.1 前面

前面にある各部の名称と動作について説明します。本装置前面には以下の部品があります。

- コントロールパネル
- 内蔵ソリッドステートドライブ（以降、SSD と記載）



図 1.2 フロントパネル

■ フロントパネルのコントロールのボタンと表示ランプ

フロントパネルのコントロールにあるボタンおよび表示ランプの名称と動作について説明します。

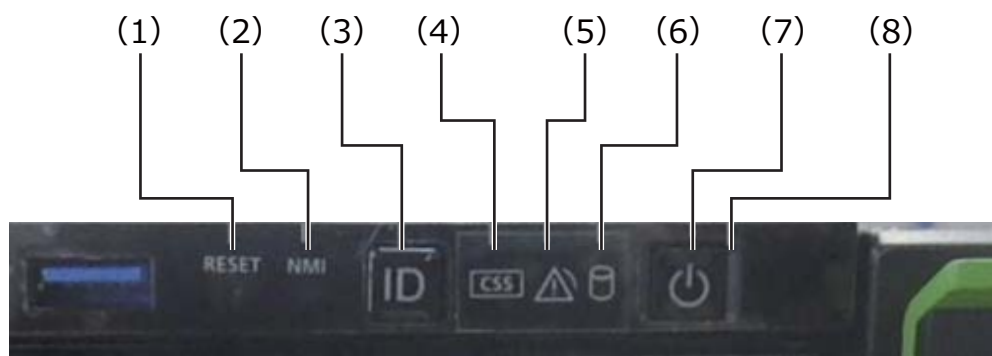


図 1.3 フロントパネルのコントロールのボタンと表示ランプ

注意

USB コネクタ、DVD ドライブは保守作業時に使用します。



表 1.1 コントロールパネルのボタンと表示ランプ

項番	名称	機能
(1)	リセットボタン (RESET)	<p>本ボタンを押すと本装置がリブートします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 注意 </div> <p>データ損失の可能性がありますので、お客様は本ボタンを使用しないでください。</p>
(2)	保守用ボタン (NMI)	<p>お客様は本ボタンを使用しないでください。</p> <div style="background-color: #fde9d9; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 注意 本ボタンは保守技術員（担当 CE）のみ使用します。 </div>
(3)	ID ボタン／ ID ランプ	<p>本ボタンを押すと本装置の前面および背面の ID ランプが同期して点灯します。消灯するにはもう一度本ボタンを押します（*1）。</p> <p>*1: ID ランプはトラブル時にも点灯する場合があります。</p>
(4)	CSS 表示ランプ	<p>本ランプが点灯・点滅した場合は「第 6 章 トラブルシューティング」(P.132) を参照してください。</p>
(5)	保守ランプ	<p>本ランプが点灯・点滅した場合は保守技術員（担当 CE）に連絡してください。</p>
(6)	SSD アクセス 表示ランプ	<p>SSD アクセス中に緑色に点滅します。詳細な SSD の状態は、「■ SSD ドライブの表示ランプ」(P.26) を参照してください。</p>

項番	名称	機能								
(7)	電源ボタン	<div><ul style="list-style-type: none">本装置の電源が OFF で主電源に接続されている場合に、電源ボタンを押すと本装置の電源を投入することができます。本装置の電源が ON の場合に、本装置の電源を切断し、スタンバイモードにできます。通常、本装置の電源を OFF にする場合は、Web-UI から実施してください（「4.9 装置操作ボタンエリア」(P.56) の電源ボタン参照）。</div> <div>電源ボタンは以下のとおり点灯します。</div> <table><tr><th>状態</th><th>説明</th></tr><tr><td>緑色に点灯</td><td>電源 ON</td></tr><tr><td>消灯</td><td>電源 OFF</td></tr><tr><td>緑色にゆっくり点滅</td><td>本装置の監視／電源制御機能を起動中</td></tr></table> <div><div>注 意</div><div><ul style="list-style-type: none">印刷処理中や本装置に印刷データが残っている状態（「4.8 データランプ表示エリア」(P.56) 参照）で電源ボタンを操作すると印刷データが失われる危険があります。電源ボタンで主電源を切ることはできません。 主電源を切るには、電源プラグを抜きます。</div></div>	状態	説明	緑色に点灯	電源 ON	消灯	電源 OFF	緑色にゆっくり点滅	本装置の監視／電源制御機能を起動中
状態	説明									
緑色に点灯	電源 ON									
消灯	電源 OFF									
緑色にゆっくり点滅	本装置の監視／電源制御機能を起動中									
(8)	電源表示ランプ (AC 接続)	<div>電源ボタンの右側にあります。 電源表示ランプは以下のとおり点灯します。</div> <table><tr><th>状態</th><th>説明</th></tr><tr><td>消灯</td><td>電源 OFF で主電源に接続されていない、または電源 ON で正常動作中</td></tr><tr><td>緑色に点灯</td><td>電源 OFF で主電源に接続されている (スタンバイモード)</td></tr></table> <div><div>注 意</div><div>本装置を主電源に接続したあと、スタンバイモードに切り替わるまで約 60 秒かかります。</div></div>	状態	説明	消灯	電源 OFF で主電源に接続されていない、または電源 ON で正常動作中	緑色に点灯	電源 OFF で主電源に接続されている (スタンバイモード)		
状態	説明									
消灯	電源 OFF で主電源に接続されていない、または電源 ON で正常動作中									
緑色に点灯	電源 OFF で主電源に接続されている (スタンバイモード)									

■ SSD ドライブの表示ランプ

ドライブにある表示ランプの名称と動作について説明します。



図 1.4 ドライブの表示ランプ

表 1.2 ドライブの表示ランプ

項番	名称	機能
(1)	アクセスランプ	SSD アクセス時、緑色に点灯します。
(2)	故障ランプ	SSD 故障時、オレンジ色に点灯します。故障ランプ点灯時は保守技術員（担当 CE）に連絡してください。

1.3.2 背面

背面にある各部の名称と動作について説明します。本装置背面には以下の部品があります。

- 電源ユニット
- FCLINK カード

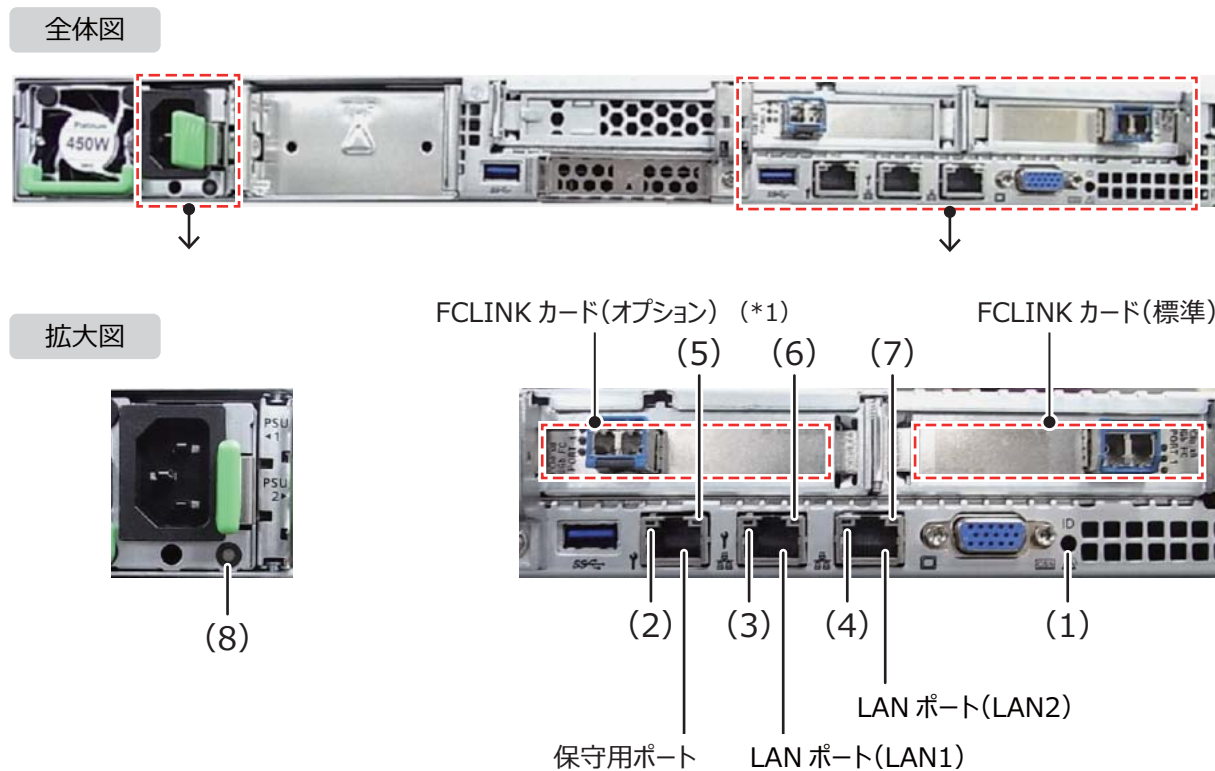


図 1.5 背面と電源ユニット

*1: 2チャンネルスイッチ (PS-R100A51) オプションを導入した場合に搭載されます。

注意

USB コネクタは保守作業時に使用します。

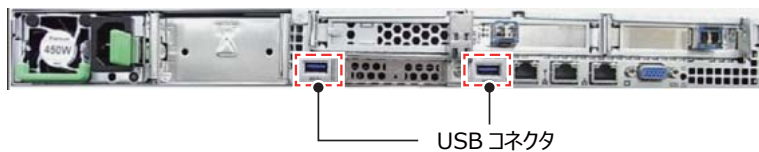


表 1.3 背面と電源ユニット

項番	名称	機能								
(1)	保守ランプ ／ ID ランプ ／ CSS ランプ	<p>保守ランプは以下のとおり点灯・点滅します。オレンジ色に点灯・点滅した場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。</p> <table><tr><th>状態</th><th>説明</th></tr><tr><td>オレンジ色に点灯</td><td>故障の予兆を検出したとき</td></tr><tr><td>オレンジ色に点滅</td><td>故障・異常を検出したとき</td></tr><tr><td>消灯</td><td>故障を検知していない場合</td></tr></table> <p>本装置前面の ID ボタンを押すと、前面および背面の本 ID ランプが同期して青色に点灯します。 消灯するには再度ボタンを押します。</p>	状態	説明	オレンジ色に点灯	故障の予兆を検出したとき	オレンジ色に点滅	故障・異常を検出したとき	消灯	故障を検知していない場合
状態	説明									
オレンジ色に点灯	故障の予兆を検出したとき									
オレンジ色に点滅	故障・異常を検出したとき									
消灯	故障を検知していない場合									
(2)	LAN リンク	LAN コネクタの確立時、緑色に点灯します。								
(3)	／転送	LAN 接続がない場合、消灯します。								
(4)		LAN データ転送中、緑色に点滅します。								
(5)	LAN 速度	LAN 転送速度が 1Gbit/s のデータトラフィックがある場合、黄色に点灯します。								
(6)		LAN 転送速度が 100Mbit/s のデータトラフィックがある場合、緑色に点灯します。								
(7)		LAN 転送速度が 10Mbit/s のデータトラフィックがある場合、消灯します。								
(8)	電源ユニット 表示ランプ	<p>本装置の電源を切ると緑色に点滅しますが、主電源電圧は存在します（スタンバイモード）。</p> <p>本装置の電源が入り、正常に動作している場合、緑色に点灯します。</p> <p>オレンジ色の点滅・点灯の場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。</p>								



図 1.6 FCLINK カード（標準）

表 1.4 FCLINK カード

機能	
富士通メインフレームとのインターフェースとして、以下のとおり点灯・点滅します。	
状態	説明
(1) (2) (3) すべて消灯	接続断状態
(1) が黄色に点灯	通信状態（初期化中）
(1) が黄色に点滅	通信状態（初期化完了）
(2) と (3) が交互点滅	ファームウェアエラー
(1) が点滅	通信状態
(1) が点灯	リンク状態

注意

本装置は、2Gbps/4Gbps の転送速度はサポートしていません。
FCLINK カード（オプション）は上下逆搭載となるため、LED 順序が逆になります。



1.4 接続構成

本装置の接続構成例を [図 1.7](#) に示します。

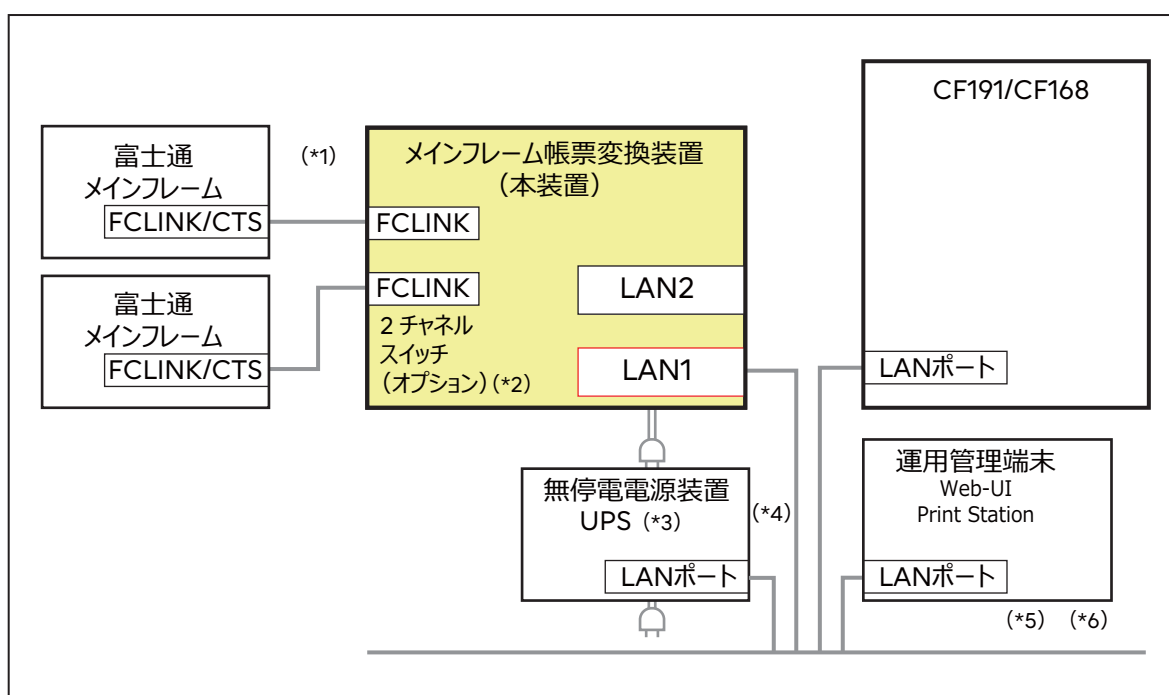


図 1.7 接続構成例

- *1: 富士通メインフレームと CF191/CF168 の設置場所を離す場合は、SCL5 を使用して富士通メインフレームと本装置の接続距離を延長する構成としてください。
- *2: 2 チャンネルスイッチ（PS-R100A51）オプションを導入した場合の構成です。
- *3: UPS は周辺機器です。推奨する UPS は [「付録 F 周辺機器（推奨）」（P.151）](#) を参照してください。
- *4: 本装置を無停電電源装置（UPS）に接続する場合は、運用管理端末が接続されているネットワークに接続してください。また、UPS 専用のネットワークマネジメントカード（NMC）が必要です。UPS の設定はご使用の UPS の取扱説明書およびネットワークマネジメントカードのユーザズガイドを参照してください。
- *5: 運用管理端末はセキュリティが確保されたネットワークに設置し、外部からの攻撃リスクを回避してください。
- *6: 運用管理端末はプリンターのパネル機能も補っているため、CF191/CF168 近傍に設置することを推奨します。

1.5 印刷機能

印刷機能について説明します。印刷機能には以下の種類があります。なお、本装置の印刷機能は PS5000 シリーズの BMC/ プリンタ接続機構（PSD）接続時の機能に準拠しています。

- 文字セット管理
- フォームオーバーレイ
- 複写修正
- 図形印刷
- イメージ印刷
- 文字修飾
- バーコード印刷

1.5.1 バーコード印刷

バーコード印刷では、以下に示す形式のバーコードが印刷できます。

- NW-7
 - JAN（標準／短縮）
 - CODE39
 - Industrial 2 of 5
 - Interleaved 2 of 5
 - 物流商品コード
 - Matrix 2 of 5
 - UPC（バージョン A/E）
 - EAN13
 - カスタマバーコード
 - 書留用バーコード（*1）
 - GS1-128, GS1-128（料金代理収納用）（*2）
 - QR コード（モデル 2）、マイクロ QR コード（*3）
- *1: JEF（ラインプリンタモード）のみサポートしています。JEF/AP（ページプリンタモード）での書留用バーコード印刷は非サポートです。
- *2: JEF（ラインプリンタモード）で使用する場合は、拡張バーコード出力機構（PS-R100A55）オプションが必要です。
- *3: QR コード出力機構（PS-R100A56）オプションが必要です。

注意

バーコードは従来装置（PS5600C）と CF191/CF168 の解像度の違いにより大きさが変わる場合があります。また、バーコード読取装置によっては読み取り率が異なります。運用に先立ち十分な事前確認を行ってください。

1.6 運用イメージ

- 起動と停止

本装置は、電源連動機能は有していません。本装置の起動／停止は手動で行います。
詳細については、[「2.3 運用の手順」\(P.35\)](#)を参照してください。

- 印刷操作

富士通メインフレームから印刷ジョブを起動すると、本装置を操作することなく事前に登録した印刷設定（[「5.1.5 印刷設定（一般設定）」\(P.82\)](#)～[「5.1.8 印刷設定（JEF/AP 設定）」\(P.92\)](#) 参照）で印刷を行うことができます。なお、あらかじめ登録しておいた用紙情報で印刷する場合は、印刷時に任意の用紙情報を選択し、印刷してください（[「5.1.4 用紙設定」\(P.76\)](#) 参照）。

- 印刷中の異常発生時の対処

印刷中にプリンター装置で異常が発生した場合は、プリンター装置側で要因を取り除いたあとリカバリー操作を行ってください。

第 2 章 運用方法

2.1 設定項目の確認

本装置で運用開始前に実施する初期設定と、運用中に実施する操作や表示項目を表 2.1 に示します。
また、CF191/CF168 の設定項目は「[付録 H プリンター設定一覧](#)」(P.153) を参照ください。

表 2.1 初期設定と運用中の操作／表示項目

分類	操作／設定／表示項目			備考	
初期設定	コンビニ -EAN128 の設定			「5.1.5 印刷設定（一般設定）」 (P.82) 参照	
	用紙情報の登録	従来装置からの引継ぎ（*1）（*2）（*3）		「5.1.4 用紙設定」 (P.76) 参照	
		新規登録			
	JEF、JEF/AP 一般設定	印刷開始制御		「5.1.5 印刷設定（一般設定）」 (P.82) 参照	
		チャンネル設定 （ON Line/OFF Line、A Channel/B Channel 他）		「5.1.10 チャンネル設定」 (P.96) 参照	
	JEF 設定	印字幅		「5.1.6 印刷設定（JEF 設定）」	
		EAN128 目視文字位置		(P.84) 参照	
		第 2FPD の登録	従来装置からの引継ぎ（*1）（*2）		
			新規登録（*4）		
	JEF/AP 設定	EAN128 目視文字位置		「5.1.8 印刷設定（JEF/AP 設定）」 (P.92) 参照	
	ネットワークアドレス設定			「5.2.1 ネットワーク設定」 (P.107) 参照	
	パスワード変更操作			「5.2.8 パスワード変更」 (P.129) 参照	
	Web-UI アクセス制限			「5.2.3 アクセス制御設定」 (P.114) 参照	
	日時設定			「5.2.4 日時設定」 (P.115) 参照	
	NTP による日時同期設定				
運用中の操作／表示項目	スタート／ストップ／リセット操作			「4.9 装置操作ボタンエリア」 (P.56)	
	用紙情報の選択			「5.1.4 用紙設定」 (P.76) 参照	
	チャンネル設定			「5.1.10 チャンネル設定」 (P.96) 参照	
	用紙長の設定（*5）			「5.1.11 用紙長設定」 (P.98) 参照	
	データキャンセル操作			「5.1.12 データ操作」 (P.99) 参照	
	クリアプリント操作				
	データランプの表示			「4.8 データランプ表示エリア」 (P.56) 参照	

*1: 従来装置（PS5600C）または本装置からの移行時に設定した値を引き継ぐことができます。

*2: 保守技術員（担当 CE）の作業です。

*3: 印刷濃度の設定はできません。従来装置（PS5600C）から用紙情報を引き継いだ場合は、引き継ぎ時の印刷濃度が参考値として表示されます。

- *4: 新規に登録する場合は富士通メインフレームからの登録操作が必要です。
- *5: FCB 定義がないジョブを印刷する場合、デフォルト用紙長（初期値：「11 インチ」）の設定が必要です。該当ジョブを印刷する際は、あらかじめ適用する用紙長を Web-UI（一般ユーザーモード）で設定してください。

2.2 印刷運用の流れ

ここでは本装置を使用した印刷運用の流れについて説明します。

Web-UI のパネルの説明および設定画面については、以下を参照してください。

- [「第3章 Web-UI の概要」\(P.41\)](#)
- [「第4章 Web-UI 操作（メインパネル）」\(P.46\)](#)
- [「第5章 Web-UI 操作（メニューパネル／コンテンツパネル）」\(P.63\)](#)

2.2.1 運用開始前の準備と設定

- (1) [「運用管理端末の準備」](#)
- (2) [「本装置の設定」](#)
- (3) プリンター装置の設定（[「付録 H プリンター設定一覧」\(P.153\)](#) を参照）

■ 運用管理端末の準備

Web-UI 操作は、運用管理端末の Web ブラウザから LAN 経由で行います。運用管理端末は、お客様ご自身で別途ご用意いただく必要があります。運用管理端末の詳細は [「1.4 接続構成」\(P.29\)](#) および [「3.2 動作環境」\(P.41\)](#) を参照してください。

手順 ▶▶▶

- 1 運用管理端末を接続します。
設置した運用管理端末を本装置の「LAN1（*1）」と通信できるネットワークに接続します。
- 2 本装置を電源 ON にします。
本装置のフロントパネルの電源ボタンを押して、本装置の電源を投入します（[「フロントパネルのコントロールのボタンと表示ランプ」\(P.24\)](#) 参照）。
- 3 Web-UI のセキュリティに関する設定を行います。
運用管理端末から、Web-UI（ユーザー管理者モード）にログインします（[「3.4 ログイン」\(P.43\)](#) 参照）。
ログインパスワードやアクセス制限の設定を行います（*2）（*3）。
 - *1: 本装置の LAN1 ポートは [「1.3.2 背面」\(P.27\)](#) を参照してください。
 - *2: 一般ユーザーモードおよびユーザー管理者モードにログインする際のパスワードを必要に応じて変更することができます（[「5.2.8 パスワード変更」\(P.129\)](#) 参照）。
 - *3: Web-UI にアクセスできる IP アドレスを制限することができます（[「5.2.3 アクセス制御設定」\(P.114\)](#) 参照）。



■ 本装置の設定

本装置の設定を Web-UI（一般ユーザーモード）から行います。ユーザー管理者モードでログインしている場合は、一般ユーザーモードに遷移します（[「5.2.9 一般ユーザーモード」](#) (P.131) 参照）。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 用紙情報の新規登録を行います（[「5.1.4 用紙設定」](#) (P.76) 参照）。

備考

用紙情報の運用を行う場合は、本項目で登録を行ってください。
なお、PS5600C または本装置に設定した用紙情報を引き継ぐ場合は、事前（装置を撤去する前など）に装置からデータを抽出する必要があるため、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。

- 2 印刷に関する設定を行います。

- 2-1 一般設定を行います（[「5.1.5 印刷設定（一般設定）」](#) (P.82) 参照）。

- 2-2 JEF モードに関する設定を行います（[「5.1.6 印刷設定（JEF 設定）」](#) (P.84) 参照）。

備考

第 2FPD の運用（*1）を行う場合は、本項目で第 2FPD を選択してください。

*1: 印刷に必要な文字パターンをあらかじめ本装置の第 2FPD に登録しておき、業務に必要な第 2FPD を選択して運用することができます。

- 2-3 JEF/AP モードに関する設定を行います（[「5.1.8 印刷設定（JEF/AP 設定）」](#) (P.92) 参照）。

- 3 チャネル接続の設定を行います（[「5.1.10 チャネル設定」](#) (P.96) 参照）。

- 4 デフォルト用紙長の設定を行います（[「5.1.11 用紙長設定」](#) (P.98) 参照）。



2.3 運用の手順

1

電源操作

- (1) [「電源 ON」](#)
- (2) [「電源 OFF」](#)



2

富士通メインフレームからの印刷

- (1) [「富士通メインフレームからの印刷実行」](#)
 - (2) [「本装置の設定」](#)
 - (3) [「プリンター装置の印字調整」](#)
-

2.3.1 電源 ON

プリンター装置および本装置を電源 ON にする手順を以下に示します。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 プリンター装置を電源 ON にします。
プリンター装置の操作方法是、プリンター装置のマニュアルを参照してください。
- 2 本装置を電源 ON にします。
本装置のフロントパネルの電源ボタンを押し、本装置を電源 ON にします ([「フロントパネルのコントロールのボタンと表示ランプ」\(P.24\)](#) 参照)。
- 3 プリンター装置の準備を行います。
プリンター装置起動後、印刷する用紙をセットし、論理プリンター『PS-R11_Printer』を「起動」して、「ジョブを処理する」に設定し（その他の論理プリンターは停止状態）、プリンターをスタート状態にします。
- 4 富士通メインフレーム側で接続および装置をオンラインにします。
なお、仮想計算機を利用している場合は、事前に本装置を接続しているチャンネルをアタッチします。
- 5 本装置の準備を行います。
Web-UI で本装置が「READY」であることを確認します。
「READY」ではない場合、チャンネル接続が ON Line ([「5.1.10 チャンネル設定」\(P.96\)](#) 参照) であることを確認し、「スタート」ボタンを押して本装置を「READY」にします ([「「スタート」ボタン」\(P.57\)](#) 参照)。

————— ◀◀◀

備考

本装置と運用管理端末が別々の部屋に設置されている場合などに LAN 経由のコマンド (Magic Packet®) を利用してリモートでの電源 ON が可能です。また、電源 OFF は Web-UI から行うことができます。なお、ネットワーク機器は Magic Packet に対応している必要があります。

2.3.2 電源 OFF

プリンター装置および本装置を電源 OFF にする手順を以下に示します。本装置の操作は Web-UI (一般ユーザーモード) で行います。

なお、電源 OFF をする前に、本装置内に未送信ファイルが残っていないことを確認してください。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 「ストップ」ボタンを押して、本装置を「NOT READY」にします ([「ストップ」ボタン \(P.58\)](#) 参照)。

備考

本装置を「NOT READY」にする場合は、ライタ操作でライタを停止させてください。ライタ操作は各ライタのマニュアルを参照してください。

- 2 本装置を電源 OFF にします。

Web-UI の「電源」ボタンを押して、電源 OFF にします ([「電源」ボタン \(P.61\)](#) 参照)。

備考

- 本装置およびその他の異常により、Web-UI にアクセスできない場合は、本装置のフロントパネル (電源ボタン) を操作して電源 OFF にします ([「フロントパネルのコントロールのボタンと表示ランプ」 \(P.24\)](#) 参照)。
- 未印刷ジョブが残った状態で「電源」ボタンを押した場合、ジョブが失われることを示すポップアップ画面が表示されます ([「電源」ボタン \(P.61\)](#) 参照)。

- 3 プリンター装置を電源 OFF にします。

プリンター装置が動作停止していることを確認し、電源 OFF にしてください。



2.3.3 本装置の設定

Web-UI（一般ユーザーモード）で以下の操作を実施します。なお、[表 2.1](#) を参照し、このほかにも本装置で設定が必要な項目がある場合は、各設定を行ってください。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 「ストップ」ボタンを押して、本装置を「NOT READY」にします（[「ストップ」ボタン](#)（P.58）参照）。
- 2 本装置の印刷位置設定（[「5.1.3 印刷位置設定」](#)（P.72）参照）を確認します。なお、用紙情報の切替を行う場合は、使用する用紙情報（[「5.1.4 用紙設定」](#)（P.76）参照）を選択します。
- 3 第2FPDの運用を行う場合は、印刷で使用する第2FPD（[「5.1.7 印刷設定（第2FPD設定）」](#)（P.86）参照）を選択します。
- 4 「スタート」ボタンを押して、本装置を「READY」にします（[「スタート」ボタン](#)（P.57）参照）。



2.3.4 富士通メインフレームからの印刷実行

ライタ操作は、各ライタのマニュアルを参照してください。
すでに富士通メインフレームと接続およびプリンターの準備を行っている場合は、本操作は不要です。ライタ操作で印刷を実行してください。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 富士通メインフレーム側で接続および本装置をオンラインにします。
なお、仮想計算機を利用している場合は、事前に本装置を接続しているチャンネルをアタッチします。
- 2 プリンター装置の印刷位置の設定
本装置で用紙情報の運用を行う場合は、プリンター装置側の印刷位置を初期値（垂直位置「0」、水平位置「0」）に設定してください。
本装置で用紙情報の運用を行わない場合（選択している用紙情報名が DEFAULT）は、プリンター装置で用紙に合わせた印刷位置を設定してください。
プリンター装置の操作方法は、プリンター装置のマニュアルを参照してください。
- 3 プリンター装置をスタート状態にします。
- 4 本装置の印刷設定（[「5.1.3 印刷位置設定」](#)（P.72）参照）を確認します。
- 5 「スタート」ボタンを押して、本装置を「READY」にしメインフレームから印刷を実行します。



2.3.5 プリンター装置の印字調整

印刷位置は本装置の Web-UI で設定した値が基準（選択した用紙情報の値を含む）となります。運用中の印字調整は以下のようにプリンター装置で行います。

- 微小な印字調整はプリンター装置で実施します。
- 印刷濃度設定／調整はプリンター装置で実施します。本装置では設定不可です。

プリンター装置の操作方法は、プリンター装置のマニュアルを参照してください。

2.3.6 運用時の注意事項

本装置を経由したメインフレーム印刷とオープンサーバー印刷を併用する際には、以下に注意してください。

- プリンター装置で印刷完了を確認した後、使用していた論理プリンターを「停止」し、必要に応じて用紙の掛け替えをします。次に、使用したい論理プリンターを「起動」状態にして印刷を行ってください。
- 富士通メインフレームからの印刷の際、オープンサーバー印刷のためにプリンターの設定を変更した場合は、設定を元に戻してください。

2.4 従来装置と本装置の運用の違い

従来装置（PS5600C）印刷と本装置を経由した CF191/CF168 印刷では、ホストとプリンター装置間の印刷データの送信やプリンター装置の状態通知に違いがあります。

従来装置（PS5600C）ではホストからプリンター装置の状態や印刷の完了を確認することができました。一方、CF191/CF168 では接続プロトコルの違いにより本装置からプリンター装置の状態を確認することができません。このため、従来装置（PS5600C）から移行される場合は以下に注意してください。

(1) 印刷開始について

本装置では印刷データを複数ページにまとめ送信ファイルとして、プリンター装置へ送信します。このため、従来装置に比べ印刷の開始が遅れます。

(2) 印刷完了について

従来装置では印刷完了をホスト側で確認することができました。一方、本装置を経由した CF191/CF168 印刷では、プリンター装置へ送信するファイルへ印刷データの書き込みが完了した時点でホスト側に印刷完了を通知します。

注 意

送信ファイル完成からプリンター装置へ送信ファイルを送信し、用紙に印刷が完了するまでの間で異常が発生した場合、ホストからのリカバリーはできません。この場合、本装置またはプリンター装置側で操作を行っていただく必要があります。

(3) プリンター装置の状態／情報取得

本装置からプリンター装置の状態を確認することができないため、プリンター装置の状態をホストへ通知できません。このため、従来装置（PS5600C）ではできていた用紙ジャムや用紙切れなどのプリンター装置の異常をホストコンソールで確認することができません。プリンター装置の状態はプリンター装置の操作パネルや Print Station で確認していただく必要があります。

注 意

プリンター装置側で電源 OFF や異常が発生し送信ファイルが受け付けられない状態となった場合、本装置ではその状態を確認することができません。本装置からプリンター装置へ送信ファイルを送信する際にプリンター装置との通信が失敗することで、プリンター装置の異常を検出しエラーを表示します。このような場合はプリンター装置側の状態を確認いただき、異常を解除してください。

その他の違いについては、[「付録 B 非互換一覧」\(P.145\)](#) を参照してください。

第 3 章 Web-UI の概要

3.1 Web-UI の操作画面

Web-UI は、本装置の状態表示と状態遷移、設定を行うためのユーザーインターフェースです。
Web-UI は、運用管理端末から表示します。運用管理端末の接続については、[\[2.2.1 運用開始前の準備と設定\]](#)
[\(P.33\)](#) を参照してください。



図 3.1 Web-UI

3.2 動作環境

本装置の Web-UI を表示する運用管理端末の動作環境を以下に示します。
なお、運用管理端末は DVD-ROM ドライブが搭載された端末 (*1) とし、プリンターの近傍に設置することを推奨します。

*1: 保守技術員用の PC が持ち込めない場合に本装置のファームウェアアップデート作業などで使用場合があります。

表 3.1 Web-UI の動作環境

OS	ブラウザ (*1)	解像度と拡大レベル
Windows 10	Microsoft Edge	1280×1024 以上 100%推奨
Windows 11	Microsoft Edge	1280×1024 以上 100%推奨

*1: Microsoft Edge を使用する場合、IE モード機能は使用できません。

3.3 注意事項

- Web-UI 操作中に、ブラウザのボタン（「戻る」、「再読み込み」、および「閉じる」）を操作しないでください。これらのボタンを使用すると、予期しない影響を受けるおそれがあります。操作してしまった場合は、ブラウザのすべての画面を閉じてから、Web-UI に再接続してください。
- Web-UI を開いているときに休止状態やシステムスタンバイにならないようにしてください。休止状態またはシステムスタンバイ解除後の Web-UI の動作は保証いたしません。休止状態またはシステムスタンバイになった場合は、解除したあとに一度ブラウザのすべての画面を閉じて Web-UI に再接続してください。
- Web-UI 操作中に通信エラーのエラーダイアログが表示された場合は、運用管理端末または保守端末と本装置間のネットワーク状態を確認してから一度ブラウザのすべての画面を閉じて、Web-UI に再接続してください。

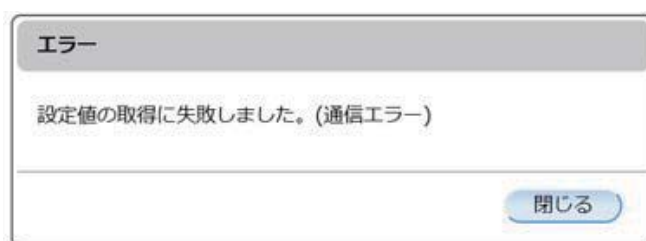


図 3.2 通信エラーのエラーダイアログ例

- Microsoft Edge のスリープタブ機能が有効となっている環境では、Web-UI の通信エラー発生や「他ユーザ操作中」の表示となる場合があるため、以下の設定が必要です。
なお、スリープタブ機能が無効となっている環境では対応不要です。

〔設定内容〕

Edge の「設定」－「システムとパフォーマンス」－「パフォーマンスの最適化」にある「これらのサイトをスリープ状態にしない」の横の「追加」を選択して、本装置の Web-UI 接続 IP アドレス（サイト欄に <IP アドレス> のみ記述または http://<IP アドレス> を記述）を追加してください。

3.4 ログイン

Web-UI の操作を始めるときは、運用管理端末の Web ブラウザを使用して本装置に接続し、ログインする必要があります。

3.4.1 アクセス手順

本装置の Web-UI にアクセスする手順を以下に示します。

手順 ▶▶▶

- 1 運用管理端末の Web ブラウザで、本装置の Web-UI の URL を指定します。

http://[IPアドレス]/webui

例：本装置の IP アドレスが 169.254.80.1 の場合

http://169.254.80.1/webui

注意

- [IP アドレス] は、[「5.2.1 ネットワーク設定」\(P.107\)](#) の「Web-UI 接続ポート設定」に設定した IP アドレスを指定します。
- http://[IP アドレス] を指定すると HTTP 接続の「404 エラー」が発生します。

- 2 ログイン画面が表示されるので、ユーザーモードを選択、パスワードを入力してログインします。

- ユーザーモード
操作する用途に応じて以下のいずれかのユーザーモードを選択します (*1)。
 - 一般ユーザー
 - ユーザー管理者
 - メンテナンス管理者
- パスワード
選択したユーザーのパスワードを入力します (*2)。

*1: 各ユーザーモードの詳細については [「3.4.2 ユーザーモードと権限」\(P.44\)](#) を参照してください。

*2: パスワードの詳細については [「3.4.3 ユーザーモードのパスワード」\(P.44\)](#) を参照してください。

- 3 「OK」ボタンを押します。

正しいパスワードを入力した場合、ユーザーで選択されたユーザーモードで Web-UI が表示されます。

備考

Web-UI を複数ブラウザから同時に使用することはできません。他のユーザーが Web-UI を使用している場合は「他ユーザー操作中」を表示し、操作することはできません（[「他のユーザーが使用中の場合の表示」\(P.65\)](#) 参照）。

ただし、同一 PC 上かつ同一ブラウザの場合は、他のユーザーが Web-UI を利用していても、あとからログインしたユーザーが操作できます。



3.4.2 ユーザーモードと権限

Web-UI のユーザーモードとアクセス制限を以下に示します。

表 3.2 ユーザーモードとアクセス制限

ユーザーモード	内容
一般ユーザーモード	本装置を印刷運用するユーザー用のモードです。主に印刷に関する設定や操作を行うことができます。
ユーザー管理者モード	本装置を管理するユーザー用のモードです。主に運用管理端末に関する設定などの操作を行うことができます。
メンテナンス管理者モード	本装置をメンテナンスする保守技術員（担当CE）向けのモードです。

3.4.3 ユーザーモードのパスワード

Web-UI のユーザーモードと、各ユーザーモードのパスワードについて、初期設定と変更の可否を[表 3.3](#) に示します。

表 3.3 ユーザーモードと初期パスワード

ユーザーモード	初期パスワード	変更可否
一般ユーザーモード	なし	可
ユーザー管理者モード	PRINTERADMIN	可

3.5 Web-UI の画面構成

Web-UI の画面は、大きく 3 つの領域（パネル）とポップアップ画面で構成されます。

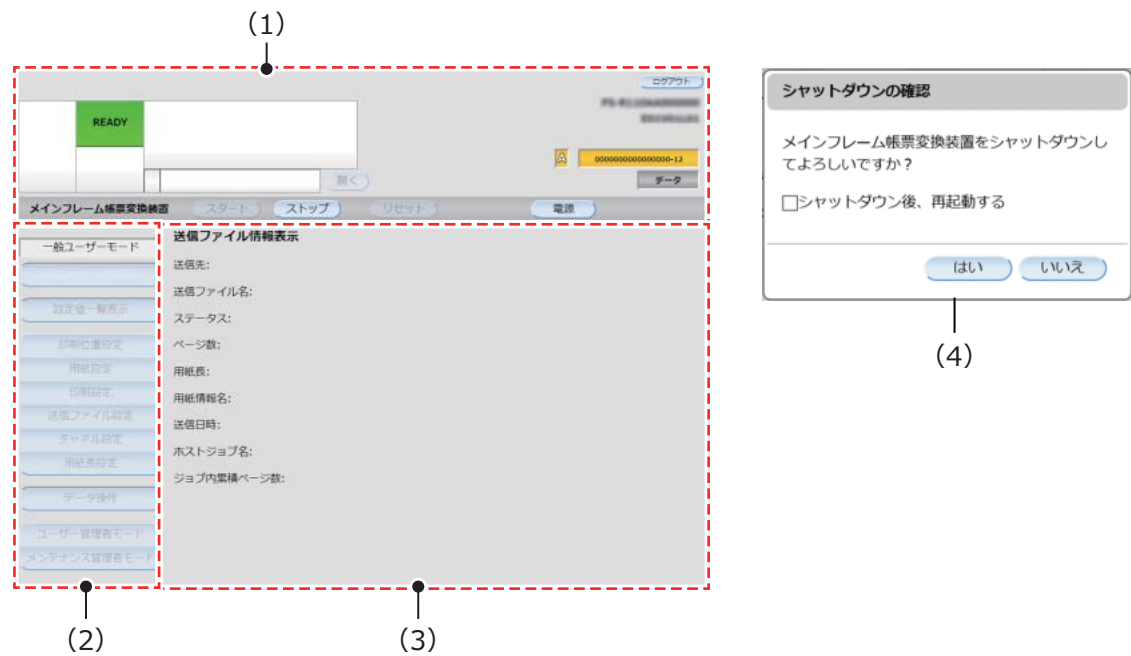


図 3.3 Web-UI の画面構成

表 3.4 画面構成

番号	構成要素	設定項目
(1)	メインパネル	常に表示される領域で、本装置の状態と主な操作ボタンが表示されます。
(2)	メニューパネル	現在のユーザーモードとメニューで構成されます。選択されたユーザーモードのメニューが表示されます。
(3)	コンテンツパネル	選択されたメニューに応じ、設定項目／表示、または本装置の操作のためのコンテンツが表示されます。
(4)	ポップアップ画面	ユーザー操作の確認ダイアログとエラーダイアログが表示されます。ダイアログ表示中は Web-UI の操作はできません。

第 4 章 Web-UI 操作（メインパネル）

本装置の Web-UI で常時表示される画面で、本装置の状態表示と主な操作を行うことができます。
各エリアについて以下に示します。

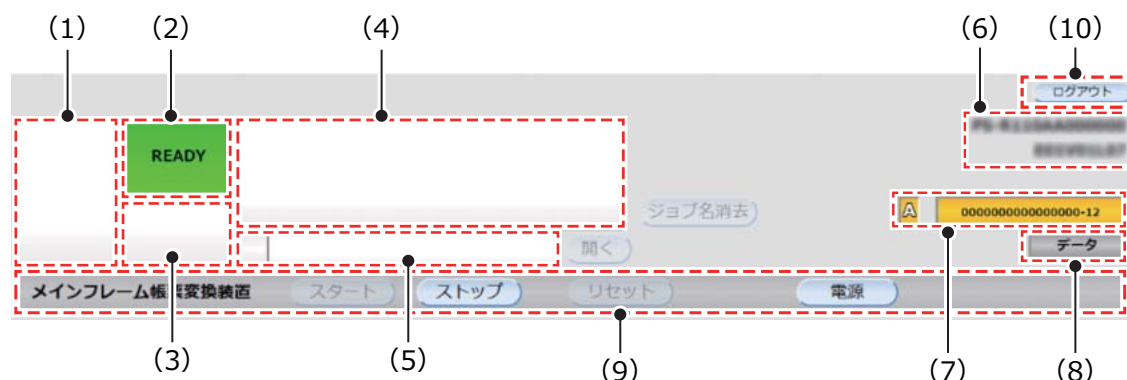


図 4.1 メインパネルの構成

表 4.1 メインパネルの部品一覧

番号	エリア名	備考
(1)	状態コード表示エリア	[4.1 状態コード表示エリア](P.47) 参照
(2)	装置状態表示エリア①	[4.2 装置状態表示エリア①](P.47) 参照
(3)	装置状態表示エリア②	[4.3 装置状態表示エリア②](P.48) 参照
(4)	メッセージエリア	[4.4 メッセージエリア](P.49) 参照
(5)	インフォメーション通知エリア	[4.5 インフォメーション通知エリア](P.52) 参照
(6)	装置情報表示エリア	[4.6 装置情報表示エリア](P.54) 参照
(7)	接続チャンネル情報表示エリア	[4.7 接続チャンネル情報表示エリア](P.55) 参照
(8)	データランプ表示エリア	[4.8 データランプ表示エリア](P.56) 参照
(9)	装置操作ボタンエリア	[4.9 装置操作ボタンエリア](P.56) 参照
(10)	「ログアウト」ボタン	[4.10 「ログアウト」ボタンエリア](P.62) 参照

4.1 状態コード表示エリア




装置状態表示エリアの装置状態に応じた状態コードが表示されます。

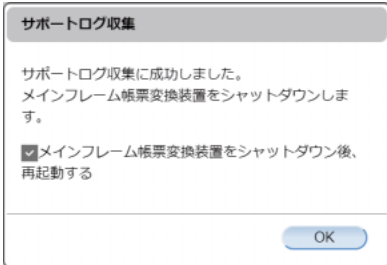
- 初期化中、READY、メンテナンスの場合
何も表示しません（空白）。
- NOT READY の場合
「00」を表示します。
- エラーの場合
エラー「XX」～「XX」を表示します。エラーの内容は、[「第6章 トラブルシューティング」\(P.132\)](#) を参照してください。

4.2 装置状態表示エリア①

本装置の状態が表示されます。

表 4.2 装置状態表示エリア①

装置状態	表示色	意味
初期化中		本装置が初期化中（起動中）であることを示します。 初期化処理の完了後に、「READY」状態に遷移します。初期化処理が失敗した場合は、エラーに遷移します。
NOT READY		本装置は正常起動していますが、印刷はできない状態であることを示します。 本装置のメニューパネルおよびコンテンツパネルを操作する場合は、いったん「NOT READY」状態にする必要があります。 本状態には、以下のいずれかの操作により遷移します。 <ul style="list-style-type: none">• 「ストップ」ボタンを押す• 復旧可能なエラー状態から「リセット」ボタンを押す
READY		本装置が正常起動しており、運用可能な状態であることを示します。印刷中などの正常動作中も本状態に含まれます。 本状態の場合、メッセージエリアは空白となります。

装置状態	表示色	意味
エラー	赤	<p>本装置に異常が発生し、運用が停止されている状態です。エラー状態は以下の2種類に分類されます。分類の判定はメインパネルに表示される状態コードおよびメッセージの内容で判断することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復旧不可能なエラー 運用が継続できない異常が発生しており、電源ボタン（電源 OFF）のみ押すことができます。自動でサポートログ収集を行い、サポートログ収集完了画面が表示されます。本装置をシャットダウン後、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。  <ul style="list-style-type: none"> ・ 復旧可能なエラー 「リセット」ボタンでエラー状態が回復した場合は、ユーザー判断で、運用継続可能です。繰り返しエラーが発生した場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
メンテナンス	オレンジ	<p>本装置がメンテナンス管理者モードであることを示します。メンテナンス管理者モードでログインした場合に本状態に遷移します。メンテナンス管理者モードは保守技術員（担当 CE）向けのモードです。</p>

4.3 装置状態表示エリア②

エラーが発生している場合はエラーコードが表示され、処理中のデータがある場合はデータ処理中が表示されます。

■「装置状態表示エリア①」の装置状態がエラーの場合

エラーコードが表示されます。エラーコードの内容は、[「第6章トラブルシューティング」\(P.132\)](#)の[表 6.2](#)を参照してください。



図 4.2 エラーコード表示

■ 富士通メインフレームからデータ受信を開始した場合

データ形式とデータ処理中が表示されます。データ形式は、JEF（ラインプリンタモード）の場合は「LP」、JEF/AP（ページプリンタモード）の場合は「PP」が表示されます（JEF/AP 出力機構オプション搭載時）。データ処理中の表示は、以下の状態に遷移すると消えます。

- 本装置が READY 以外の装置状態に遷移した
- すべてのデータを送信した
- データがキャンセルされた

出力を強制的に打ち切る指示を富士通メインフレームから行った場合、本装置内のすべてのデータをプリンターに送信できず、データ処理中が表示されたままになることがあります。

この場合、本装置の「クリアプリント」ボタンまたは「データキャンセル」ボタンを押して、データ処理中を解除してください。詳細は [「5.1.12 データ操作」\(P.99\)](#) を参照してください。



図 4.3 データ処理中表示

4.4 メッセージエリア

エラーが発生している場合はエラーメッセージが表示されます。ジョブ名表示が「有効」の設定でジョブ名が指定された場合は、ジョブ名が表示されます。ジョブ名表示の初期値は「有効」です。

■ 「装置状態表示エリア①」の装置状態がエラーの場合

エラーメッセージを表示します。エラーメッセージの内容は、[「第6章 トラブルシューティング」\(P.132\)](#) を参照してください。

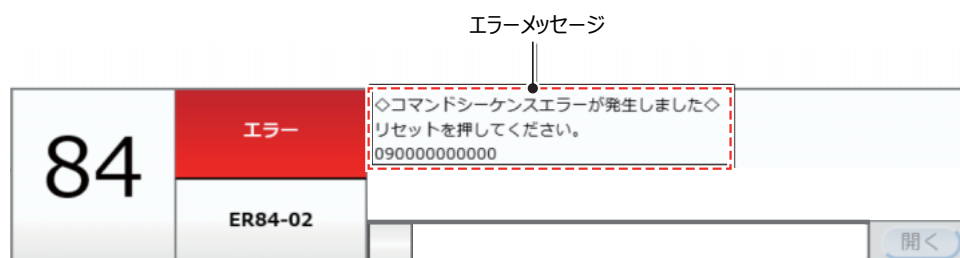


図 4.4 エラーメッセージ表示

■ ジョブ名が指定されたジョブがある場合

富士通メインフレームからジョブ名が指定された最初のページの送信ファイルの作成を開始したとき、メッセージエリアの最終行にジョブ名を表示します。

ジョブ名表示は印刷が終了しても表示されたままとなります。次のジョブ名が指定されることにより表示が切り替わります。

なお、ジョブ名は富士通メインフレーム APS ライタ利用時のみ表示することができます。

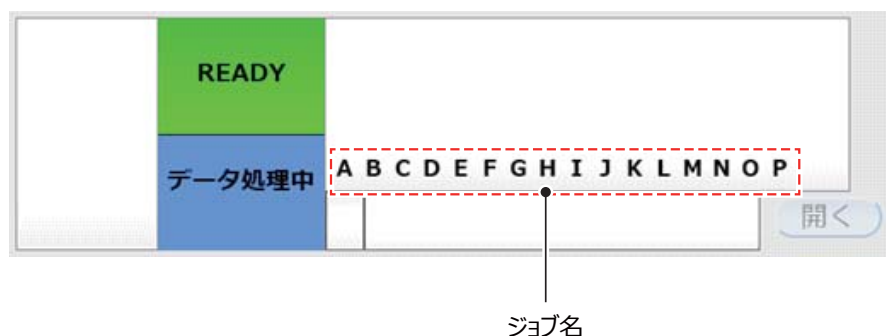
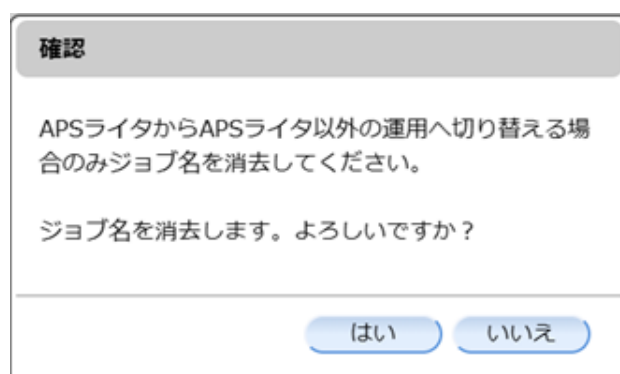


図 4.5 ジョブ名表示

備考



ジョブ名表示を使用する運用から、使用しない運用に切替えた場合に、ジョブ名が表示されたままとなりますが、「ジョブ名消去」ボタンを押すことで表示を消すことができます。



「ジョブ名」を削除する場合は「はい」ボタンを押します。

「ジョブ名消去」ボタンは、本装置出荷時は非表示の設定となっていますので、[\[5.2.5 表示設定\] \(P.118\)](#) の [「■ ジョブ名表示の設定を行う」 \(P.122\)](#) を参照し、表示をする設定に変更してください。なお、「ジョブ名消去」ボタンは本装置の状態が「NOT READY」で、かつ、データランプの状態が「消灯」の場合に操作が可能となります。

■ 再起動が必要となる場合

ユーザー管理者モードで以下の設定を変更した場合、再起動が必要となります。変更した値は、再起動後に適用されます。

- ネットワーク設定
- 送信先設定
- アクセス制御設定
- UPS 設定

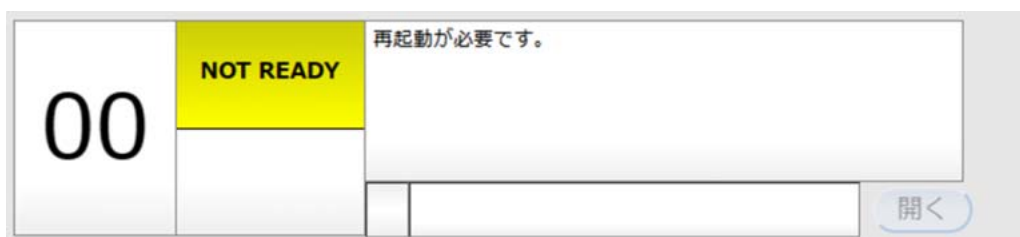


図 4.6 再起動メッセージ表示



4.5 インフォメーション通知エリア

補足情報が表示されます。装置状態表示エリアに表示できない情報を補助的に表示するための領域です。



図 4.7 インフォメーション通知

表 4.3 メッセージアイコンとメッセージ表示


項目	説明	
メッセージアイコン + メッセージ領域	表示する補助情報のレベルがアイコンで表示されます。	
	アイコン	説明
		通知するインフォメーションがない場合にアイコンおよびメッセージ領域は表示しません。
開く		お知らせがある場合に表示します。 メッセージ領域には「お知らせがあります」と表示します。
	発生している情報の詳細を表示したポップアップ画面が開きます。 通知するインフォメーションがない場合は無効化され、押すことができません。 詳細は 図 4.8 を参照してください。	

インフォメーション通知エリアで「開く」ボタンを押すと、インフォメーションのポップアップ画面が表示されます。



図 4.8 インフォメーションのポップアップ画面

表 4.4 インフォメーションのポップアップ画面

項目	意味		
インフォメーション表示領域	通知するインフォメーションを以下のとおりに表示します。		
	メッセージ アイコン	通知する情報にあったアイコンを表示します。	
		アイコン	説明
			お知らせを通知する場合に表示します。
	日時	状態が発生した日時です。表示形式は以下のとおりです。 YYYY/MM/DD HH:MM 例：2023 年 1 月 7 日午後 1 時 12 分 34 秒の場合 2023/1/7 13:12	
メッセージ	発生した状態を表示します。		
閉じる	本画面を閉じます。 「本画面を閉じる際に、表示されているインフォメーションを削除する。」をチェックした状態で「閉じる」ボタンを押すと、原因が解消された場合、表示されていたインフォメーションは削除されます。		

4.6 装置情報表示エリア

装置名、ファームウェア版数、および日時が表示されます。

■ 装置名

装置情報表示エリアに本装置の装置名が表示されます。

ここで表示される装置名は、メンテナンス管理者モードメニューで設定します。



図 4.9 装置名

■ ファームウェア版数表示

装置情報表示エリアに本装置のファームウェア版数を表示します。



図 4.10 ファームウェア版数表示

■ 日時表示

装置情報表示エリアに本装置の現在日時を表示します。
ここで表示される日時は、ユーザー管理者モードメニュー「[5.2.4 日時設定](#)」(P.115) で設定します。また、ユーザー管理者モードメニューの「[5.2.5 表示設定](#)」(P.118) の「日時表示」の設定により、日時表示の有無を選択できます。



図 4.11 日時表示

4.7 接続チャンネル情報表示エリア

接続チャンネル情報表示エリアには、本装置と接続しているホストのチャンネル接続先と接続している接続先情報が表示されます。

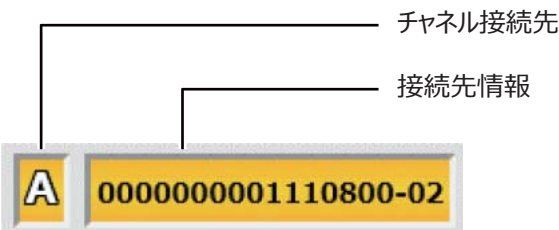


図 4.12 ホスト接続情報

表 4.5 ホスト接続情報表示

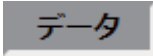
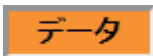
表示項目	意味
チャンネル接続先	本装置と接続しているホストの接続方向（A または B）を表示します。 接続していない場合は、何も表示しません。 接続方向は、一般ユーザーモードメニューの「 5.1.10 チャンネル設定 」(P.96) で設定できます。
接続先情報	本装置と接続している接続先情報を表示します。 接続していない場合は、「アタッチされていません」と表示します。 接続先情報は、ユーザー管理者モードメニューの「 5.2.5 表示設定 」(P.118) の接続先情報表示設定を参照してください。

4.8 データランプ表示エリア

データ表示エリアに本装置内のデータの状態をデータランプの点灯・点滅・消灯で表示します。

[表 4.6](#) に、表示状態とデータ状態の意味を示します。

表 4.6 データランプの表示状態と意味

ランプ	表示色	状態	意味
データ		消灯	READY 状態（印刷待ち／印刷中） NOT READY 状態で本装置内に印刷データはありません。
		点灯	NOT READY 状態で本装置内に印刷データがあります。（*1）
		点滅	NOT READY 状態で本装置内に未完成ページのデータがあります。

*1: データランプ点灯中に設定を変更した場合、「データがあるため、設定変更できません」と表示される場合があります。

4.9 装置操作ボタンエリア

本装置を操作するボタンが表示されます。装置状態によって有効または無効になる操作ボタンがあります。

表 4.7 装置状態の表示と機能

装置状態	装置操作ボタンの有効無効			
	スタート	ストップ	リセット	電源
初期化中	×	×	×	×
NOT READY	○	×	×	○
READY	×	○	×	○
エラー	×	×	○（*1）	○

○：有効（操作可）、×：無効（操作不可）

*1: 復旧不可能なエラーの場合、「リセット」ボタンは無効となり操作することができません。

■「スタート」ボタン

本装置を印刷可能な状態（*1）である「READY」に遷移させる場合は、「スタート」ボタンを押します。「スタート」ボタンは本装置の状態が「NOT READY」の場合に有効となります。ただし、「スタート」ボタンは以下の状態の時には操作できません（無効になる）。

- チャンネル接続先で選択されているチャンネルが無効なとき（[「5.1.10 チャンネル設定」\(P.96\)](#) 参照）



図 4.13 「スタート」ボタン

スタートボタンを押すと、プリンター装置、および富士通メインフレームとの通信を行います。通信中は以下の画面が表示されます。

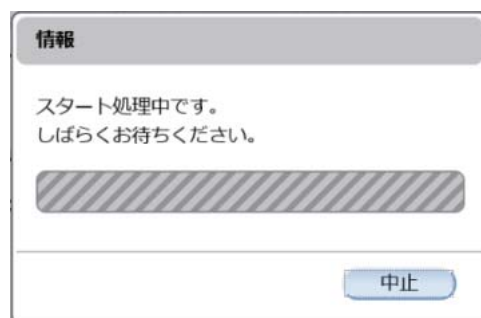


図 4.14 プリンター装置および富士通メインフレームとの通信中画面

「中止」ボタンを押すと、スタート処理を中止し、装置の状態は「NOT READY」のままとなります。

プリンター装置との通信が失敗した場合、以下のエラーとなります。「リセット」ボタンを押して状態を確認してください。

- プリンター装置の電源が入っていない、またはネットワーク接続ができない。（「ER8B-80」、「ER8B-8F」）
- 対象外のプリンターが接続された場合（「ER8D-40」、「ER8D-41」）

富士通メインフレームと通信中に富士通メインフレームから切断される場合があります。この場合、本装置に「ER80-A0」が表示されるため、「リセット」ボタンを押して富士通メインフレームとの接続状態を確認してください。チャンネル接続は「OFF Line」になります。

また、「中止」ボタンを押すタイミングにより、スタート処理を中止できず、「READY」になる場合があります。



図 4.15 READY 状態のメインパネル

- *1: 印刷が可能な状態とは、富士通メインフレームから印刷データを受信し、プリンター装置に送信することが可能な状態を示します。
- *2: 「スタート」ボタンを押しても、期待する状態にならない場合は、状態別の確認作業を実施した上で、必要に応じて保守技術員（担当 CE）に連絡してください。

備考

【印刷時のポイント】

印刷を行う場合、以下の状態になっていることを確認してください。

- ・本装置が「READY」、プリンター装置がスタート状態になっていること。

■「ストップ」ボタン

印刷データのクリアプリント／データキャンセルや印刷設定値の変更、本装置の電源 OFF など、いったん「NOT READY」に遷移させる場合に、「ストップ」ボタンを押します。

「ストップ」ボタンを押すとプリンター装置への印刷データ送信を停止します。ただし、送信中の送信ファイルがある場合は送信が完了してから「NOT READY」になります。

「ストップ」ボタンは、本装置の状態が「READY」の場合に有効となります。

データ処理中の場合は、以下の手順で実施してください。

手順 ▶▶▶

- 1 プリンター装置の操作パネルで「ストップ」ボタンを押して、プリンター装置を停止させます。
- 2 メインパネルの「ストップ」ボタンで本装置を「NOT READY」状態にします。

注意

本装置が「NOT READY」の場合、富士通メインフレームからの印刷データは受信せず、エラーのセンス情報を返します。



図 4.16 「ストップ」ボタン

「ストップ」ボタンを押すと、ストップ処理中の画面が表示されます。



図 4.17 ストップ処理中画面



図 4.18 NOT READY 状態のメインパネル

■「リセット」ボタン

本装置でエラーが発生した際に、本装置のエラー状態を解除するときは「リセット」ボタンを押します。
また、プリンター装置でエラーが発生した場合は、プリンター装置側でリセットしてください。
なお、「リセット」ボタンは、エラー状態から復旧できるエラーの場合に有効となります。
「リセット」ボタンを押すことにより、すべての復旧可能なエラーが復旧できた場合に「NOT READY」に遷移します（*1）。



図 4.19 リセット可能なエラー状態

*1: 「リセット」ボタンは1つのエラーに対して復旧処理を行うため、エラー要因が複数の場合、エラー要因の回数だけ「リセット」ボタンを押す必要があります。

「リセット」ボタンを押すと、リセット処理中の画面が表示されます。



図 4.20 リセット処理中画面

■「電源」ボタン

本装置を OFF する際に「電源」ボタンを押します。「電源」ボタンは、初期化中を除くすべてのモードで操作することができます。
「電源」ボタンを押したあとは、シャットダウンを確認するためのポップアップ画面が表示されます。表示するポップアップ画面については、[表 4.8](#) を参照してください。

表 4.8 「電源」ボタンを押したときのポップアップ画面

データ	確認のポップアップ画面
データなし	<p>「シャットダウン後、再起動する」をチェックして「はい」ボタンを押すと、シャットダウン後に本装置を再起動します。</p> <div><div>シャットダウンの確認</div><p>メインフレーム帳票変換装置をシャットダウンしてよろしいですか？</p><div><input type="checkbox"/> シャットダウン後、再起動する</div><div>はいいいえ</div></div>
データあり	<p>「シャットダウン後、再起動する」をチェックして「はい」ボタンを押すと、シャットダウン後に本装置を再起動します。</p> <div><div>シャットダウンの確認</div><p>本装置内にデータがあります。 シャットダウンするとデータが破棄されます。</p><p>メインフレーム帳票変換装置をシャットダウンしてよろしいですか？</p><div><input type="checkbox"/> シャットダウン後、再起動する</div><div>はいいいえ</div></div>

4.10 「ログアウト」ボタンエリア

本装置の Web-UI からログアウトするにはメインパネルの「ログアウト」ボタンを押します。
Web ブラウザの閉じるボタン、ファイルメニューの終了からの Web-UI の終了は実施しないでください（本装置シャットダウン後のブラウザを閉じる操作以外）。



図 4.21 「ログアウト」ボタンエリア

第 5 章 Web-UI 操作 (メニューパネル／コンテンツパネル)

メニューパネルで選択したメニューの項目がコンテンツパネルに表示されます。
メニューパネル、コンテンツパネルを操作するときは、メインパネルの「ストップ」ボタンで本装置を NOT READY 状態にして、富士通メインフレームからのデータ受信を停止してから操作してください。

印刷位置設定メニューを選択すると、印刷位置設定の項目が表示される。

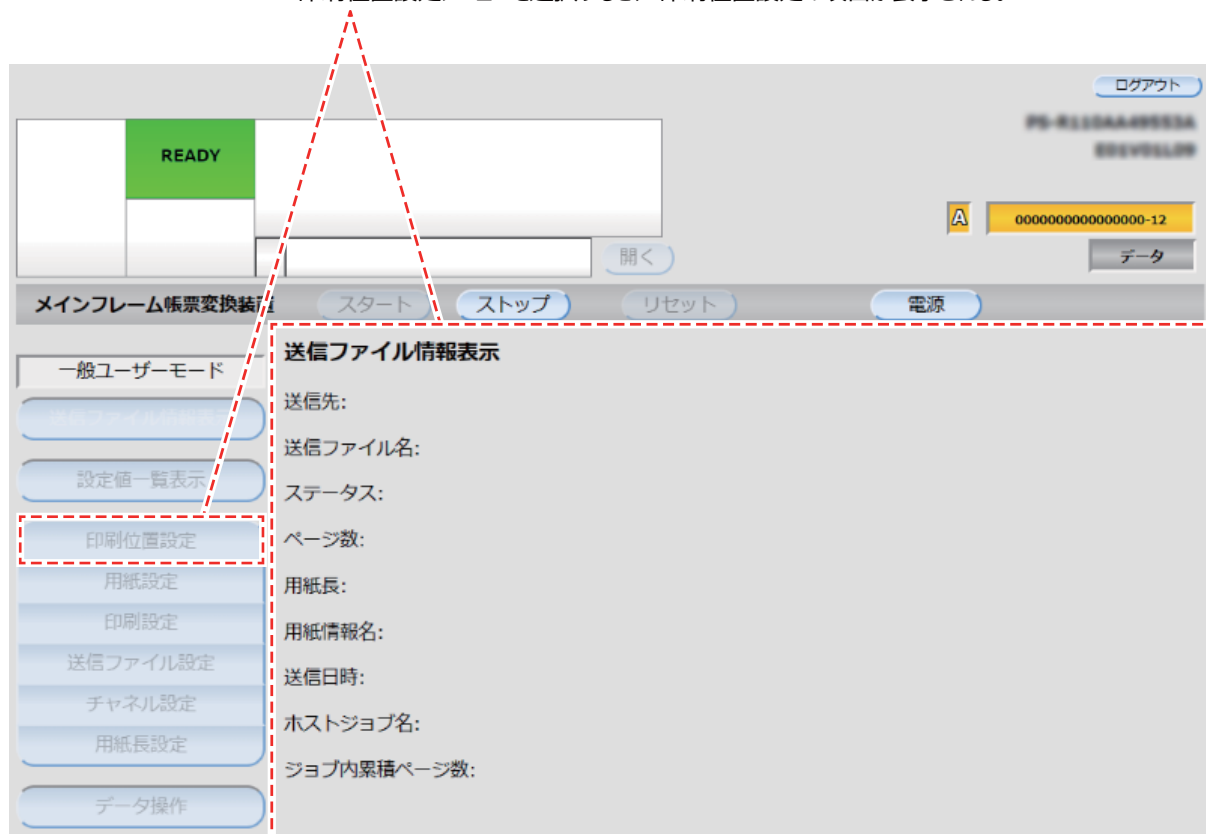


図 5.1 メニューパネルとコンテンツパネル (READY 状態)



図 5.2 メニューパネルとコンテンツパネル（NOT READY 状態）

■ 他のユーザーが使用中の場合の表示

以下のいずれかの場合は、メニューパネルのユーザーモード表示領域が「他ユーザー操作中」の表示になります。

- すでに他のユーザーがログインしている状態でログインした。
 - ログインしている状態で、あとから権限の高いユーザーがログインした（*1）。
- *1: 権限の低いユーザーが再度作業したい場合は、権限の高いユーザーが作業を終了し、ログアウトしたのを確認後に再ログインする必要があります。



図 5.3 ユーザーモード表示領域

表 5.1 ユーザーモード表示領域

ユーザーモード	通常時	他のユーザーが使用中	権限レベル
一般ユーザーモード	一般ユーザーモード	他ユーザー操作中	低
ユーザー管理者モード	ユーザー管理者モード	他ユーザー操作中	中
メンテナンス管理者モード	メンテナンス管理者モード	他ユーザー操作中	高

■ 選択可能なメニュー

本装置の状態で、選択できるメニューが異なります。詳細を、[表 5.2](#) に示します。

表 5.2 装置状態と選択可能なメニュー

READY	NOT READY	エラー
すべてのメニューが選択不可	すべてのメニューが選択可	以下のメニューのみ選択可 <ul style="list-style-type: none"> • 印刷設定（*1） • 一般ユーザーモード（*2） • メンテナンス管理者モード（*3）

*1: 一般ユーザーモードで第 2FPD 関連のエラー（ER85-54、ER8A-52）が発生した場合に選択可能です。エラーの対処方法は、[「第 6 章 トラブルシューティング」\(P.132\)](#) を参照してください。

*2: ユーザー管理者モードの場合に選択可能です。

*3: 保守技術員（担当 CE）向けのモードです。

■ 設定情報入力時のエラー表示

コンテンツパネルまたはポップアップ画面の設定で、範囲外の値を入力して「適用」ボタンを押した場合、入力値エラーが表示されます。表示された使用可能文字を参考に再入力してください。



図 5.4 設定情報入力時のエラー表示例

■ 設定未適用時の警告表示

「適用」ボタンのあるメニューでは、「適用」ボタンを押さずに他のメニューへの移動した場合に警告画面が表示されます。「スタート」ボタンを押した場合や「電源」ボタンを押した場合は確認画面が表示されます。設定変更中に装置にエラーが発生した場合、変更中の設定値は破棄されます。

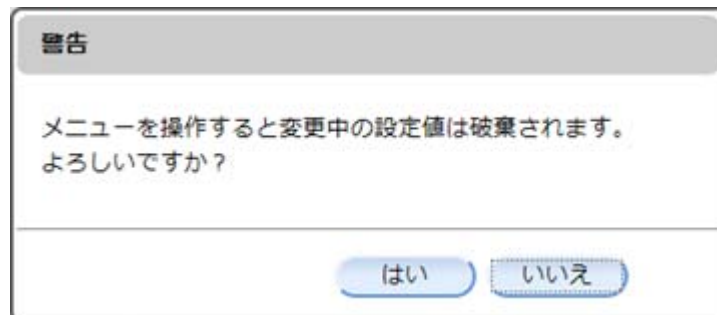


図 5.5 設定未適用時の警告画面

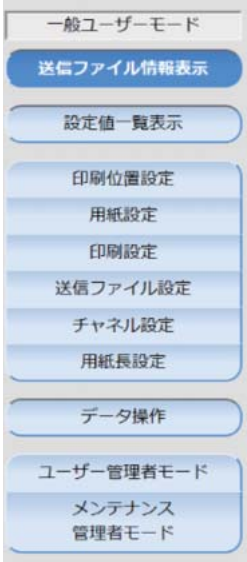



図 5.6 設定未適用時の確認画面

■ 各ユーザーモードのメニュー一覧

各ユーザーモードで操作できるメニューを表 5.3 に示します。

表 5.3 メニューパネル

一般ユーザーモード	ユーザー管理者モード
表示されるメニューについては、 「5.1 一般ユーザーモードメニュー」(P.69) を参照してください。	表示されるメニューについては、 「5.2 ユーザー管理者モードメニュー」(P.106) を参照してください。
	

備考

メニューパネルは、画面をスクロールすることで、「ユーザー管理者モード」および「メンテナンス管理者モード」のメニューが表示されます。
また、「メンテナンス管理者モード」は、保守技術員（担当 CE）向けのモードです。

5.1 一般ユーザーモードメニュー

本装置を使用する一般ユーザー用のモードで、主に以下の操作を行うことができます。

- 印刷に関する設定表示／変更
- 印刷データのクリアプリント／データキャンセル

各設定項目について以下に示します。

表 5.4 一般ユーザーモードメニュー一覧

メニュー	設定		備考
送信ファイル情報表示	プリンター装置へ送信中または送信済の送信ファイル情報を表示		「5.1.1 送信ファイル情報表示」 (P.70) 参照
設定値一覧表示	一般ユーザーモードの設定内容を表示		「5.1.2 設定値一覧表示」 (P.71) 参照
印刷位置設定	垂直位置		「5.1.3 印刷位置設定」 (P.72) 参照
	水平位置		
	オーバーレイ		
用紙設定	選択中の用紙情報		「5.1.4 用紙設定」 (P.76) 参照
	用紙情報の登録／選択／削除／詳細		
印刷設定	一般	印刷開始制御	「5.1.5 印刷設定（一般設定）」 (P.82) 参照
		コンビニ -EAN128（*1）	「5.1.6 印刷設定（JEF 設定）」 (P.84) 参照
	JEF	印字幅	「5.1.7 印刷設定（第 2FPD 設定）」 (P.86) 参照
		EAN128 目視文字位置（*1）	「5.1.8 印刷設定（JEF/AP 設定）」 (P.92) 参照
		第 2FPD	
	JEF/AP（*2）	EAN128 目視文字位置	
送信ファイル設定	送信ファイル名生成		「5.1.9 送信ファイル設定」 (P.93) 参照
	ユーザー定義名		
	送信ファイル分割ページ数		
チャンネル設定	CHC 機番アドレス		「5.1.10 チャンネル設定」 (P.96) 参照
	Channel Enable 表示		
	チャンネル接続		
	チャンネル接続先		
用紙長設定	デフォルト用紙長		「5.1.11 用紙長設定」 (P.98) 参照
データ操作	クリアプリント		「5.1.12 データ操作」 (P.99) 参照
	データキャンセル		
	送信ファイル		
ユーザー管理者モード	ユーザー管理者モードへの遷移		「5.1.13 ユーザー管理者モード」 (P.105) 参照
メンテナンス管理者モード	メンテナンス管理者モードへの遷移		

*1: 「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時に本設定項目が表示されます。

*2: JEF/AP 設定は、「JEF/AP 出力機構」オプションがインストールされている場合に表示されます。

5.1.1 送信ファイル情報表示

プリンター装置へ送信中または送信済のファイルの情報を表示することができます。

手順▶▶▶

- 1 メニューパネルから「送信ファイル情報表示」を選択します。
コンテンツパネルに送信ファイルの情報が表示されます。

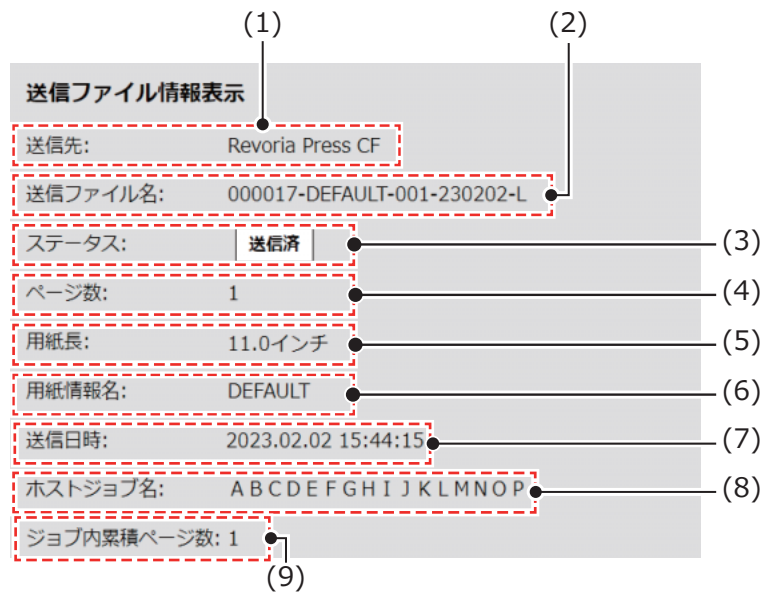


図 5.7 送信ファイル情報表示

表 5.5 送信ファイル情報表示の項目

番号	項目	説明												
(1)	送信先	送信ファイルの送信先で「Revoria Press CF」と表示されます。												
(2)	送信ファイル名	送信ファイル名が表示されます。												
(3)	ステータス	送信ファイルの送信状態が表示されます。												
		<table><tr><th>項目</th><th>説明</th></tr><tr><td>表示なし</td><td>本装置の電源投入から送信ファイルがない状態です。</td></tr><tr><td>送信中（青）</td><td>送信ファイルの送信中です。</td></tr><tr><td>送信済（白）</td><td>送信ファイルが送信済みの状態です。</td></tr><tr><td>送信保留中（黄） (*1)</td><td>送信ファイルの送信中に異常が発生し、送信を中断しました。</td></tr><tr><td>プリンタースプールフル （橙）(*2)</td><td>送信先のバッファフルのため送信を中断しました。</td></tr></table>	項目	説明	表示なし	本装置の電源投入から送信ファイルがない状態です。	送信中（青）	送信ファイルの送信中です。	送信済（白）	送信ファイルが送信済みの状態です。	送信保留中（黄） (*1)	送信ファイルの送信中に異常が発生し、送信を中断しました。	プリンタースプールフル （橙）(*2)	送信先のバッファフルのため送信を中断しました。
		項目	説明											
		表示なし	本装置の電源投入から送信ファイルがない状態です。											
		送信中（青）	送信ファイルの送信中です。											
		送信済（白）	送信ファイルが送信済みの状態です。											
		送信保留中（黄） (*1)	送信ファイルの送信中に異常が発生し、送信を中断しました。											
プリンタースプールフル （橙）(*2)	送信先のバッファフルのため送信を中断しました。													
(4)	ページ数	送信ファイルのページ数が表示されます。												
(5)	用紙長	送信ファイルの用紙長が表示されます。												
(6)	用紙情報名	送信ファイルの用紙情報が表示されます。												
(7)	送信日時	送信ファイルの送信を開始した日時が表示されます。												

番号	項目	説明
(8)	ホストジョブ名	ホストから指示されたジョブ名が表示されます。ホストジョブ名がない場合は表示されません。
(9)	ジョブ内累積ページ数（*3）	ホストから受信済み分の累積ページ数が表示されます。送信ファイルの作成が完了したときに更新されます。

- *1: 送信ファイルの送信中に異常が発生した場合は、プリンター装置側で通信エラーとなった送信ファイルがあるか確認を行ってください。プリンター側でエラーとなったジョブがある場合、削除を行ってください。プリンター側のエラー解除後、本装置の Web-UI からの「スタート」ボタンを押すことで、通信エラーとなった送信保留中の送信ファイルが再送されます。
- *2: プリンター装置のスプールがフルの状態です。プリンター装置の操作パネルまたは Print Station にて不要なファイルを削除してください。プリンター装置側のスプールフルの解除後、本装置の Web-UI から「リセット」ボタンを押し、その後「スタート」ボタンを押すことで、スプールフルでエラーとなった送信ファイルが再送されます。
- *3: ホスト側のジョブの区切りが本装置で識別できない場合は、ホストジョブとは関係なく累積を続けます。累積ページが 999999 を超えた場合、累積ページは一度クリアされ、再度、累積されます。



5.1.2 設定値一覧表示

一般ユーザーモードで設定されている値を一覧で確認することができます。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「設定値一覧表示」を選択します。
コンテンツパネルに設定値の一覧が表示されます。

2 各項目を確認します。

表示対象がない項目は「-」（全角のハイフン）を表示します。また、未設定の項目については「--」（半角のハイフン2つ）を表示します。

設定値一覧表示			
印刷位置設定			
垂直位置	4	オーバーレイ	08
水平位置	05	-	-
用紙設定			
現在選択中の用紙番号	000	用紙情報名	DEFAULT
印刷設定:一般			
印刷開始制御	Fモード(標準)	コンビニ-EAN128	白黒補正
印刷設定:JEF			
印字幅	16.5インチ	現在選択中の第2FPD番号	101
EAN128目視文字位置	7mm	ラベル名	ノーデッキ
印刷設定:JEF/AP			
EAN128目視文字位置	7mm	-	-
送信ファイル設定			
送信ファイル名生成	ホストジョブ名	ホストジョブ名がない場合	ユーザー定義名
ユーザー定義名	PS-R110AA	送信ファイル分割ページ数	250
チャネル設定			
CHC機番アドレス	00	-	-
チャネル接続	ON Line	チャネル接続先	A Channel
用紙長設定			
デフォルト用紙長	11.0インチ	-	-

図 5.8 設定値一覧表示

*1: 「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時に表示されます。

*2: 「JEF/AP 出力機構」オプション搭載時に表示されます。



5.1.3 印刷位置設定

用紙への印刷位置を指定することができます。

また、用紙情報を複数登録し、用紙に応じて指定することができます。詳細は「[5.1.4 用紙設定](#)」(P.76) を参照してください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「印刷位置設定」を選択します。
コンテンツパネルに印刷位置設定の項目が表示されます。

2 各項目を設定します。

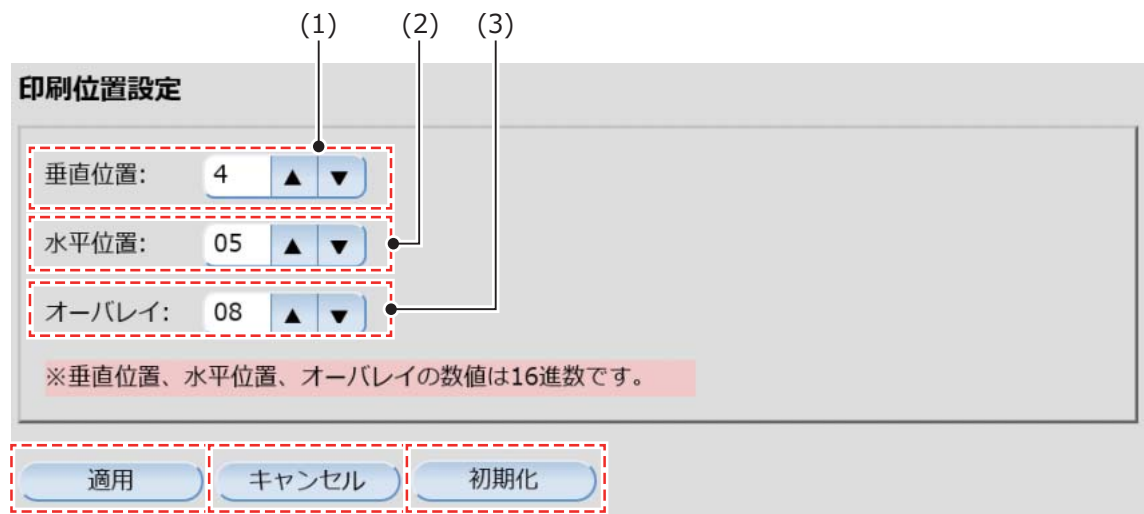


図 5.9 印刷位置設定

表 5.6 印刷位置設定の設定項目

番号	項目	初期値 (*1)	説明
(1)	垂直位置	4	印刷位置の垂直オフセット量を調整することができます。 値の単位は 1/60 インチです。
(2)	水平位置	05	印刷位置の水平オフセット量を調整することができます。 値の単位は 1/60 インチです。
(3)	オーバーレイ	08	オーバーレイの水平オフセット量を調整することができます。 値の単位は 1/120 インチです。

*1: 初期値の数値は 16 進数です。

3 「適用」ボタンを押します。

備考

値を初期化する場合は、「初期化」ボタンで初期値に戻したあと、「適用」ボタンを押してください。

■ 印刷位置の調整可能範囲

印刷位置の調整可能範囲を、[表 5.7](#) に示します。

表 5.7 垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の移動量調整可能範囲

内容	垂直方向	水平方向 (*3)	オーバーレイ
設定可能値の範囲 (*1)	0 ～ F	00 ～ BF	00 ～ 78
移動の単位	1/60 インチ	1/60 インチ	1/120 インチ
初期値 (基準点) (*1)	4	05	08

内容	垂直方向	水平方向（*3）	オーバーレイ
基準点に対する移動方向・設定値（*2）	下方向に最大 16 dot 1.69mm（4/60 インチ） 0 ～ 3	左方向に最大 20 dot 2.11mm（1/12 インチ） 00 ～ 04	左方向に最大 16 dot 1.69mm（1/15 インチ） 00 ～ 07（*4）
	上方向に最大 44dot 4.65mm（11.69 インチ） 5 ～ F	右方向に最大 744dot 78.74mm（3.1 インチ） 06 ～ BF	右方向に最大 224 dot 23.7mm（14/15 インチ） 09 ～ 78
移動対象となるデータ種別	文字・図形・イメージ・オーバーレイ	文字・図形・イメージ	文字・図形・イメージ・オーバーレイ

*1: 設定可能値および初期値の数値は 16 進数です。

*2: 移動 dot 数は、600dpi 換算です。

*3: 水平方向の印刷位置は、オーバーレイ位置の設定の影響を受けるため注意が必要です。

*4: 印刷設定の印刷開始制御が I モードの場合、00 または 01 を指定すると、オーバーレイの左端が印刷できない場合があります。この場合は、本装置の Web-UI にて 02 を設定し、左方向に移動させたい不足分をプリンター装置の操作パネルで左方向へ調整してください。

印刷位置設定時に、設定値に応じて印刷位置が移動する用紙 1 ページ内のイメージを [図 5.10](#) に示します。

移動範囲の数値は 16 進数です。

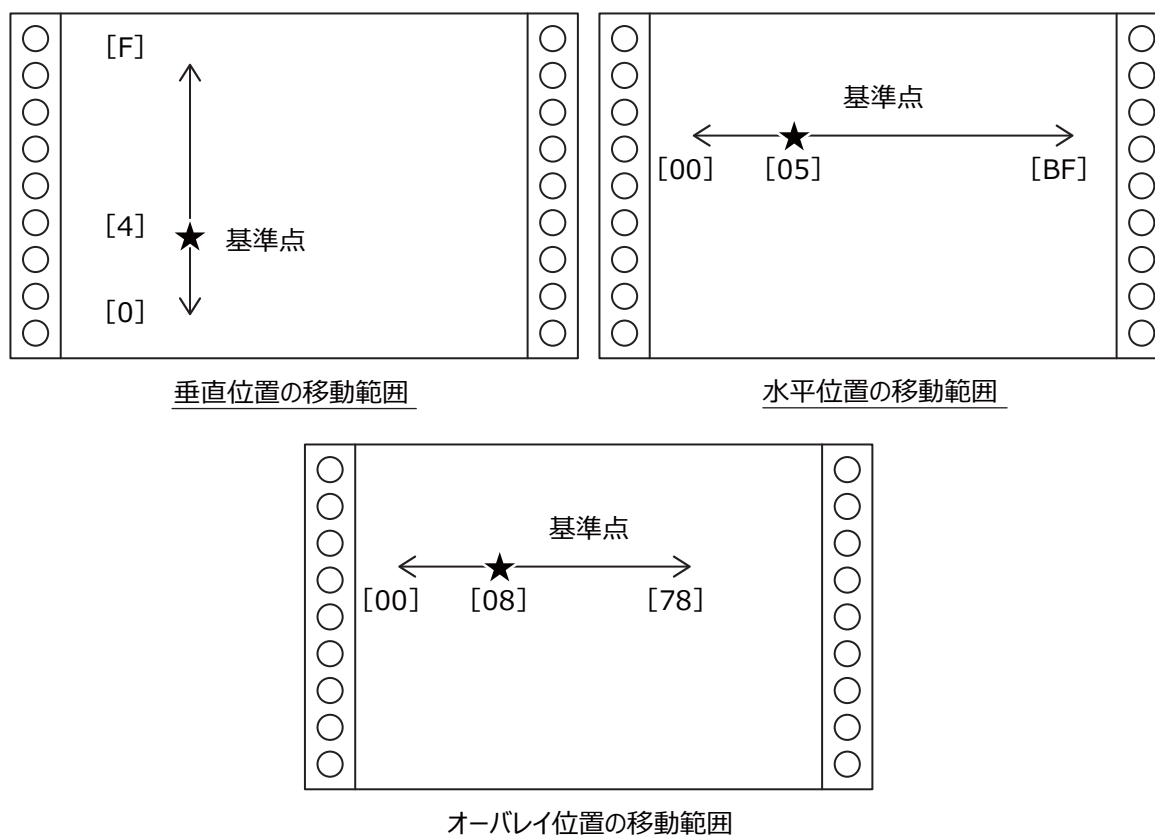


図 5.10 垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の移動範囲

備考

【印刷位置確認時のポイント】

印刷途中での設定変更は設定が即時反映されないため、本装置に印刷データがない状態で設定変更を実施してから印刷ジョブの印刷確認を行ってください。

また、位置の確認のみで、すべての印刷が不要な場合は、プリンター装置側でキャンセルの操作をする必要があります。

【印刷位置確認の手順】

1. 印刷中でないことを確認します。
 - 富士通メインフレームからジョブ実行中でないこと
 - 本装置のデータランプが消灯していること
 - プリンター装置がプリント中でないこと
2. Web-UI より「印刷位置設定」で設定を変更します。
3. 富士通メインフレームより確認する印刷ジョブを実行します。
4. プリンター装置で確認に必要なページがプリントされたらプリントを停止します。
5. 印刷結果を確認します。

印字結果に問題がなく、印刷を継続する場合は、プリンター装置のプリントを再開します。

印刷を継続しない場合は、手順6以降に進みます。
6. 富士通メインフレームからジョブのキャンセルを実施します。
7. プリンター装置側でプリントのキャンセルを実施します。

設定を変更して印刷位置確認を継続する場合は、手順1に戻ります。

5.1.4 用紙設定

運用帳票が複数ある場合、用紙ごとに用紙名や印刷位置調整の値などを登録することができます。用紙情報は、初期状態で登録されている「DEFAULT」を除き、511 種類登録できます。

備考

本装置は、プリンター装置で可能な用紙情報ごとの濃度設定はできません。印刷時の濃度は、プリンター装置側で設定された濃度で印刷されます。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「用紙設定」を選択します。
コンテンツパネルに用紙設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

用紙設定

現在選択中の用紙番号: 000 用紙情報名: DEFAULT

☐ 未登録項目の表示

番号	用紙情報名	垂直	水平	OVL
000*	DEFAULT	04	05	08

番号指定: 000 ▲ ▼ 移動

登録 選択 削除 詳細

*...デフォルトデータです。削除はできません。

注意: プリンターの印刷位置(垂直位置、水平位置)の設定をデフォルトに設定してください。

注意: 濃度の設定はできません。プリンターで設定してください。

図 5.11 用紙設定

表 5.8 用紙設定

番号	項目	初期値	説明
(1)	現在選択中の用紙番号 および用紙情報名	000 DEFAULT	現在選択されている用紙情報の番号および用紙情報名が表示されます。変更する場合は、用紙情報一覧から変更したい用紙情報の行を選択し、「選択」ボタンを押します。
(2)	未登録項目の表示	OFF (チェック なし)	<p>用紙情報一覧で用紙情報が登録されていない行を表示するかどうかを選択できます。なお、新しい用紙情報を登録する場合は、チェックを付けて（ON）ください（「■用紙情報を登録する」(P.78) 参照）。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OFF（チェックなし） 用紙情報が登録されていない行は表示しません。登録されている用紙情報が 5 つ未満の場合は、空行が表示されます。 • ON（チェックあり） 用紙情報が登録されていない行を表示します。また、新しい用紙情報を登録する場合は、チェックを付けます。
(3)	用紙情報一覧	000 行選択	<p>用紙情報が一覧で表示されます。各用紙情報には以下の項目があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 番号 登録した用紙情報の番号です（範囲：000 ～ 511）。 • 用紙情報名 登録した用紙名です。用紙情報登録画面で指定します。 • 垂直 印刷位置の垂直オフセット量です。印刷位置設定画面で指定します。 • 水平 印刷位置の水平オフセット量です。印刷位置設定画面で指定します。 • OVL オーバーレイ位置の水平オフセット量です。印刷位置設定画面で指定します。
(4)	▲▲	—	用紙情報一覧を 5 行ずつ上にスクロールできます。
	▲	—	用紙情報一覧を 1 行ずつ上にスクロールできます。
	▼▼	—	用紙情報一覧を 5 行ずつ下にスクロールできます。
	▼	—	用紙情報一覧を 1 行ずつ下にスクロールできます。
(5)	番号指定移動	000	指定した番号の用紙まで用紙情報一覧をスクロールさせる場合、番号指定に表示する用紙番号を入力し、「移動」ボタンを押します。000 ～ 511 の範囲で指定可能です。

3 以下のいずれかのボタンを押します。

- 登録
新しい用紙情報を登録する場合に「登録」ボタンを押します。用紙情報は「DEFAULT」を除き、511種類まで登録することができます。詳細は「[■ 用紙情報を登録する](#)」(P.78)を参照してください。
- 選択
印刷に使用する用紙情報を選択する場合に「選択」ボタンを押します。選択した用紙情報が「選択中の用紙情報」に反映され、各設定値が「印刷位置設定」、「印刷設定」の「印字幅」、「印刷開始制御」、「コンビニ-EAN128」、「送信ファイル分割ページ数」に反映されます。
- 削除
登録済みの用紙情報を削除する場合に「削除」ボタンを押します。「DEFAULT」は削除できません。用紙情報削除画面が開きます。選択中の用紙情報を削除すると、「DEFAULT」が選択されます。用紙情報を削除します。詳細は「[■ 用紙情報を削除する](#)」(P.80)を参照してください。
- 詳細
登録済みの用紙情報の設定値を確認する場合に「詳細」ボタンを押します。用紙情報の詳細画面が開きます。詳細は「[■ 用紙情報の詳細を確認する](#)」(P.81)を参照してください。



■ 用紙情報を登録する

手順 ▶▶▶

1 登録する用紙情報の項目をあらかじめ設定しておきます。以下の項目を設定します。

- 印刷位置の垂直位置／水平位置／オーバーレイ（[「5.1.3 印刷位置設定」](#) (P.72) 参照）
- 印刷設定の印字幅（[「5.1.6 印刷設定（EF 設定）」](#) (P.84) 参照）
- 印刷設定の印刷開始制御（[「5.1.5 印刷設定（一般設定）」](#) (P.82) 参照）
- 印刷設定のコンビニ-EAN128（[「5.1.5 印刷設定（一般設定）」](#) (P.82) 参照）
- 送信ファイル設定の送信ファイル分割ページ数（[「5.1.9 送信ファイル設定」](#) (P.93) 参照）

備考

用紙情報で登録する各項目の値は、実際の用紙でテスト印刷をして印字状態を確認しながら決定してください。

2 「印刷設定」の画面で未登録項目も表示にチェックを付け、登録する番号の行をクリックし、「登録」ボタンを押します。

用紙情報登録画面が開きます。

- 3 登録する各項目値を確認し、用紙情報名を入力します。
用紙情報名以外の値を変更したい場合は、[手順1](#)に戻って設定値を変更のうえ、再度本画面で登録操作を行ってください。

図 5.12 用紙情報登録画面

表 5.9 用紙情報（登録）

番号	項目	説明
(1)	番号	用紙情報一覧で選択した用紙番号が表示されます。
(2)	用紙情報名	登録する用紙情報名を1～16文字で指定します。 利用可能文字は半角英数字、"-"（ハイフン）、"*"（アスタリスク）です。
(3)	垂直位置	印刷位置設定メニューの垂直位置の設定値が表示されます。
(4)	水平位置	印刷位置設定メニューの水平位置の設定値が表示されます。
(5)	オーバーレイ	印刷位置設定メニューのオーバーレイの設定値が表示されます。
(6)	印刷設定	印刷設定メニューの内容が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 印字幅指定 JEFの印字幅指定の選択項目が表示されます。 • 印刷開始制御 一般の印刷開始制御の選択項目が表示されます。 • コンビニ-EAN128 一般のコンビニ-EAN128の選択項目が表示されます。
(7)	送信ファイル分割ページ数	送信ファイル設定メニューの送信ファイル分割ページ数の値が表示されます。

- 4 「OK」ボタンを押します。



■ 用紙情報を選択する

手順 ▶▶▶

- 1 「用紙設定」の画面で選択する番号の行をクリックし、「選択」ボタンを押します。
「選択完了」の画面が開きます。
- 2 「閉じる」ボタンを押します。

■ 用紙情報を削除する

手順 ▶▶▶

- 1 「用紙設定」の画面で削除する番号の行をクリックし、「削除」ボタンを押します。
「用紙情報削除確認」画面が開きます。
- 2 「用紙情報」の内容を確認し、「はい」ボタンを押します。
用紙情報には、用紙設定画面で選択した用紙情報番号および用紙情報名が表示されます。

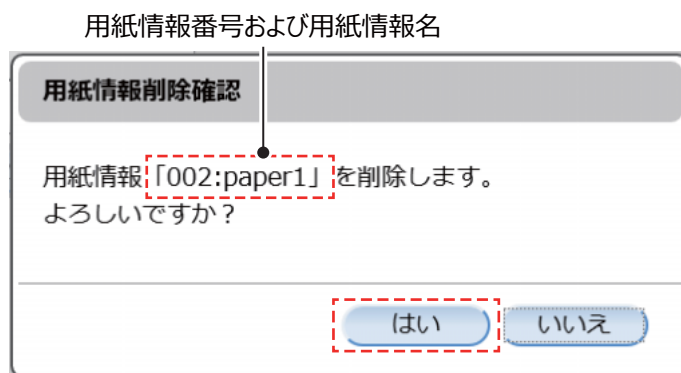


図 5.13 用紙情報削除確認画面

■ 用紙情報の詳細を確認する

手順 ▶▶▶

- 1 「用紙設定」の画面で削除する番号の行をクリックし、「詳細」ボタンを押します。
「用紙情報詳細」画面が開きます。
- 2 各項目の設定内容を確認します。

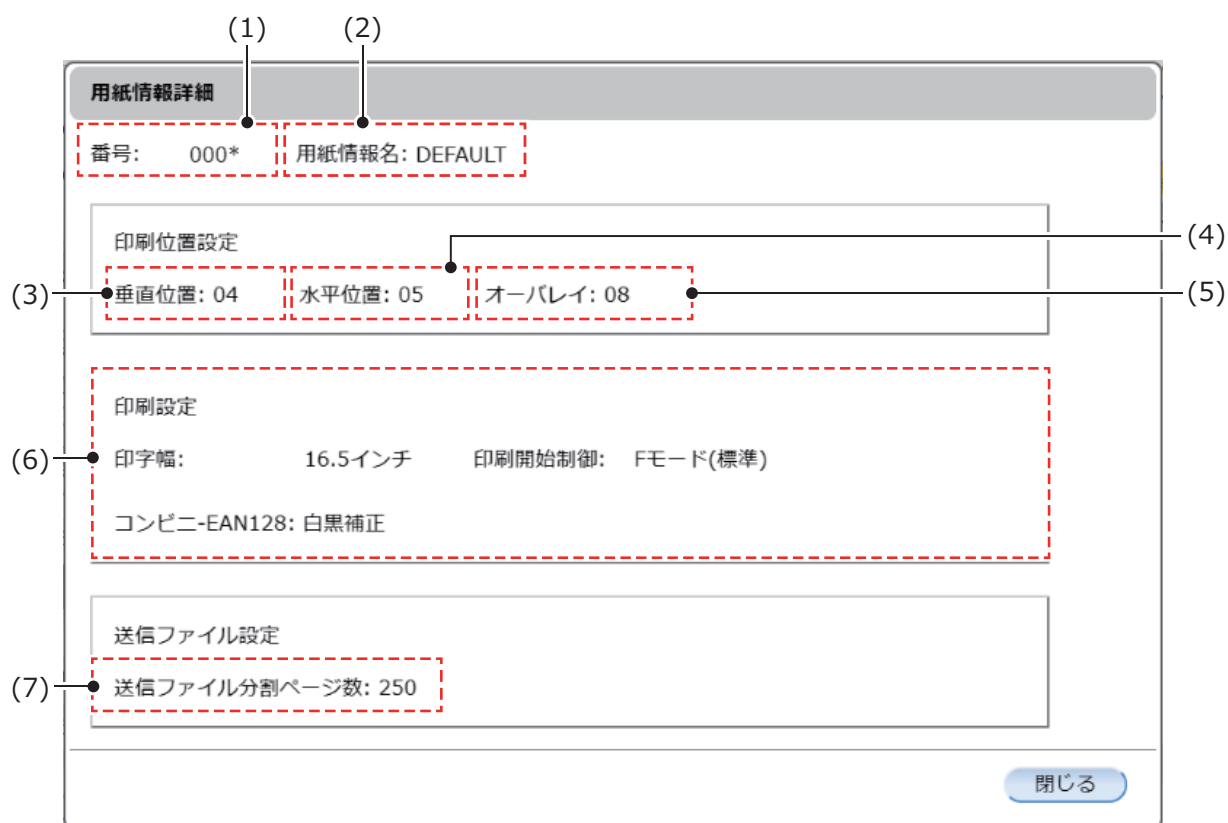


図 5.14 用紙情報詳細画面

表 5.10 用紙情報（詳細）

番号	項目	説明
(1)	番号	用紙情報一覧で選択した用紙番号が表示されます。
(2)	用紙情報名	用紙情報一覧で選択した用紙情報の用紙名が表示されます。
(3)	垂直位置	用紙情報一覧で選択した用紙情報の垂直位置が表示されます。
(4)	水平位置	用紙情報一覧で選択した用紙情報の水平位置が表示されます。
(5)	オーバーレイ	用紙情報一覧で選択した用紙情報のオーバーレイが表示されます。

番号	項目	説明
(6)	印刷設定	用紙情報一覧で選択した用紙情報の印刷設定が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 印字幅指定 用紙情報一覧で選択した用紙情報の印字幅指定が表示されます。 • 印刷開始制御 用紙情報一覧で選択した用紙情報の印刷開始制御が表示されます。 • コンビニ-EAN128 用紙情報一覧で選択した用紙情報のコンビニ-EAN128が表示されます。
(7)	送信ファイル分割ページ数	送信ファイル設定メニューの送信ファイル分割ページ数の値が表示されます。

3 「閉じる」ボタンを押します。



5.1.5 印刷設定（一般設定）

印刷に関する設定を行います。一般タブで設定した値は、JEF と JEF/AP の両方で有効となります。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。
コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- 2 「一般」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

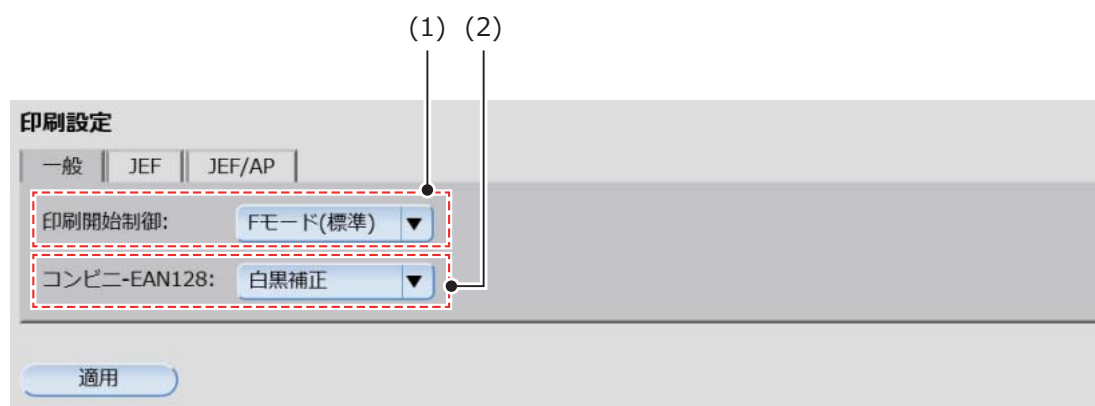


図 5.15 印刷設定の一般設定

表 5.11 印刷設定（一般設定）

番号	項目	初期値	説明
(1)	印刷開始制御	F モード (標準)	印刷開始位置のモードを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • F モード（標準） 印刷開始位置を左端 0.6 インチから印刷します。 • I モード 印刷開始位置を左端 0.5 インチから印刷します。モードの詳細は「A.4 印刷範囲」(P.142) を参照してください。
(2)	コンビニ -EAN128	白黒補正	「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時に本設定項目が表示されます。 補正およびバーコードの幅を指定します。 コンビニ -EAN128 の補正は、GS1-128（料金代理収納用）バーコードのみが対象です。 GS1-128（料金代理収納用）印刷を行わない場合は、設定の必要はありません。 <ul style="list-style-type: none"> • 補正なし <ul style="list-style-type: none"> - 黒のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 - 白のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 • 白補正 <ul style="list-style-type: none"> - 黒のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 - 白のバーコード幅 5,9,13,17 で印刷します。 • 白黒補正 <ul style="list-style-type: none"> - 黒のバーコード幅 3,7,11,15 ピクセルで印刷します。 - 白のバーコード幅 5,9,13,17 ピクセルで印刷します。

4 「適用」ボタンを押します。



5.1.6 印刷設定（JEF 設定）

印刷に関する設定を行います。JEF タブ画面で設定した値は、JEF の場合に有効となります。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。
コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- 2 「JEF」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

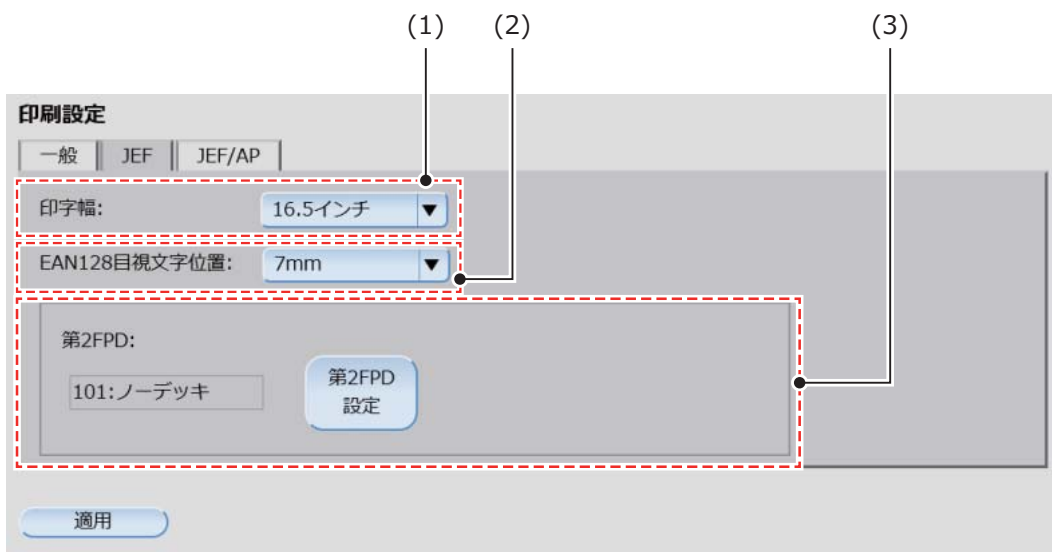


図 5.16 印刷設定の JEF 設定

表 5.12 印刷設定（JEF 設定）

番号	項目	初期値	説明
(1)	印字幅	16.5 インチ	印刷最大幅を指定します。 データランプ点灯中は変更できません。 <ul style="list-style-type: none">• 13.6 インチ 印刷最大幅を 13.6 インチに指定します。• 16.5 インチ 印刷最大幅を 16.5 インチに指定します。• 18.0 インチ 印刷最大幅を 18.0 インチに指定します。

番号	項目	初期値	説明
(2)	EAN128 目視文字位置	7mm	EAN128 目視文字位置は、GS1-128（料金代理収納用）バーコードのみが対象です。 GS1-128（料金代理収納用）バーコードの目視文字の位置を指定します（*1）。 <ul style="list-style-type: none">• 7mm バーコードの目視文字の位置を 7mm に指定します。• 9.5mm バーコードの目視文字の位置を 9.5mm に指定します。
(3)	第 2FPD 設定	—	第 2FPD 設定画面を開きます。 詳細は「 5.1.7 印刷設定（第 2FPD 設定） 」(P.86) を参照してください。

*1: 「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時、本設定が有効になります。オプション未搭載の場合、設定は無視されます。

4 「適用」ボタンを押します。



5.1.7 印刷設定（第2FPD 設定）

印刷に関する設定を行います。第2FPD 設定は、文字パターンをあらかじめ本装置に登録しておき、業務に必要な第2FPDを選択し、運用を行うために使用するものです。第2FPDの登録はSE(システムエンジニア)が行います。第2FPD は 001～099 まで登録可能です。なお、ブランク FPD は、新しい第2FPD を作成するときを選択してください。ブランク FPD を選択したまま運用すると、ER85-52 となる場合があります。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。
コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- 2 「JEF」タブを選択し、「第2FPD 設定」ボタンを押します。
- 3 各項目を設定します。

第2FPD設定

現在選択中の第2FPD: 101 ラベル名: ノーデッキ

☐ 未登録項目の表示

閉じる

番号	ラベル名	プロテクト	コメント
101*	ノーデッキ	--	
100*	ブランクFPD	--	
000*	JIS2	--	

▲▲ ▲ ▼ ▼▼

番号指定: 000 ▲ ▼ 移動

選択 削除 プロテクト コメント編集

*...プロテクト変更処理、削除、コメント編集はできません。

図 5.17 第2FPD 設定

表 5.13 印刷設定（第 2FPD 設定）

番号	項目	初期値	説明
(1)	現在選択中の第 2FPD ラベル名	101 ノーデッキ	現在選択されている第 2FPD のラベル名を表示します。本項目を変更する場合は、(3) で対象を選択し、「選択」ボタンを押します。
(2)	未登録行の表示	OFF	未登録行を表示するかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF 未登録行は表示しません。登録されている第 2FPD が 5 つ未満の場合は、空行が表示されます。 • ON 未登録行を表示します。
(3)	第 2FPD 情報一覧	101	登録済みの第 2FPD 情報を一覧で表示します。第 2FPD 情報には以下の項目があります。 番号「101 ノーデッキ」、「100 ブランク FPD」、「000 JIS2」は初期状態で登録されています。 <ul style="list-style-type: none"> • 番号 格納されている第 2FPD を表す 000 ～ 101 の数値です。 • ラベル名 格納されている第 2FPD のラベル名です。 • プロテクト 格納されている第 2FPD の書き込み可／不可の設定状態です。 <ul style="list-style-type: none"> - 「--」 初期状態で登録されていて変更できません。 - 「有効」 プロテクトが有効で書き込みできません。 - 「無効」 プロテクトが無効で書き込みできます。 • コメント 格納されている第 2FPD のコメントです。
(4)	スクロールアイコン	—	第 2FPD 情報一覧を上下にスクロールさせる場合に押します。「▲」ボタンまたは「▼」ボタンを押して 1 行ずつ上または下にスクロールします。「▲▲」ボタンまたは「▼▼」ボタンを押して 5 行ずつ上または下にスクロールします。
(5)	番号指定	000	選択したい第 2FPD 情報の番号を入力し、「移動」ボタンを押します。000 ～ 099 の範囲で指定できます。

4 以下のいずれかのボタンを押します。

- 選択
第2FPDを選択します。詳細は「[■ 第2FPDを選択する](#)」(P.88)を参照してください。
- 削除
第2FPDを削除します。詳細は「[■ 第2FPDを削除する](#)」(P.89)を参照してください。
- プロテクト
第2FPDにプロテクトを設定します。詳細は「[■ 第2FPDにプロテクトを設定する](#)」(P.90)を参照してください。
- コメント編集
第2FPDのコメントを編集します。詳細は「[■ 第2FPDのコメントを編集する](#)」(P.91)を参照してください。



■ 第2FPDを選択する

使用する第2FPDを選択すると、選択した第2FPDが「現在選択中の第2FPD」に反映されます。

手順 ▶▶▶

- 1 「第2FPD設定」画面で、選択したい第2FPDをクリックします。
- 2 「選択」ボタンを押します。



注意

第2FPDが99（最大登録数）登録されていた状態で、「100 ブランク FPD」を選択後、「選択」ボタンを押した場合、「登録が上限に達しています。」のエラーとなります。

■ 第2FPD を削除する

格納されている第2FPD を削除します。

初期状態で登録されている「101 ノーデッキ」、「100 ブランク FPD」、「000 JIS2」は削除できません。

手順 ▶▶▶

- 1 「第2FPD 設定」画面で、削除したい第2FPD をクリックします。
- 2 「削除」ボタンを押します。
第2FPD 削除確認画面が開きます。

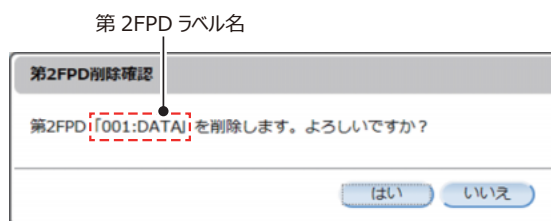


図 5.18 第2FPD 削除確認画面

- 3 削除する第2FPD ラベル名が正しい場合、「はい」ボタンを押します。



■ 第 2FPD にプロテクトを設定する

格納されている第 2FPD をプロテクト（書き込み可／不可）状態に設定します。
プロテクトを有効に設定した第 2FPD は、上書き登録できなくなります。なお、プロテクト有効時でも削除は可能です。
初期状態で登録されている「101 ノーデッキ」、「100 ブランク FPD」、「000 JIS2」は、プロテクト設定できません。

手順 ▶▶▶

- 1 「第 2FPD 設定」画面で、プロテクトを設定したい第 2FPD をクリックします。
- 2 「プロテクト」ボタンを押します。
プロテクト画面が開きます。
- 3 第 2FPD 情報一覧で選択した第 2FPD の書き込み可、または書き込み不可を設定します。

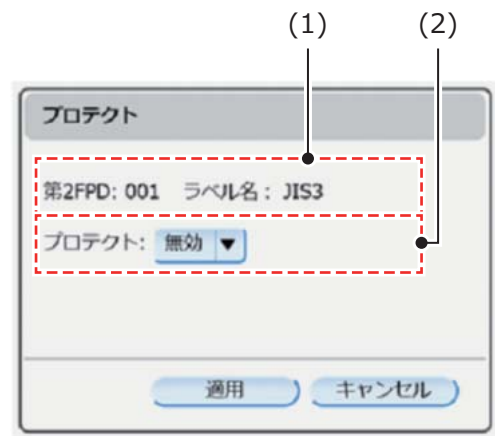


図 5.19 プロテクト画面

表 5.14 プロテクト画面の操作

番号	項目	説明
(1)	第 2FPD ラベル名	選択した第 2FPD の番号とラベル名を表示します。
(2)	プロテクト	選択した第 2FPD のプロテクト指定を変更します。 <ul style="list-style-type: none">有効 書き込み不可にします。無効 書き込み可能にします。

- 4 「適用」ボタンを押します。



■ 第 2FPD のコメントを編集する

格納されている第 2FPD のコメントを編集します。
初期状態で登録されている「101 ノーデッキ」、「100 ブランク FPD」、および「000 JIS2」のコメントは、編集できません。

手順 ▶▶▶

- 1 「第 2FPD 設定」画面で、コメントを編集したい第 2FPD をクリックします。
- 2 「コメント編集」ボタンを押します。
コメント編集画面が開きます。
- 3 第 2FPD 情報一覧で選択した第 2FPD のコメントを入力します。

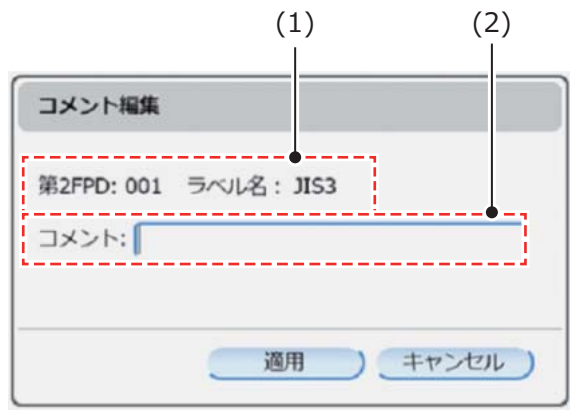


図 5.20 コメント編集画面

表 5.15 コメント編集画面の操作

番号	項目	説明
(1)	選択中の第 2FPD	選択した第 2FPD の番号とラベル名が表示されます。
(2)	コメント	選択した第 2FPD のコメントを編集します。 最大 16 文字を入力できます。半角英数字、半角記号（*1）、全角文字を入力することができます。半角空白は入力できません。

*1: ¥（円マークまたはバックスラッシュ）、"（ダブルクォーテーション）、&（アンパサンド）、<（小なり）、>（大なり）は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

- 4 「適用」ボタンを押します。



5.1.8 印刷設定（JEF/AP 設定）

印刷に関する設定を行います。JEF/AP のタブは、「JEF/AP 出力機構」オプション搭載時に表示されます。
JEF/AP タブ画面で設定した値は、JEF/AP の場合に有効となります。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。
コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- 2 「JEF/AP」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

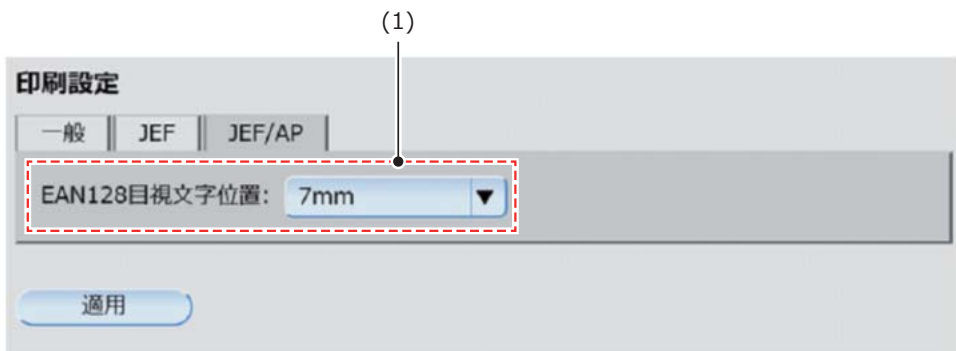


図 5.21 印刷設定の JEF/AP 設定

表 5.16 印刷設定（JEF/AP 設定）

番号	項目	初期値	説明
(1)	EAN128 目視文字位置	7mm	GS1-128（料金代理収納用）バーコードの目視文字の位置を指定します。 <ul style="list-style-type: none">• 7mm バーコードの目視文字の位置を 7mm に指定します。• 9.5mm バーコードの目視文字の位置を 9.5mm に指定します。

- 4 「適用」ボタンを押します。



5.1.9 送信ファイル設定

富士通メインフレームから受信した印刷データを、必要に応じて分割し、送信ファイルとしてプリンター装置へ送信します。プリンター装置へ送信する送信ファイル名、送信する分割ページ数を設定します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「送信ファイル設定」を選択します。
コンテンツパネルに送信ファイル設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

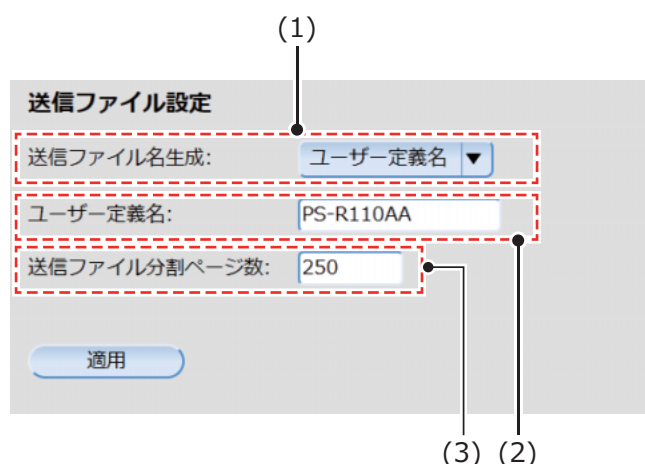


図 5.22 送信ファイル設定（ジョブ名表示設定無効）

表 5.17 送信ファイル設定（ジョブ名表示設定無効）の項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	送信ファイル名生成	ユーザー定義名	プリンター装置へ印刷データを送信する際の送信ファイル名の生成方法を指定します。 指定された送信ファイル名はプリンター装置の操作パネル上の「ジョブ」として表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー定義名 ユーザー定義送信ファイル名で設定した送信ファイル名を使用します。 用紙情報名 用紙情報名を使用します。使用するのは先頭から最大 16 文字までです。
(2)	ユーザー定義名	PS-R110AA	ユーザー定義を選択した場合の送信ファイル名を設定します。最大 16 文字を入力できます。 1 ～ 16 文字で入力します。 入力可能文字は、半角英数字、半角記号（*1）です。
(3)	送信ファイル分割ページ数	250	送信ファイルのページ数を指定します。ホストから受信した印刷データから送信ファイルを作成、送信ファイル分割ページ数を超えた場合、作成した送信ファイルをプリンター装置へ送信し、新たに送信ファイルを作成します。 250 ～ 2000 ページの範囲で指定ができます。

1: ¥（円マークまたはバックスラッシュ）、/（スラッシュ）、"（ダブルクォーテーション）、<（小なり）、=（イコール）、>（大なり）、?（クエスチョン）、@（アットマーク）、|（パイプライン）、:（コロン）、（アスタリスク）、空白は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

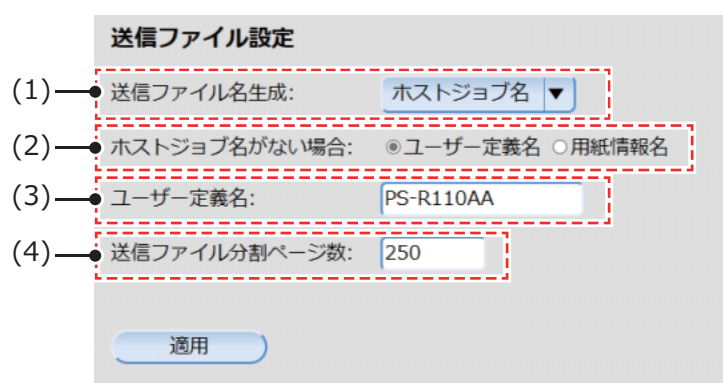


図 5.23 送信ファイル設定（ジョブ名表示設定有効）

表 5.18 送信ファイル設定（ジョブ名表示設定有効）の項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	送信ファイル名生成	ホストジョブ名	<p>プリンター装置へ印刷データを送信する際の送信ファイル名の生成方法を指定します。 指定された送信ファイル名はプリンター装置の操作パネル上の「ジョブ」として表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホストジョブ名 ホストから指示されたジョブ名を使用します。 ホストからジョブ名の指示がない場合、「ホストジョブ名がない場合」の設定を使用します。 • ユーザー定義名 ユーザー定義送信ファイル名で設定した送信ファイル名を使用します。 • 用紙情報名 用紙情報名を使用します。使用するのは先頭から最大 16 文字までです。
(2)	ホストジョブ名がない場合	ユーザー定義名	<p>送信ファイル名生成が「ホストジョブ名」の場合に選択が可能となります。 ホストからホストジョブ名の指定がない印刷データを受信した場合に使用する送信ファイル名を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザー定義名 ユーザー定義送信ファイル名で設定した送信ファイル名を使用します。 • 用紙情報名 用紙情報名を使用します。使用するのは先頭から最大 16 文字までです。
(3)	ユーザー定義名	PS-R110AA	<p>ユーザー定義を選択した場合の送信ファイル名を設定します。 最大 16 文字を入力できます。 1～16 文字で入力します。 入力可能文字は、半角英数字、半角記号（*1）です。</p>
(4)	送信ファイル分割ページ数	250	<p>送信ファイルのページ数を指定します。ホストから受信した印刷データから送信ファイルを作成、送信ファイル分割ページ数を超えた場合、作成した送信ファイルをプリンター装置へ送信し、新たに送信ファイルを作成します。 250～2000 ページの範囲で指定ができます。</p>

1: ¥（円マークまたはバックスラッシュ）、/（スラッシュ）、"（ダブルクォーテーション）、<（小なり）、=（イコール）、>（大なり）、?（クエスチョン）、@（アットマーク）、|（パイプライン）、:（コロン）、（アスタリスク）、空白は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

3 「適用」ボタンを押します。

注意

- 送信ファイルの分割ページ数は、初期値は 250 ページですが、運用に合わせて変更してください。送信ファイルの分割ページ数の設定値については、ファーストプリント時間（ホストから印刷の指示をしてから最初の 1 ページ目の出力が開始されるまでの時間）とトータルの印刷性能のバランスを鑑みた設定が必要となります。運用に合わせて設定をお願いします。
送信ファイルのファイル数を少なくしたい場合は、分割ページ数を大きくすることもできますが、ファーストプリントが遅くなります。
- 送信ファイル分割ページ数に到達すると送信ファイルをプリンター装置へ送信し、新たに送信ファイルを作成します。
また、以下のように、分割ページ数に到達しなくても送信ファイルをプリンター装置へ送信することがあります。
 - a) 富士通メインフレームと同期合わせが必要な場合（例）
 - 富士通メインフレームからのジョブが変わったとき
 - 用紙コードによる用紙掛け替え指示があったとき
 - ライタ操作コマンドが実行されたとき
 - b) 本装置の Web-UI 操作が実行された場合（例）
 - 「データ操作」の「クリアプリント」ボタンを押下したとき
 - 「印刷位置設定」の「水平位置」、「垂直位置」または「オーバーレイ」のいずれかを変更したとき

備考

本装置から送信した送信ファイルは、プリンター装置の操作パネル、または Print Station の「ジョブ管理」画面に「ジョブ」（ホストジョブとは異なりプリンター装置として印刷の単位）として表示されます。本装置から送信する送信ファイルは以下の表示形式となり、各情報は "-"（ハイフン）で区切られます。

送信ファイル名：NNNNNN-XXXXXXXXXXXXXXXXX-ZZZ-YYMMDD-T

表 5.19 送信ファイル名

送信ファイル名の各情報	意味
NNNNNN	送信ファイルを識別するための ID です。 送信ファイルを作成するごとに +1 します。 範囲は、000001～999999 で、999999 を超えた場合は 000001 に戻ります。
XXXXXXXXXXXXXXXXXX	「送信ファイル設定」の「送信ファイル名生成」で指定した値です。 「送信ファイル名生成」は、「用紙情報名」、「ユーザー定義名」、「ホストジョブ名」のいずれかになります。 最大 16 桁で空白は詰められます。
ZZZ	分割ファイルインデックスで、本装置の起動時と新規ホストジョブ受信時は、001 になります。送信ファイルの分割ごとに +1 します。 範囲は 001～999 で、999 を超えた場合は 001 に戻ります。
YYMMDD	送信ファイル内の 1 ページ目の書き込みを開始した日付です。 表示形式は、YY= 年、MM= 月、DD= 日です。 例：2023 年 1 月 7 日の場合 230107 送信ファイル作成のタイミングが日をまたぐ場合は、同一ジョブ内の送信ファイルについても別の日付となります。
-T	データ形式の情報です。 JEF/AP オプションが未搭載の場合： <ul style="list-style-type: none"> 表示なし JEF/AP オプションが搭載の場合： <ul style="list-style-type: none"> ライタのコマンドがラインプリンタモード（JEF）：「-L」 ライタのコマンドがページプリンタモード（JEF/AP）：「-P」

5.1.10 チャネル設定

富士通メインフレームとの接続状態の表示と切り換えを行います。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「チャネル設定」を選択します。
コンテンツパネルにチャネル設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。
2 チャネルスイッチ（PS-R100A51）オプションが未搭載の場合は、チャネル接続先でチャネル A のみ ON Line、OFF Line の設定ができます。

注意

チャンネル接続先の変更は、ホスト側の OS 上で装置が OFF Line になっていることを確認してから行ってください。

2 チャンネルスイッチ（PS-R100A51）オプション搭載時の設定は、[「■ 2 チャンネルスイッチ（PS-R100A51）オプション搭載時」\(P.98\)](#)を参照してください。

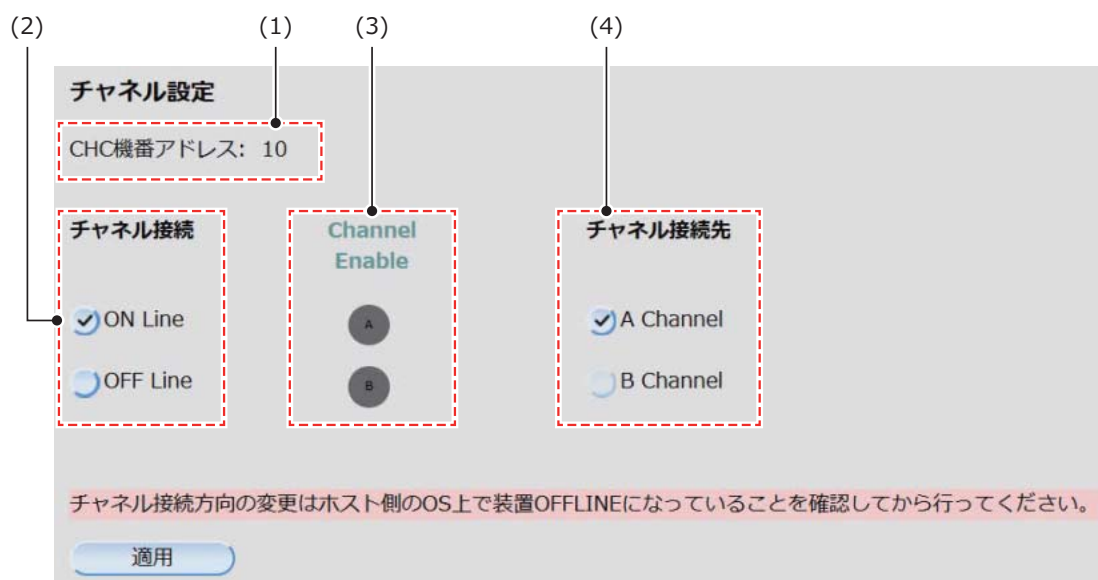


図 5.24 チャンネル設定

表 5.20 チャンネル設定の項目

番号	項目	説明
(1)	CHC 機番アドレス	本装置に設定されている機番を表示します。機番の設定は保守技術員（担当 CE）が行います。
(2)	チャンネル接続	本装置をオンライン状態／オフライン状態へ遷移させます。「チャンネル接続先」で選択されているチャンネルに対して設定します。設定は「適用」ボタンを押すと反映されます。
(3)	Channel Enable	現在のチャンネル接続状態を示します。本装置のチャンネル接続が ON Line の場合に、チャンネル接続先で接続されているチャンネルのランプが緑色に点灯します。なお、オンライン状態となるチャンネルは A / B いずれか一方となります。
(4)	チャンネル接続先 (*1)	本装置に接続されているチャンネル A / B を切り替えることができます。設定は「適用」ボタンを押すと反映されます。なお、切り替える場合は、いったん「チャンネル接続」でオフライン状態に遷移させたあとに実施してください。

*1: 「B Channel」は 2 チャンネルスイッチ（PS-R100A51）オプション搭載時に選択できます。

3 「適用」ボタンを押します。



■ 2 チャンネルスイッチ（PS-R100A51）オプション搭載時

2 チャンネルスイッチ（PS-R100A51）オプション搭載時にチャンネルを切り換える場合は、「チャンネル設定」で以下の手順を行います。

手順 ▶▶▶

- 1 チャンネル接続で「OFF Line」を選択し、「適用」ボタンを押します。
チャンネル接続先で接続されているチャンネルのランプ（Channel Enable）が無点灯になります。
- 2 切り替えるチャンネル接続先を選択します。
- 3 チャンネル接続で「ON Line」を選択し、「適用」ボタンを押します。
チャンネル接続方法で接続されているチャンネルのランプ（Channel Enable）が緑色に点灯します。



5.1.11 用紙長設定

デフォルト用紙長を指定します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「用紙長設定」を選択します。
コンテンツパネルに用紙長設定の項目が表示されます。
- 2 デフォルト用紙長を設定します。

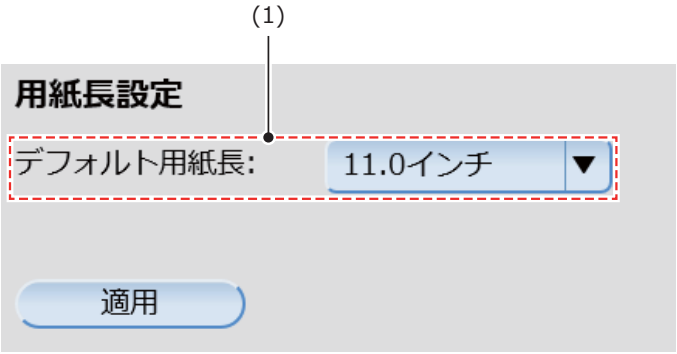


図 5.25 用紙長設定

表 5.21 デフォルト用紙長の設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	デフォルト用紙長	11.0 インチ	デフォルト用紙長を指定することができます。 指定可能な範囲は 3.5 インチ～ 14.0 インチで、0.5 インチ間 隔で指定できます。

- 3 「適用」ボタンを押します。



5.1.12 データ操作

本装置上のデータ操作ができます。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「データ操作」を選択します。
コンテンツパネルにデータ操作の項目が表示されます。
- 2 操作するボタンを選択します。

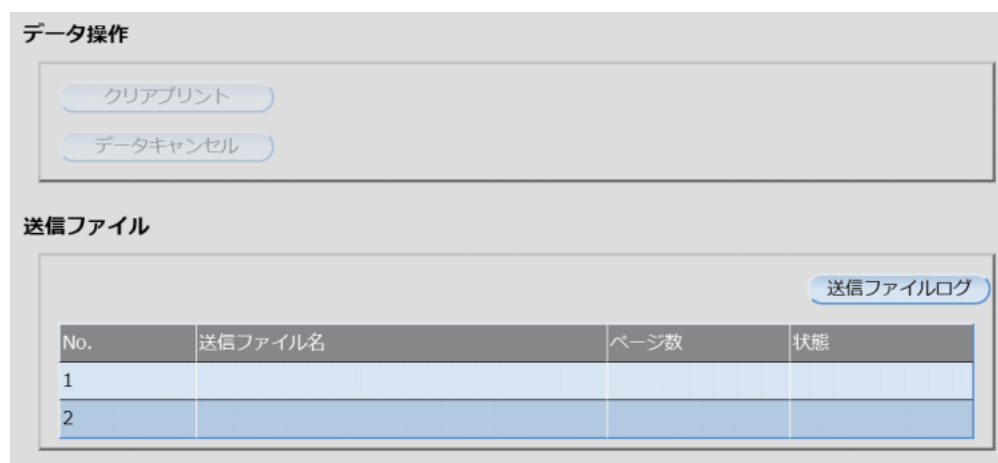


図 5.26 データ操作

- ・クリアプリント
クリアプリントを行います。詳細は、[「■ クリアプリントを行う」\(P.99\)](#)を参照してください。
- ・データキャンセル
データキャンセルを行います。詳細は、[「■ データキャンセルを行う」\(P.101\)](#)を参照してください。
- ・送信ファイル
送信ファイル一覧を表示します。一覧に表示されている送信ファイルが「クリアプリント」ボタンおよび「データキャンセル」ボタン操作の対象となります。詳細は、[「■ 送信ファイル一覧」\(P.103\)](#)を参照してください。



■ クリアプリントを行う

クリアプリントを実施すると、本装置内にある印刷データから送信ファイルを作成しプリンターへ送信します。本装置では、プリンターの印刷完了を確認することができないため、プリンター装置側での印刷完了確認が必要となります。

手順 ▶▶▶

- 1 メインパネルの「ストップ」ボタンで本装置を NOT READY 状態にします。
- 2 メニューパネルから「データ操作」を選択します。
コンテンツパネルにデータ操作の項目が表示されます。
- 3 データ操作画面で「クリアプリント」ボタンを押します。

注意

通常、「クリアプリント」ボタンはグレーアウトしており、操作することはできません。一度ボタン部分を押し、グレーアウトが解除され、操作可能となります。

なお、操作可能後、5秒以内にボタンを操作しない場合、再びグレーアウトになります。



図 5.27 「クリアプリント」ボタン操作可能状態

操作可能になった「クリアプリント」ボタンを押すと確認画面が開きます。

4 「はい」ボタンを押します。

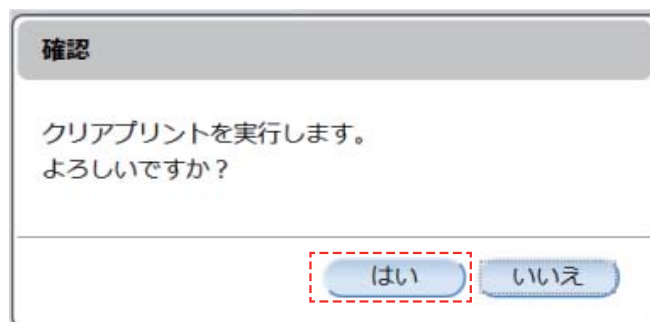


図 5.28 クリアプリント確認画面

クリアプリント実行中は以下の画面が表示されます。

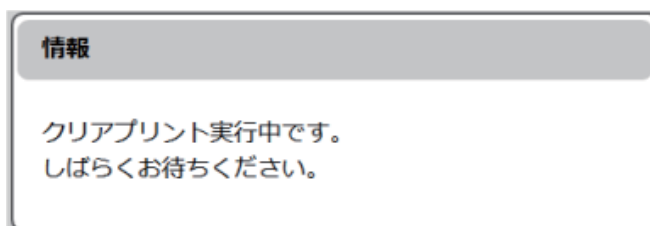


図 5.29 クリアプリント実行中画面

プリンターへ送信ファイルの送信が失敗すると「クリアプリントに失敗しました。」の画面が表示され、通信エラーとなります。



図 5.30 クリアプリント失敗画面

注意

クリアプリント時にページが完成していないデータがある場合はデータランプが点滅します。この場合、以下のいずれかの対応を行ってください。

- 完成していないページを印刷する場合は、「スタート」ボタンを押し、印刷を継続してください。
- 完成していないページを削除する場合は、「データキャンセル」ボタンを押し、削除を行ってください。

■ データキャンセルを行う

データキャンセルを実施すると、以下の状態の送信ファイルを削除します。

- 作成中
- 待機中
- 通信エラー
- プリンタースプールフル

「送信済」および「送信中」状態の送信ファイルは本装置から削除することはできません。プリンター装置側を操作しキャンセルを行ってください。

また、富士通メインフレームから本装置へ送信中のジョブまたは SYSOUT ファイルを取り消すかどうかは、各ライタの仕様に従ってください。

手順 ▶▶▶

- 1 プリンター装置の操作パネルで「ストップ」ボタンを押して印刷を停止させます。
- 2 メインパネルの「ストップ」ボタンで本装置を NOT READY 状態にします。

備考

「送信済」状態の送信ファイルが印刷されないように、先にプリンター装置を「ストップ」ボタンを押して停止してください。

- 3 メニューパネルから「データ操作」を選択します。
コンテンツパネルにデータ操作の項目が表示されます。

4 データ操作画面で「データキャンセル」ボタンを押します。

注意

通常、「データキャンセル」ボタンはグレイアウトしており、操作することはできません。一度ボタン部分を押し、グレイアウトが解除され、操作可能となります。なお、5秒以内にボタンを操作しない場合、再びグレイアウトになります。

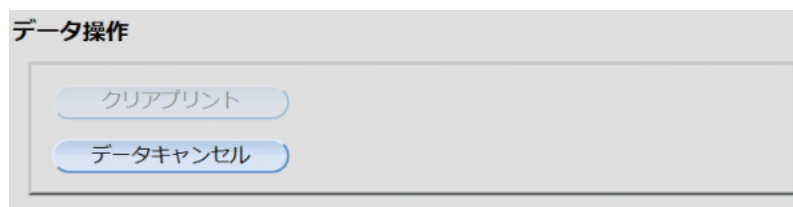


図 5.31 「データキャンセル」ボタン操作可能状態

有効になった「データキャンセル」ボタンを押すと確認画面が開きます。

5 「はい」ボタンを押します。

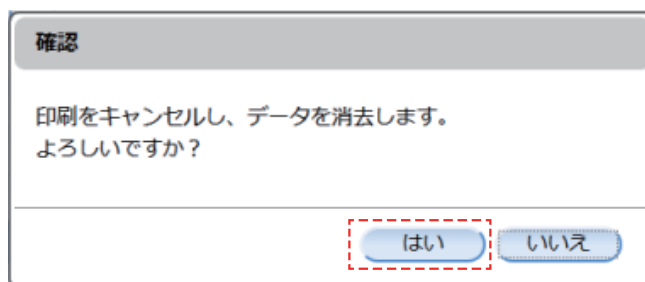


図 5.32 データキャンセル確認画面

データキャンセル実行中は以下の画面が表示されます。

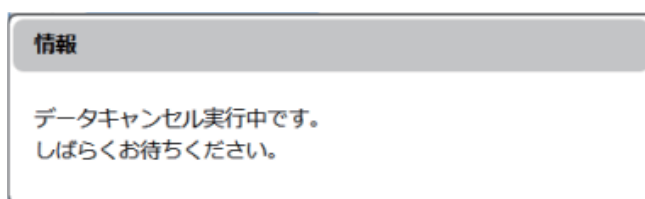


図 5.33 データキャンセル実行中画面



■ 送信ファイル一覧

「ストップ」ボタンを操作した時点での、本装置内で処理中、またはプリンター装置へ送信完了した送信ファイルを表示します。一覧に表示されている送信ファイルが「クリアプリント」ボタンおよび「データキャンセル」ボタン操作の対象となります。

表 5.22 送信ファイル一覧画面

項目	説明														
No	本装置内で処理中、またはプリンター装置へ送信が完了した送信ファイル番号を表示します。本装置内で保持される最大送信ファイル数は 2 ファイルとなります。														
送信ファイル名	本装置内で処理中、または送信を完了した送信ファイル名を表示します。送信ファイル名は、 [5.1.9 送信ファイル設定] (P.93) で設定した名称となります。														
ページ数	送信ファイルのページ数を表示します。														
状態	送信ファイルの状態を表示します。 <table border="1"> <tr> <th>状態</th><th>説明</th></tr> <tr> <td>作成中</td><td>送信ファイルの作成中です。 ホストから印刷データ受信後、送信ファイル作成完了前までの状態です。</td></tr> <tr> <td>待機中</td><td>送信ファイル作成完了後、プリンター装置へ送信を待っている状態です。プリンター装置へ送信する送信ファイルは 1 ファイルずつのため、すでに「送信中」の送信ファイルがある場合、先行している送信が完了するまで「待機中」で待たされます。</td></tr> <tr> <td>送信中</td><td>プリンター装置へ送信中の状態です。</td></tr> <tr> <td>送信済</td><td>プリンター装置へ送信を完了した状態です。</td></tr> <tr> <td>通信エラー</td><td>プリンター装置へ送信中にエラーを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 通信エラーとなる要因については、本装置、本装置 - プリンター装置間のネットワーク、プリンター装置側の問題があります。[第6章 トラブルシューティング] (P.132) を参照し、要因を取り除いてください。 通信エラーとなる要因が運用継続なものであった場合、要因を取り除いたあと、本装置 Web-UI から「リセット」ボタン操作を実施することでエラーが解除され、本装置は「NOT READY」状態となります。「スタート」ボタン操作で本装置は「READY」となり、送信ファイルがプリンター装置へ再送され、「通信エラー」から「送信中」に変化します（*1）。</td></tr> <tr> <td>プリンタースプールフル</td><td>プリンター装置へ送信中、プリンター装置側のスプールフルを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 プリンター装置側の操作でスプールフルを解除してください。</td></tr> </table>	状態	説明	作成中	送信ファイルの作成中です。 ホストから印刷データ受信後、送信ファイル作成完了前までの状態です。	待機中	送信ファイル作成完了後、プリンター装置へ送信を待っている状態です。プリンター装置へ送信する送信ファイルは 1 ファイルずつのため、すでに「送信中」の送信ファイルがある場合、先行している送信が完了するまで「待機中」で待たされます。	送信中	プリンター装置へ送信中の状態です。	送信済	プリンター装置へ送信を完了した状態です。	通信エラー	プリンター装置へ送信中にエラーを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 通信エラーとなる要因については、本装置、本装置 - プリンター装置間のネットワーク、プリンター装置側の問題があります。 [第6章 トラブルシューティング] (P.132) を参照し、要因を取り除いてください。 通信エラーとなる要因が運用継続なものであった場合、要因を取り除いたあと、本装置 Web-UI から「リセット」ボタン操作を実施することでエラーが解除され、本装置は「NOT READY」状態となります。「スタート」ボタン操作で本装置は「READY」となり、送信ファイルがプリンター装置へ再送され、「通信エラー」から「送信中」に変化します（*1）。	プリンタースプールフル	プリンター装置へ送信中、プリンター装置側のスプールフルを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 プリンター装置側の操作でスプールフルを解除してください。
状態	説明														
作成中	送信ファイルの作成中です。 ホストから印刷データ受信後、送信ファイル作成完了前までの状態です。														
待機中	送信ファイル作成完了後、プリンター装置へ送信を待っている状態です。プリンター装置へ送信する送信ファイルは 1 ファイルずつのため、すでに「送信中」の送信ファイルがある場合、先行している送信が完了するまで「待機中」で待たされます。														
送信中	プリンター装置へ送信中の状態です。														
送信済	プリンター装置へ送信を完了した状態です。														
通信エラー	プリンター装置へ送信中にエラーを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 通信エラーとなる要因については、本装置、本装置 - プリンター装置間のネットワーク、プリンター装置側の問題があります。 [第6章 トラブルシューティング] (P.132) を参照し、要因を取り除いてください。 通信エラーとなる要因が運用継続なものであった場合、要因を取り除いたあと、本装置 Web-UI から「リセット」ボタン操作を実施することでエラーが解除され、本装置は「NOT READY」状態となります。「スタート」ボタン操作で本装置は「READY」となり、送信ファイルがプリンター装置へ再送され、「通信エラー」から「送信中」に変化します（*1）。														
プリンタースプールフル	プリンター装置へ送信中、プリンター装置側のスプールフルを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 プリンター装置側の操作でスプールフルを解除してください。														

*1: プリンター装置へは送信ファイルの再送となるため、エラーが発生したページから印刷再開とはならず、送信ファイルの先頭ページからの再印刷となります。プリンター装置側にエラーが発生した送信ファイルがある場合、重複印刷を避けるため、必要に応じて削除を行ってください。エラーが発生した際には必ず前後のファイルの印刷結果を確認し、重複印刷がある場合は取り除いてください。

「クリアプリント」ボタンを操作した場合、プリンター装置へ「作成中」、「待機中」、「通信エラー」、「プリンタースプールフル」の送信ファイルを順次送信します。

「通信エラー」、「プリンタースプールフル」の状態の送信ファイルについても「クリアプリント」ボタン操作でプリンター装置へ再送を行いますが、エラーとなる要因が取り除かれていない場合は、再度エラーとなります。「データキャンセル」ボタンを操作した場合、「作成中」、「待機中」、「通信エラー」、「プリンタースプールフル」の送信ファイルを削除します。送信済と送信中のファイルは一覧表から削除されません。

■ 送信ファイルログ

送信ファイル一覧の情報は、プリンター装置へ送信したものから順次削除されますが、「送信ファイルログ」ボタンから、本装置内で処理した送信ファイルの履歴を確認することができます。

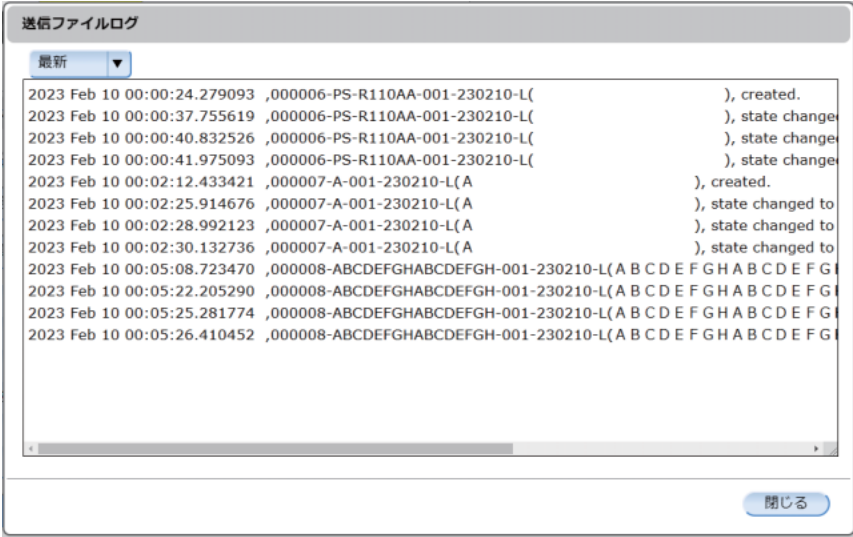


図 5.34 送信ファイルログ画面

表 5.23 送信ファイルログ画面

項目	説明
記録日時	情報を送信ファイルログに登録した日時を表示します。 例) 2023 Jan 15 03:07:58.397014
送信ファイル名	対象の送信ファイル名を表示します。
処理内容	送信ファイルに対する処理内容を表示します。 created. : 送信ファイル作成開始 state changed to waiting. : 送信ファイル作成完了、送信ファイルの状態を「待機中」に変更 state changed to transferring,YYYY/MM/DD hh:mm:ss,Np. : 送信ファイルをプリンター装置へ送信開始、送信開始時刻、ページ数 state changed to transfer completed,YYYY/MM/DD hh:mm:ss,Np. : 送信ファイル送信完了、送信完了時刻、ページ数 state changed to communication error. : 送信ファイルの状態を「通信エラー」に変更 state changed to spoolfull error. : 送信ファイルの状態を「プリンタースプールフル」に変更
Web-UI 操作 クリアプリント / データキャンセル	操作内容を表示します。データキャンセルの場合、削除された送信ファイルの情報を表示します。 User clear printed data. : クリアプリント操作 clear print done. : クリアプリント完了 User canceled data. : データキャンセル操作 Cancel data done. : データキャンセル完了 User deleted job(xxxxxxxxxxxxxx). : データキャンセルで削除された送信ファイル名とページ数

5.1.13 ユーザー管理者モード

一般ユーザーモードからユーザー管理者モードに遷移する場合に操作します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「ユーザー管理者モード」を選択します。
ユーザー管理者モードのパスワード入力画面が開きます。

備考

ユーザー管理者モードへの遷移を行わない場合は、メニューパネルでほかのメニューを選択し、一般ユーザーモードに戻ってください。

- 2 パスワードを入力します。
入力した文字は「●」（黒丸）で表示されます。

注意

「ユーザー管理者モード」のパスワードの初期値は“PRINTERADMIN”（すべて大文字）です。

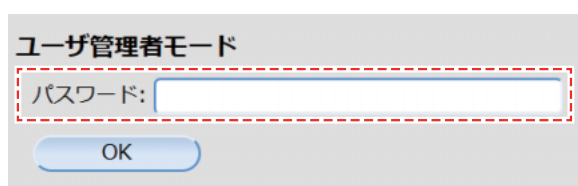


図 5.35 ユーザー管理者モードのパスワード入力画面

- 3 「OK」ボタンを押します。
正しいパスワードを入力した場合、ユーザー管理者モードに遷移します。
誤ったパスワードを入力した場合、パスワード入力エラー画面を表示し（[図 5.36](#)）、「閉じる」ボタンを押すとパスワード入力画面に戻ります。

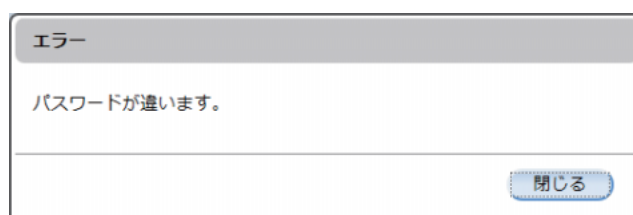


図 5.36 パスワード入力エラー画面

備考

ユーザー管理者モードのパスワードは一般ユーザーには公開せず、パスワードは定期的に変更してください。
パスワードの変更については、[「5.2.8 パスワード変更」\(P.129\)](#)を参照してください。

5.2 ユーザー管理者モードメニュー

運用管理端末に関する設定や、Web-UI にログインするためのパスワード設定など、様々な設定を行うことができます。

各設定項目について以下に示します。

表 5.24 ユーザー管理者モードメニュー一覧

メニュー	項目		備考
ネットワーク設定	LAN1	有効プロトコル（表示のみ）	[5.2.1 ネットワーク設定] (P.107) 参照
		MAC アドレス（表示のみ）	
		IP アドレス	
		ネットマスク	
	LAN2	有効プロトコル（表示のみ）	
		MAC アドレス（表示のみ）	
		IP アドレス	
		ネットマスク	
	ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	
		スタティックルート	
送信先設定	プリンター	送信先（表示のみ）	[5.2.2 送信先設定] (P.110) 参照
		送信先名	
		有効プロトコル（表示のみ）	
		IP アドレス	
		論理プリンター（表示のみ）	
		オートスタート	
		コピーセパレーションマーク	
アクセス制御設定	IP アドレスによるアクセス制御		[5.2.3 アクセス制御設定] (P.114) 参照
	アクセス許可リスト（5 設定分）		
日時設定	日時設定		[5.2.4 日時設定] (P.115) 参照
	NTP 接続		
	NTP サーバー		
表示設定	日時表示		[5.2.5 表示設定] (P.118) 参照
	接続先情報表示		
	ジョブ名表示		
ログ操作	サポートログを収集する		[5.2.6 ログ操作] (P.123) 参照
UPS 設定	UPS	UPS 接続	[5.2.7 UPS 設定] (P.126) 参照
		IP アドレス	
		ユーザー名	
		パスワード	
	自動停止	自動停止	
		自動停止開始時間	
パスワード変更	一般ユーザーパスワード変更		[5.2.8 パスワード変更] (P.129) 参照
	ユーザー管理者パスワード変更		
一般ユーザーモード	一般ユーザーモードへ遷移		[5.2.9 一般ユーザーモード] (P.131) 参照

5.2.1 ネットワーク設定

各種ネットワーク設定を行います。

注意

ネットワーク設定後は本装置の再起動が必要です。メッセージエリアに「再起動が必要です。」のメッセージ（[図 4.6](#)）が表示されますので、再起動を行ってください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「ネットワーク設定」を選択します。
コンテンツパネルにネットワーク設定の項目が表示されます。
- 2 「LAN1」タブ、「LAN2」タブ、および「ゲートウェイ」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。

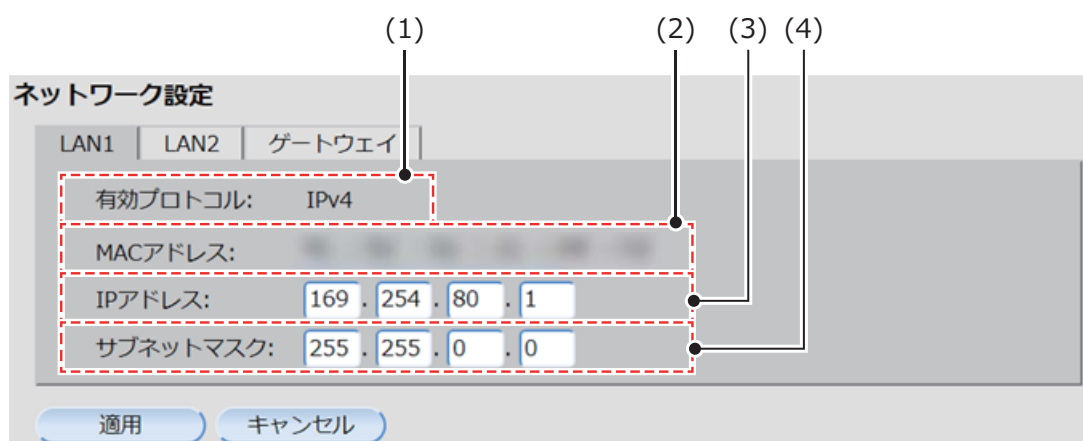


図 5.37 ネットワーク設定（LAN1）

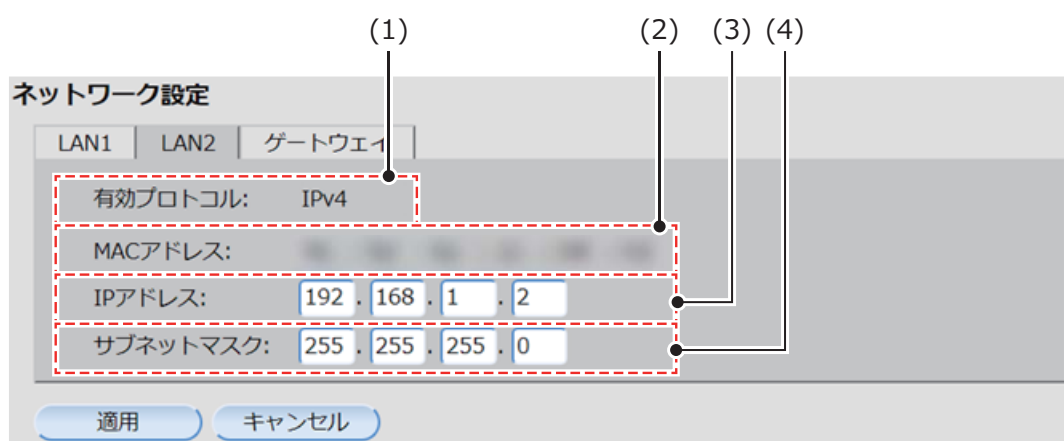


図 5.38 ネットワーク設定（LAN2）

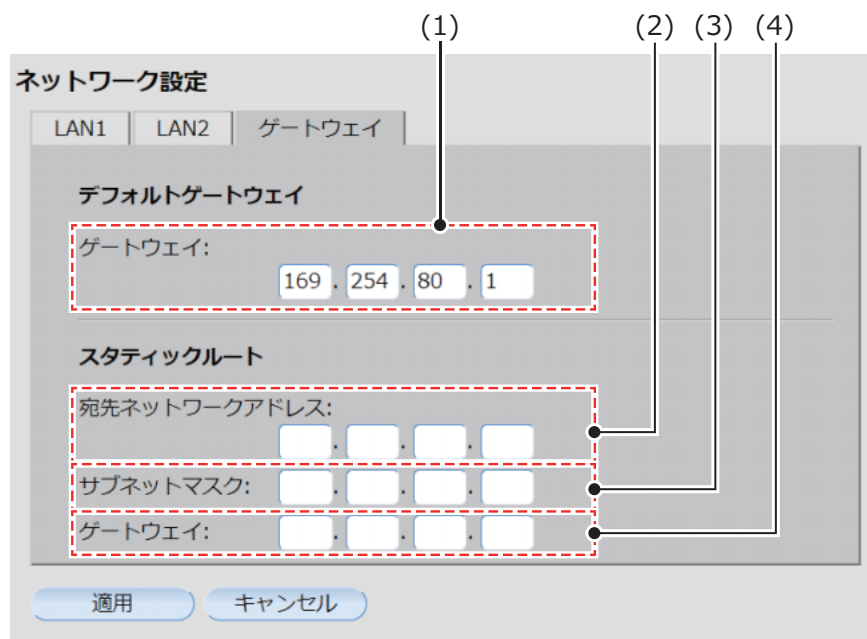


図 5.39 ネットワーク設定（ゲートウェイ）

表 5.25 ネットワーク設定の項目

グループ	番号	項目		初期値	説明
LAN1	(1)	有効プロトコル		IPv4（固定値）	LAN1 の IP アドレスのインターネットプロトコルです。
	(2)	MAC アドレス		—	LAN1 の接続ポートの MAC アドレスを表示します。
	(3)	IP アドレス		169.254.80.1	LAN1 の IP アドレスを指定します。
	(4)	サブネットマスク		255.255.0.0	LAN1 の IP アドレスのサブネットマスクを指定します。
LAN2	(1)	有効プロトコル		IPv4（固定値）	LAN2 の IP アドレスのインターネットプロトコルです。
	(2)	MAC アドレス		—	LAN2 の接続ポートの MAC アドレスを表示します。
	(3)	IP アドレス		192.168.1.2	LAN2 の IP アドレスを指定します。
	(4)	サブネットマスク		255.255.255.0	LAN2 の IP アドレスのサブネットマスクを指定します。
ゲートウェイ	(1)	デフォルトゲートウェイ (*1)		169.254.80.1	デフォルトゲートウェイを設定します。
	(2)	スタティックルート (*2)	宛先ネットワークアドレス	なし	LAN1 と LAN2 で 2 系統のネットワーク使用時に設定します。 2 系統目のネットワークアドレスを指定します。
	(3)		サブネットマスク	なし	
	(4)		ゲートウェイ (*1)	なし	

- *1: デフォルトゲートウェイとゲートウェイの値が同一の場合、またはデフォルトゲートウェイとゲートウェイが LAN1 または LAN2 に属していない場合、入力エラーとなります。
- *2: スタティックルートを使用する場合に入力します。1 か所でも未設定（空白）がある場合は入力エラーとなります。また設定を削除する場合は、全項目を削除してください。

3 「適用」 ボタンを押します。

ネットワーク設定の適用画面が開きます。

「キャンセル」 ボタンを押すと各値を変更前の値に戻します。

4 「はい」 ボタンを押します。

本装置の再起動後、設定が反映されます。「いいえ」 ボタンを押した場合は、設定は反映されません。

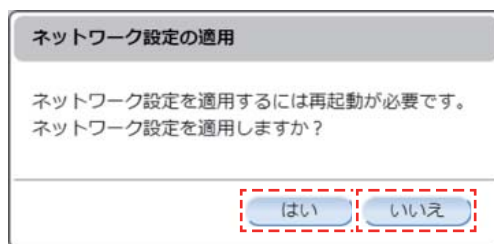


図 5.40 ネットワーク設定の適用画面



5.2.2 送信先設定

本装置の Web-UI より接続するプリンター装置の設定を行います。送信先設定の変更や接続確認を行う場合は、プリンター装置を切断した状態で行ってください。

注意

送信先設定後は本装置の再起動が必要です。メッセージエリアに「再起動が必要です。」のメッセージ（[図 4.6](#)）が表示されますので、再起動を行ってください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「送信先設定」を選択します。
コンテンツパネルに送信先設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

図 5.41 送信先設定（プリンター）

表 5.26 送信先設定の項目

番号	項目	初期値	設定可能範囲	説明
(1)	送信先	対応プリンター名	—	本装置と接続可能なプリンター機種名を表示します。プリンター名は以下のとおりです。 • Revoria Press CF
(2)	送信先名	Revoria Press CF	文字数上限：16 文字 文字種別：半角英数字（記号を除く、先頭末尾の空白は不可）	プリンターを区別するためのものであるため、プリンター装置名の決定は利用者の判断で行ってください。

番号	項目	初期値	設定可能範囲	説明
(3)	有効プロトコル	IPv4	—	接続するプリンターの IP アドレスのインターネットプロトコルを表示します。
(4)	IP アドレス	192.168.1.1	IPv4 の IP アドレス	本装置と接続するプリンターの IP アドレスを設定します。
(5)	論理プリンター	PS-R11-Printer	—	論理プリンター名を表示します。
(6)	オートスタート	無効	<ul style="list-style-type: none"> 無効 有効 	本装置の起動完了後の装置状態を設定します。(*1)
(7)	コピーセパレーションマーク	有効	<ul style="list-style-type: none"> 無効 有効 	コピーセパレーションマーク印刷の有効または無効を設定します。

*1: 起動完了後の装置状態を READY で起動する場合は、「有効」を設定します。
 オートスタートが「有効」でプリンターと接続完了、かつチャンネルが ON Line のとき、READY で起動します。
 それ以外は、NOT READY で起動します。

3 「適用」ボタンを押します。

再起動を確認する「送信先設定の適用」画面が表示されます。

4 「はい」ボタンを押します。

本装置の再起動後、設定が反映されます。

「いいえ」ボタンを押した場合は、設定は反映されません。

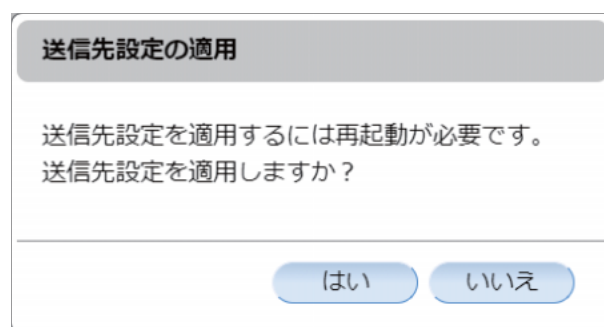


図 5.42 送信先設定の適用画面

備考

- ・「接続確認」ボタンをデータランプ点灯中に押すと、「データがあるため、実行できません。」が表示されます。
- ・「接続確認」ボタンを押すと、指定したプリンター装置を接続しているかを確認します。接続確認は、確認するプリンター装置の IP アドレスが本装置に適用されている状態で実施してください。IP アドレスを変更する場合は、本装置の再起動が必要です。



図 5.43 接続確認の確認画面



図 5.44 接続確認中を示す画面



図 5.45 接続成功時の確認結果画面

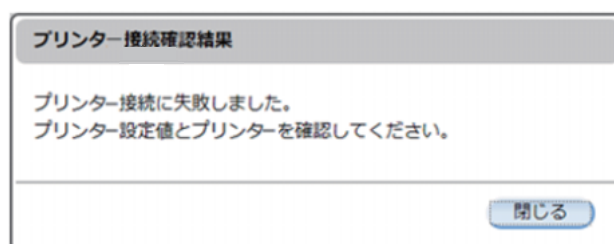


図 5.46 接続失敗時の確認結果画面

- ・オートスタート設定を「有効」にした場合、本装置起動時にプリンター装置を接続します。接続処理中に Web-UI でログインすると、プリンター接続中の画面が表示されます。

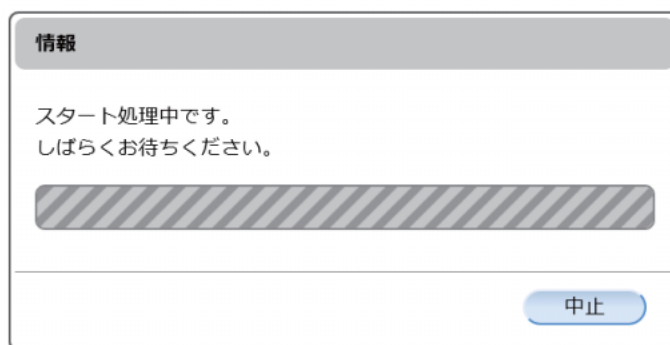


図 5.47 プリンター接続中の画面

- ・オートスタート時にプリンター装置との接続が確立できなかった場合、プリンター装置の準備ができてから、本装置の「スタート」ボタンを押してください。
- ・プリンター装置との接続中に「中止」ボタンを押すとオートスタートの処理を中止します。オートスタートの中止完了後、画面は閉じられ、本装置は「NOT READY」状態となります。



5.2.3 アクセス制御設定

運用管理端末として本装置の Web-UI にアクセスできる IP アドレスを設定します。

注意

誤った IP アドレスを指定したり、登録した IP アドレスを忘れてしまった場合は、本装置の Web-UI にアクセスできなくなります。アクセスできなくなった場合は保守技術員（担当 CE）に連絡してください。アクセス制御設定後は本装置の再起動が必要です。メッセージエリアに「再起動が必要です。」のメッセージ（[図 4.6](#)）が表示されますので、再起動を行ってください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「アクセス制御設定」を選択します。
コンテンツパネルにアクセス制御設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

図 5.48 アクセス制御設定

表 5.27 アクセス制御設定の項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	IP アドレスによるアクセス制御	無効 (全てのアドレスから可能)	アクセス制御しない場合は「無効（全てのアドレスから可能）」を選択します。 アクセス制御する場合は「有効（アクセス許可リストの設定有効）」を選択します。選択後、「アクセス許可リスト」が有効になります。
(2)	アクセス許可リスト (*1)	—	アクセス許可する IP アドレスは 5 種類設定できます。マスク長に適切なビットマスクを設定すると、同じサブネット内の複数の IP アドレスを設定できます。

*1: 送信先のプリンターと UPS の IP アドレスは、アクセス許可の対象になるため、本設定で登録する必要はありません。

- 3 「適用」ボタンを押します。
再起動を確認する「アクセス制御設定の適用」画面が表示されます。
- 4 「はい」ボタンを押します。
本装置の再起動後、設定が反映されます。「いいえ」ボタンを押した場合は、設定は反映されません。

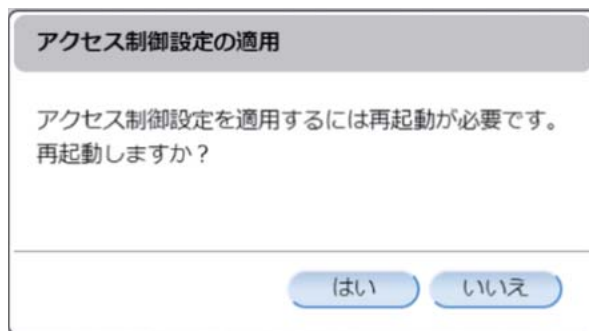


図 5.49 アクセス制御設定の適用画面



5.2.4 日時設定

本装置の日時に関する設定を行います。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「日時設定」を選択します。
コンテンツパネルに日時設定の項目が表示されます。

2 各項目を設定します。

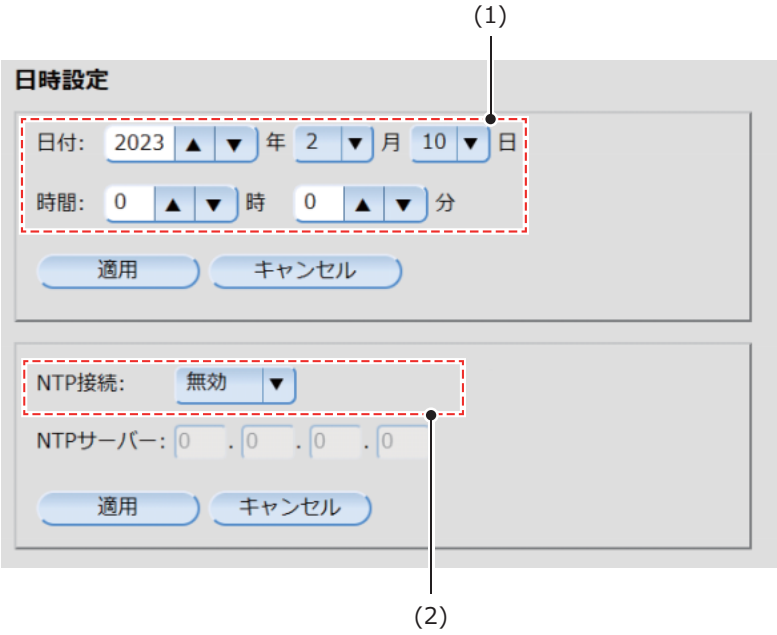


図 5.50 日時設定

表 5.28 日時設定の項目

番号	項目	説明
(1)	日付 時間	システム日付を設定します。 NTP 接続を有効にした場合は、グレースアウトします（設定不要）。
(2)	NTP 接続	NTP による時刻同期を設定します。 <ul style="list-style-type: none">無効 NTP サーバーと時刻同期しません。「日付」、「時刻」に正しい日時を設定してください。有効 NTP サーバーと時刻同期します。NTP サーバーの IP アドレスを正しく入力してください。

3 「適用」ボタンを押します。

NTP サーバーと同期をする場合、同期中画面が表示されます。



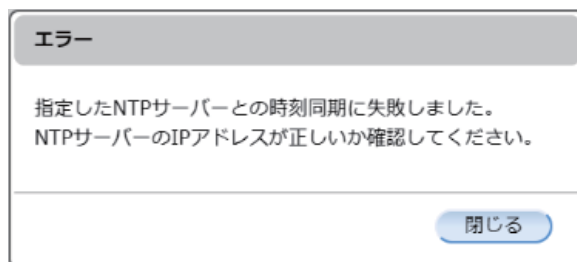
図 5.51 NTP サーバーとの時刻同期中画面

結果は、ポップアップメッセージで表示されます。

- 成功した場合



- 失敗した場合



5.2.5 表示設定

本装置の Web-UI の表示設定を行います。本設定では、Web-UI 上への日時表示の選択（表示する日時は [「5.2.4 日時設定」\(P.115\)](#) 参照）、および接続先情報表示内容の更新を行います。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「表示設定」を選択します。
コンテンツパネルに表示設定の項目が表示されます。
- 2 「日時表示」タブおよび「接続先情報表示」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。



図 5.52 表示設定（日時表示）

表示設定

日時表示 | 接続先情報表示 | ジョブ名表示

No.	接続先情報	表示名
01		
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

設定 削除

図 5.53 表示設定（接続先情報表示）

表示設定

日時表示 | 接続先情報表示 | ジョブ名表示

ジョブ名表示: 有効 ▼

ジョブ名消去ボタン: 無効 ▼

適用

ジョブ名表示を有効にすると送信ファイル名の生成にジョブ名を使用することができます。
ジョブ名を使用するかどうかは送信ファイル設定に従います。

図 5.54 表示設定（ジョブ名表示）

- 日時表示
メインパネルの日時を表示するかどうかを設定します。詳細は、[「■ 日時表示の設定を行う」\(P.120\)](#)を参照してください。
- 接続先情報表示
メインパネルに表示する接続先情報の表示名を設定します。詳細は、[「■ 接続先情報の設定を行う」\(P.121\)](#) および [「■ 接続先情報の設定を削除する」\(P.122\)](#) 参照してください。



■ 日時表示の設定を行う

手順 ▶▶▶ _____

- 1 「日時表示」タブで日時表示を「有効」に選択します。
初期値は「無効」です。
- 2 「適用」ボタンを押します。

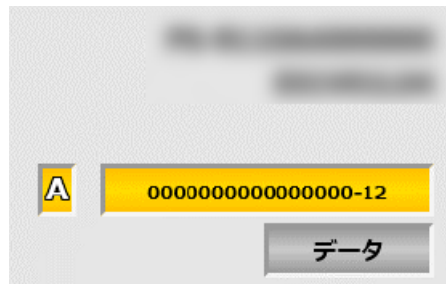


図 5.55 日時表示を「無効」に設定した場合

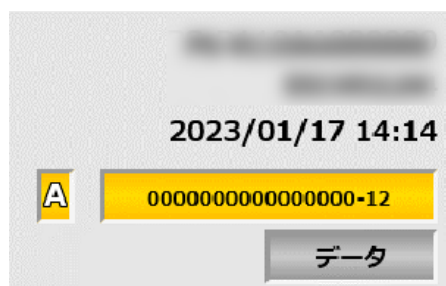


図 5.56 日時表示を「有効」に設定した場合



■ 接続先情報の設定を行う

表示名が設定された接続先と接続している場合は、メインパネルに設定した表示名が表示されます。表示名が設定されていない場合は、接続先情報を表示します。

手順 ▶▶▶

- 1 「接続先情報表示」タブで接続先情報が設定されていない行を選択します。
- 2 「設定」ボタンを押します。
設定画面が表示されます。
- 3 各項目を入力します。

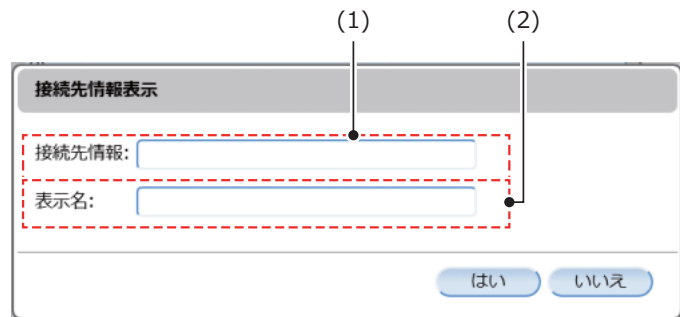


図 5.57 接続先情報表示の画面

表 5.29 接続先情報表示の項目

番号	項目	説明
(1)	接続先情報	表示名を設定する接続先情報を 16 文字で指定します（任意）。 利用可能文字は 16 進の数字です。
(2)	表示名	接続先情報の表示名を 1～16 文字で指定します（任意）。 利用可能な文字は英数字です。

- 4 「はい」ボタンを押します。
入力した内容が表示設定メニューの接続先情報表示一覧に反映されます。



■ 接続先情報の設定を削除する

設定した接続先情報を削除します。

手順 ▶▶▶

- 1 「接続先情報表示」タブで削除したい接続先情報の行を選択します。
- 2 「削除」ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。

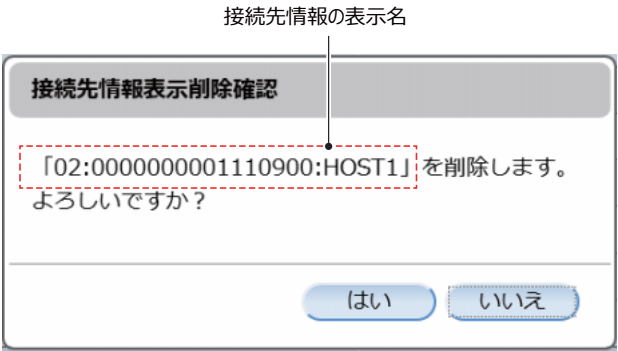


図 5.58 接続先情報表示削除確認の画面

- 3 「はい」ボタンを押します。

■ ジョブ名表示の設定を行う

印刷中のジョブ名を Web-UI のメインパネルに表示するかを設定します。

手順 ▶▶▶

- 1 「ジョブ名表示」タブで設定を行います。
- 2 各項目を入力します。

表 5.30 ジョブ名表示の設定項目

項目	初期値	説明
ジョブ名表示	有効	印刷中のジョブ名を Web-UI のメインパネルに表示するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 無効 ジョブ名を表示しません。• 有効 ジョブ名を表示します。
ジョブ名消去ボタン	無効	Web-UI のメインパネルに「ジョブ名消去」ボタンを表示するかを設定します。「ジョブ名表示」が「無効」の場合は設定できません。 <ul style="list-style-type: none">• 無効 ジョブ名消去ボタンを表示しません。• 有効 ジョブ名消去ボタンを表示します。

3 「適用」ボタンを押します。

「ジョブ名消去」ボタン設定が「有効」の場合はメインパネルに「ジョブ名消去」ボタンが表示されます。



5.2.6 ログ操作

ログの収集は、保守技術員（担当 CE）から指示があった場合に実施してください。「サポートログを収集する」ボタンを押し、本装置内のサポートログを収集します。本装置からサポートログを取り出すには対象ファイルを選択し、「ダウンロード」ボタンを押します。

注意

仮想 PC や VPN 環境では、サポートログのダウンロード処理が失敗する場合があります。そのような場合には、一般の LAN に接続された物理 PC で処理を実行してください。

ログの収集後は本装置の再起動が必要です。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「ログ操作」を選択します。
コンテンツパネルに「サポートログを収集する」が表示されます。



図 5.59 サポートログ収集

- 2 「サポートログを収集する」ボタンを押します。
- 3 サポートログ収集後は再起動が必要であることを警告する画面が表示されるため、「はい」ボタンを押します。

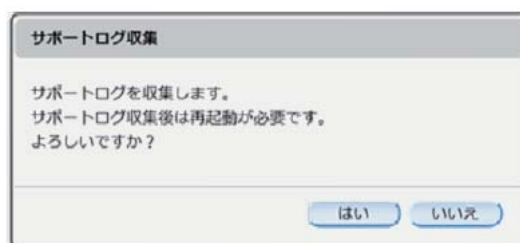


図 5.60 サポートログ収集確認画面

サポートログを収集中は「サポートログ収集中」ポップアップ画面が表示され、収集結果が表示されます。



図 5.61 サポートログ収集中ポップアップ画面

結果は、ポップアップメッセージで表示されます。

- 成功した場合
以下のポップアップメッセージが表示され、本装置の ID ランプが点灯します。

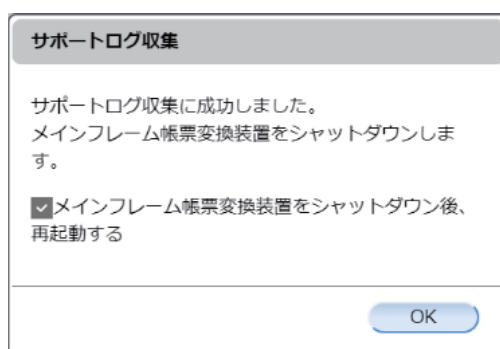


図 5.62 サポートログ収集の成功画面

- 失敗した場合
以下のポップアップメッセージが表示され、本装置の ID ランプが点滅します。本事象が発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。

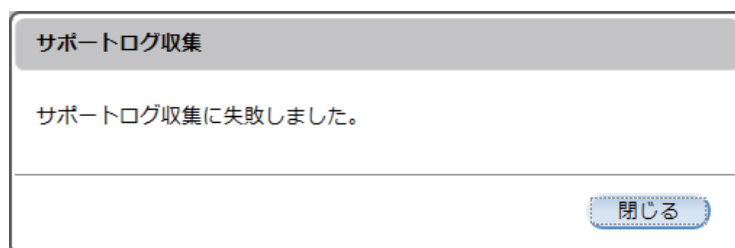


図 5.63 サポートログ収集の失敗画面

- 4 サポートログの一覧からダウンロードしたいファイルを選択し「ダウンロード」ボタンを押します。



図 5.64 ダウンロード画面

確認画面が表示されるため、「OK」ボタンを押します。

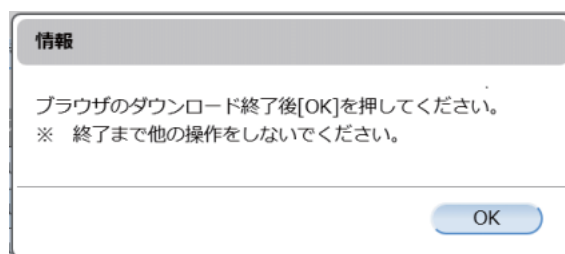


図 5.65 確認画面



5.2.7 UPS 設定

本装置を UPS に接続する場合の設定を行います。

注意

UPS 設定後は本装置の再起動が必要です。メッセージエリアに「再起動が必要です。」のメッセージ（[図 4.6](#)）が表示されますので、再起動を行ってください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「UPS 設定」を選択します。
コンテンツパネルに UPS 設定の項目が表示されます。
- 2 「UPS」タブおよび「自動停止」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。

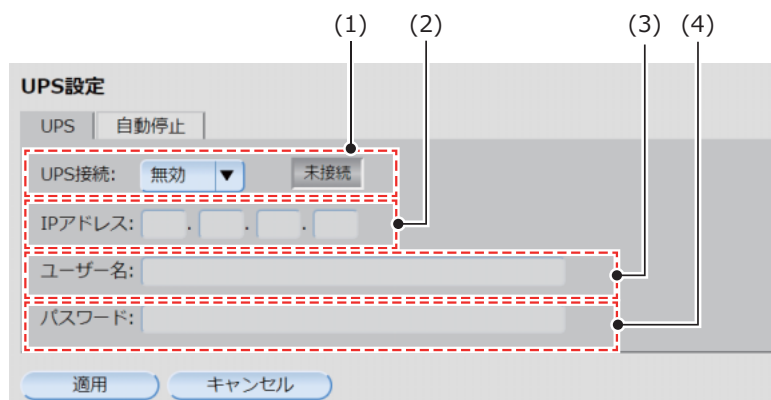


図 5.66 UPS 設定（UPS）

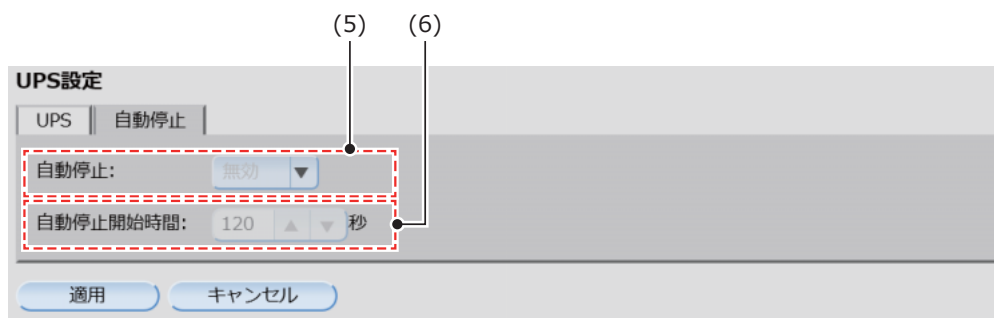


図 5.67 UPS 設定（自動停止）

備考

自動停止設定は、「UPS」タブで「有効」に設定後、設定が可能になります。

「UPS」タブの UPS 接続で「有効」を選択すると、自動停止設定が設定可能になります。「UPS」タブの UPS 接続で「無効」を選択すると、本装置の自動停止設定は無効化され、自動停止は行いません。

図 5.68 設定可能な自動停止

表 5.31 UPS の項目

タブ	番号	項目	説明
UPS	(1)	UPS 接続	<p>本装置を UPS に接続するかどうかを指定します。本装置が UPS に接続されていない場合は、「無効」を選択してください（*1）（*2）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効 本装置を UPS に接続しない場合に選択します。 有効 本装置を UPS に接続する場合に選択します。 <p>UPS 接続状態を表示します。 UPS を接続する設定が有効の場合、本装置起動から約 30 秒間隔で接続状態を監視します。UPS との接続が確認できた場合、UPS 接続状態を接続済に変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 未接続 UPS と接続していない状態 接続済 本 UPS との接続が確認できた状態
	(2)	IP アドレス	UPS の IP アドレスを指定します（*3）（*4）。
	(3)	ユーザー名	UPS と接続するためのユーザー名を入力します。ユーザー名を 1～10 文字で入力します。入力可能文字は、半角英数字、半角記号（*5）です。先頭と末尾に半角空白は使用できません。（*3）（*4）
	(4)	パスワード	UPS と接続するためのパスワードを入力します。パスワードを 15～32 文字で入力します。入力可能文字は、半角英数字、半角記号（*6）です。先頭と末尾に半角空白は使用できません。（*3）（*4）

タブ	番号	項目	説明
自動停止	(5)	自動停止	<p>停電等で電力供給が UPS に切り替わった際に、本装置を自動的に停止するかどうかを選択します。各指定は以下のとおりに行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 本装置の自動停止を行いません。UPS からの電力供給で起動を継続します（*7）。 • 有効 本装置の自動停止を行います。
	(6)	自動停止開始時間	<p>「自動停止」で「有効」を選択した場合に、設定することができます。UPS からの電力供給に切り替わってから本装置の停止を開始するまでの時間を 0-600 秒の間で指定します（*8）。</p>

*1: 本装置が UPS に接続されていない状態で「有効」を選択すると、自動停止は動作しません。

*2: 本装置との接続を推奨する UPS は「[付録 F 周辺機器（推奨）](#)」(P.151) を参照してください。

*3: UPS で「有効」を選択した場合に、入力することができます。

図 5.69 入力可能な UPS

*4: UPS の設定はご使用の UPS の取扱説明書およびネットワークマネジメントカードの取扱説明書を参照してください。

*5: ¥（円マークまたはバックスラッシュ）、"（ダブルクォーテーション）、#（シャープ）、%（パーセント）、&（アンパサンド）、<（小なり）、=（イコール）、>（大なり）、?（クエスチョン）、@（アットマーク）、+（プラス）、:（コロン）は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

*6: ¥（円マークまたはバックスラッシュ）、"（ダブルクォーテーション）、<（小なり）、>（大なり）、#（シャープ）、:（コロン）は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

*7: UPS で「有効」を選択した場合、UPS がバッテリー容量低下を示す「Low Runtime Warning」状態になった場合、自動停止の設定状態に関わらず、本装置は自動停止します。

*8: 自動停止開始時間に設定する時間は、本装置の停止完了前に UPS の電源供給が終了しないよう、以下の条件に合致するように考慮して設定してください。

UPS の電源供給可能時間 > 自動停止開始時間 + 本装置の停止時間（180 秒）

3 「適用」ボタンを押します。

4 「はい」ボタンを押します。

本装置の再起動後、設定が反映されます。「いいえ」ボタンを押した場合は、設定は反映されません。

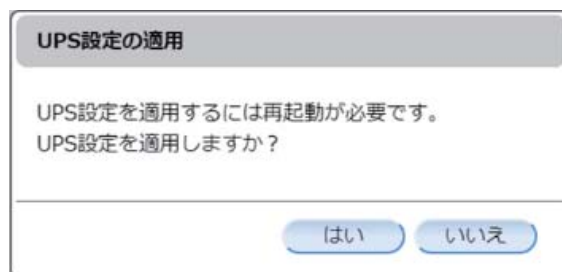


図 5.70 UPS 設定の適用画面



5.2.8 パスワード変更

一般ユーザーモードとユーザー管理者モードにログインする際のパスワードを変更する場合に本操作を行います。

注意

ユーザー管理者モードのパスワードは一般ユーザーには公開せず、定期的に変更してください。

手順

- 1 メニューパネルから「パスワード変更」を選択します。
コンテンツパネルにパスワード変更の項目が表示されます。
- 2 「一般ユーザーパスワード変更」タブおよび「ユーザー管理者パスワード変更」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。

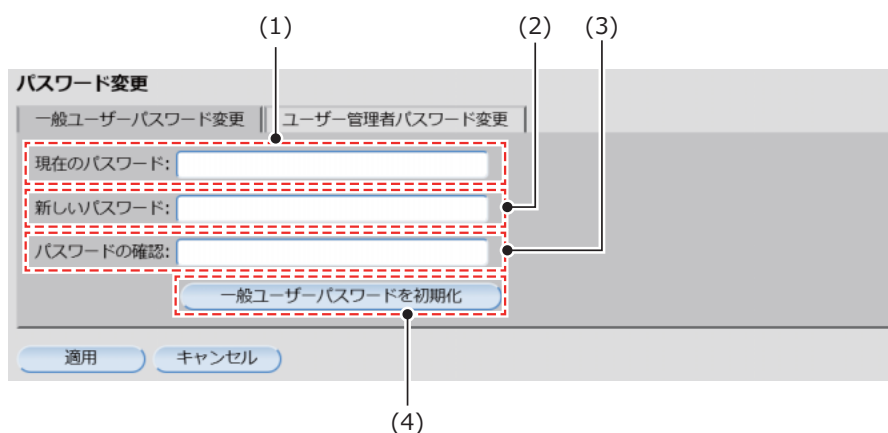


図 5.71 パスワード変更（一般ユーザー）

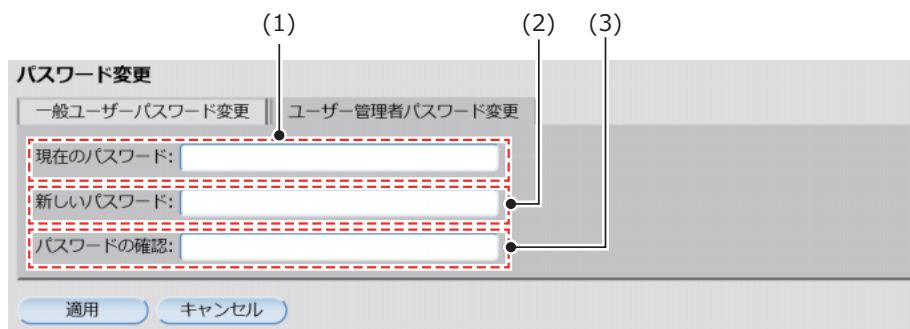


図 5.72 パスワード変更（ユーザー管理者）

表 5.32 パスワード変更の設定項目（一般ユーザー／ユーザー管理者）

番号	項目	説明
(1)	現在のパスワード	現在の一般パスワードを入力します。 入力した文字は「●」（黒丸）で表示されます。 一般ユーザーパスワードは、初回設定されていないため、初回変更時は、入力不要です。
(2)	新しいパスワード	新しい一般ユーザーパスワードを以下の制限内で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 文字数上限 16 文字 文字種別 半角英数字、"."（ドット） 入力した文字は「●」（黒丸）で表示されます。
(3)	パスワードの確認	新しいユーザーパスワードの入力が正しいかを確認するために、再度新しいパスワードを入力します。入力した文字は「●」（黒丸）で表示されます。
(4)	一般ユーザーパスワードを初期化	一般ユーザーのパスワードを初期化します。

「一般ユーザーパスワードを初期化」を押すと、確認画面が表示されます。
 「はい」を押すと、一般ユーザーのパスワードを初期化して、確認画面を閉じます。
 「いいえ」を押すと、一般ユーザーのパスワードを初期化せずに本画面を閉じます。

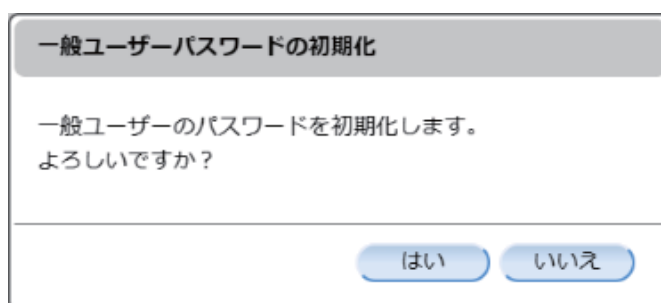


図 5.73 一般ユーザーパスワードの初期化画面

3 「適用」ボタンを押します。



5.2.9 一般ユーザーモード

ユーザー管理者モードから一般ユーザーモードに遷移する場合に操作します。
遷移後は一般ユーザーモードのメニュー表示になります。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「一般ユーザーモード」を選択します。
- 2 「OK」ボタンを押します。

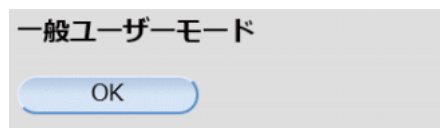


図 5.74 一般ユーザーモード

一般ユーザーモードに遷移します。



第6章 トラブルシューティング

本装置は、異常で停止した場合、Web-UI のメインパネルにエラーコードとメッセージを表示します。この内容に従って適切に処置する必要があります。

本装置の状態コードの内容を[表 6.1](#) に、エラーコード、メッセージ表示に対する復旧手順を[表 6.2](#) に示します。

注 意

プリンター装置の異常は、装置のマニュアルに従って対応してください。

表 6.1 状態コード一覧

状態コード	エラー発生原因の事象
50	オーバーレイデータエラー
58	送信ファイルチェック
80	チャンネル制御異常
82	メインフレーム帳票変換装置ハード異常
83	プロセス監視異常
84	ホストコマンドシーケンス異常
85	第 2FPD 系異常
87	描画処理異常
89	内部論理矛盾系異常
8A	ストレージ系異常
8B	通信 (LAN) 系異常
8C	オプション系異常
8D	プリンター装置要因
8E	ランリセット (システムリセット)
8F	ドライバ異常

表 6.2 エラーコード一覧

状態コード	エラーコード	メッセージ表示	状態内容	処置
50	ER50-XX	◇オーバーレイデータエラーが発生しました◇ リセットを押してください。	オーバーレイデータエラー	「リセット」ボタンを押してください。 再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
58	ER58-00	◇送信ファイルチェック◇ プリンター装置を確認してください。	送信エラー (送信中断)	送信ファイルを送信中に異常が発生しました。プリンター装置エラー要因を解除しエラージョブがある場合は削除後、本装置の「リセット」ボタンを押し、その後「スタート」ボタンを押してください。
	ER58-01		送信エラー (スプールフル)	プリンター装置でスプールフルが発生しています。プリンター装置のエラー要因を解除後、本装置の「リセット」ボタンを押し、その後「スタート」ボタンを押してください。

状態 コード	エラ ー コード	メ ッ セ ー ジ 表 示	状 態 内 容	処 置
80	ER80-00	担当 CE にご連絡ください。	FCLINK カード異常 (初期化時)	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER80-01		FCLINK カード異常 (運用時)	
	ER80-10		FC ドライバイン ターフェース異常	
	ER80-20		FCLINK カード スロット状態異常	
	ER80-3X		FC ドライバイン ターフェース異常	
	ER80-A0	◇装置エラー◇ ホスト接続を確認してくだ さい。	ホスト通信不可能 状態	富士通メインフレームとの接続を確認 してください。再度発生する場合は、 保守技術員（担当 CE）に連絡してく ださい。
82	ER82-0X	担当 CE にご連絡ください。	装置内ハードウェア 異常 (重要度：Critical)	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER82-10	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	装置内ハードウェア 異常 (重要度：Major)	本装置に重度（Major）のエラーが発 生しています。保守技術員（担当 CE） に連絡してください。
	ER82-11			
	ER82-12	担当 CE にご連絡ください。	装置内通信エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER82-13		未確認の装置内ハード ウェア異常発生	
	ER82-14	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	装置内通信異常	「リセット」ボタンを押してください。
	ER82-15	担当 CE にご連絡ください。	LAN ポート異常	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER82-20		メモリーエラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER82-30			
	ER82-44			
	ER82-53			
	ER82-CX			
83	ER83-1X	担当 CE にご連絡ください。	装置内論理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER83-40			
	ER83-60			

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
84	ER84-01	◇コマンドシーケンスエラーが発生しました◇ リセットを押してください。	コマンドシーケンスエラー (イメージ)	「リセット」ボタンを押してください。 再度発生する場合は、プログラムのデータを確認してください。
	ER84-02		コマンドシーケンスエラー (図形)	
	ER84-04		コマンドシーケンスエラー (QR コード)	
	ER84-80		コマンドシーケンスエラー (キャンセルスイッチ)	
	ER84-A0		コマンドシーケンスエラー (ページデータ混在)	
	ER84-A1		コマンドシーケンスエラー (SRR 未通知)	
85	ER85-52	◇フロッピー異常◇ 第2FPDを確認してください。	FPD データ形式異常	本装置の一般ユーザーモードの「第2FPD 設定」を確認し、間違っている場合は修正してください。本装置を再起動し、再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
87	ER87-XX	担当 CE にご連絡ください。	装置内論理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
89	ER89-XX	担当 CE にご連絡ください。	装置内処理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
8A	ER8A-2X	担当 CE にご連絡ください。	装置内処理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
	ER8A-30			
	ER8A-40			
	ER8A-52	◇ FPD 異常◇ 第2FPDを確認してください。	第2FPD ハードエラー	「リセット」ボタンを押してください。本装置の一般ユーザーモードの「第2FPD 設定」を確認し、間違っている場合は修正してください。再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
	ER8A-53	担当 CE にご連絡ください。	装置内処理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
	ER8A-54			
	ER8A-6X		SSD 異常	

状態コード	エラーコード	メッセージ表示	状態内容	処置
8B	ER8B-80	◇通信エラー◇ ネットワーク、プリンター装置を確認ください。	プリンター装置を接続できません。	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークとネットワーク関連装置の設定（ファイアウォールなど）と状態を確認してください。ネットワークに問題がある場合は、ネットワーク管理者に調査を依頼してください。 接続対象のプリンター装置が起動しているか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> プリンター装置が起動していない場合は、電源を投入し、プリンター装置を起動してください。 プリンター装置が起動している場合は、プリンター装置の設定の見直しと状態を確認してください。プリンターに問題がある場合は、プリンター装置の保守技術員に調査を依頼してください。 <p>上記確認後、「リセット」ボタンを押してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。</p>
	8B-8F			<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続対象のプリンター装置が起動しているか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> プリンター装置が起動していない場合は、電源を投入し、プリンター装置を起動してください。 プリンター装置が起動している場合は、プリンター装置の設定の見直しと状態を確認してください。プリンターに問題がある場合は、プリンター装置の保守技術員に調査を依頼してください。 ネットワークとネットワーク関連装置の設定と状態を確認してください。ネットワークに問題がある場合は、ネットワーク管理者に調査を依頼してください。 <p>上記確認後、「リセット」ボタンを押してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。</p>

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
8C	ER8C-21	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	NTP サーバーと接続 できません。	「リセット」ボタンを押してください。 ユーザー管理者モードの「日時設定」 の「NTP 接続」を確認し、間違ってい る場合は修正してください。再度発生 する場合は、保守技術員（担当 CE） に連絡してください。
	ER8C-22		装置内論理エラー	「リセット」ボタンを押してください。
	ER8C-23	担当 CE にご連絡ください。	装置内論理エラー	本装置を再起動してください。再度発 生する場合は、保守技術員（担当 CE） に連絡してください。
	ER8C-24		CHECK CODE が 正しくありません。	
	ER8C-A0	◇UPS 異常◇ UPS を確認してください。	UPS 異常 （過負荷状態）	「リセット」ボタンを押してください。 再度発生する場合は、保守技術員（担 当 CE）に連絡してください。
	ER8C-A1		UPS 異常 （バッテリー交換要）	
	ER8C-A2		UPS 異常 （バッテリー未装着）	本装置を再起動してください。再度発 生する場合は、保守技術員（担当 CE） に連絡してください。
	ER8C-A3		UPS と接続できませ ん。	「リセット」ボタンを押してください。 再度発生する場合は、保守技術員（担 当 CE）に連絡してください。
	ER8C-A4		UPS からの信号に より自動停止しまし た。	UPS および電源の状態を確認してくだ さい。
	ER8C-A5		UPS がバッテリー運 用になりました。	運用を停止して本装置をシャットダウ ンし、UPS および電源の状態を確認し てください。
8D	ER8D-40	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	プリンター認証エラー （ユーザー・パス ワード異常）	「リセット」ボタンを押してください。 プリンター装置の FTP ユーザー、パス ワードが変更されていないか確認して ください。 再度発生する場合は、保守技術員（担 当 CE）に連絡してください。
	ER8D-41	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡ください。	サポートしていない プリンターが接続さ れています。	本装置を再起動し、送信先設定の IP ア ドレスが正しいか確認してください。 再度発生する場合は、保守技術員（担 当 CE）に連絡してください。
	ER8D-4A	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	通信プロトコル異常 （論理プリンター異 常）	「リセット」ボタンを押してください。 プリンター装置の論理プリンターの設 定が正しいことと論理プリンターが 「起動」していることを確認してくだ さい。
	ER8D-4B		FTP 通信プロトコル 異常	「リセット」ボタンを押してください。 プリンター装置との通信に異常が発生 しました。プリンターの状態とネット ワークを確認してください。確認結果 に異常がなく、再度発生する場合は、 保守技術員（担当 CE）に連絡してく ださい。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
8E	ER8E-0X	◇システムリセットが発行 されました◇ リセットを押してください。	システムリセットを 検出しました。	「リセット」ボタンを押してください。
8F	ER8F-AA	担当 CE にご連絡ください。	装置内論理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。

付録 A 仕様

A.1 基本仕様

本装置の基本仕様を以下に示します。

表 A.1 基本仕様

項目		仕様
接続可能メインフレーム		GS21 3600/3400 モデルグループ GS21 2600/2400 モデルグループ PRIMEQUEST 3000 シリーズ OSIV/XSP 動作機構 PRIMEQUEST 2000 シリーズ OSIV/XSP 動作機構キット 2 / キット 3
接続インターフェース	富士通メインフレーム	FCLINK チャンネル (*1)、CTS チャンネル
	プリンター	Ethernet-LAN (1000BASE-T)
	運用管理端末	Ethernet-LAN (1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T)
	UPS	Ethernet-LAN (100BASE-TX / 10BASE-T)
データ形式		JEF (ラインプリンタモード) JEF/AP (ページプリンタモード)
起動時間 (目安)		1 分
装置寿命		5 年

*1: SCL5 および FCLS 経由可です。

注意

- Ethernet ケーブルは、EN 50173 および EN 50174-1/2 規格、または ISO/IEC 11801 規格にそれぞれ準拠する必要があります。
- プリンター装置と本装置の接続は、1000BASE-T による接続が必要です。
ツイストペアケーブル 1000BASE-T はカテゴリ 6、100BASE-TX/10BASE-T はカテゴリ 5 以上を使用してください。
- FCLINK ケーブルやツイストペアケーブルは、装置構成に応じて必要な本数を準備してください。

A.2 データ形式の仕様

データ形式の仕様を以下に示します。

表 A.2 JEF（ラインプリンタモード）

項目	仕様	
文字構成（横×縦）	英数字・カナ	最大24×40ドット（10CPI時）
	漢字	30×30ドット（9ポイント相当時）
文字間隔（*1）	英数字・カナ	10CPI、12CPI、15CPI
	漢字	10CPI（7ポイント相当） 8CPI（9ポイント相当） 15/2CPI（9ポイント相当） 20/3CPI（9ポイント相当） 6CPI（9、12ポイント相当） 5CPI（9、12ポイント相当）
行間隔	6LPI、8LPI、12LPI	
桁位置合わせ	水平スキップにて可能	
文字発生機構	基本：英数字・カナ 255字、漢字 18,432字 【JIS第一水準漢字+JIS非漢字（3418字）を含む】	
書体	明朝体、ゴシック体	
文字サイズ	漢字	7、9、12ポイント相当
	各サイズの倍角文字、平体文字、長体文字、 半角文字（半角対象文字種のみ）、および1/4角文字（1/4角対象文字種のみ）	
縦書き	文字を90°回転	
フォーマット印刷	書式オーバーレイ（ドット圧縮方式）	
	メモリ容量	基本：4MB 拡張オーバーレイメモリ（PS-R100A52）搭載時：20MB
バーコード印刷（*2）	標準JAN、短縮JAN、Code 3 of 9、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、物流用 標準、物流用拡張、EAN-13、Matrix 2 of 5、UPC（バージョンA）、UPC（バージョンE）、 UPC（バージョンE 圧縮形式）、カスタマバーコード、書留バーコード、 GS1-128、GS1-128（料金代理収納用）、QRコード（モデル2）、マイクロQRコード	
図形印刷	線分、円、円弧、面塗りなどが可能	
イメージ印刷	矩形の圧縮イメージ情報の印刷が可能 非圧縮／MH／MR／MMR（2値）方式をサポート	
拡大文字	9ポイント文字の3～8倍(整数倍)、10倍、12倍、14倍、16倍の印刷が可能	

*1: 表中の値は全角と長体（縦倍角）印刷時の値です。平体（横倍角）と倍角印刷時は1/2になり、半角と1/4角印刷時は2倍になります。

*2: バーコード印刷について
印刷濃度や用紙媒体等で品質が変化することがありますので十分な事前確認を行ってください。
なお、QRコードの品質は、出力モジュールサイズ9ドット以上で保証されます。
QRコード、マイクロQRコード印刷は、QRコード出力機構（PS-R100A56）が必須となります。
GS1-128（料金代理収納用）バーコードの印刷には、拡張バーコード出力機構（PS-R100A55）が必須となります。
バーコードは、従来装置（PS5600C）では240dpi印刷でしたが、本装置ではプリンター装置の600dpiに合せた描画となるため、大きさが異なる場合があります。

表 A.3 JEF/AP（ページプリンタモード）

項目	仕様	
文字構成（*1）	英数字・カナ・漢字（アウトラインフォント使用） （5.5ポイント以下はラスターフォントを基本的に使用する）	
文字間隔	任意の文字間隔が指定可能	
行間隔	任意の行間隔が指定可能	
桁位置合わせ	任意のメディア（文字／図形／イメージ）を任意の点に配置が可能	
文字発生機構	文字サイズ、書体により格納できる文字数が変化	
書体	フォント辞書（FONTLIB/XXX）で提供されている書体すべて印刷可能	
縮小印刷	APS（JEF/APスプール変換ユーティリティ）で指定可能	
文字サイズ	3～300ポイント	
文字の回転	任意角度での文字の回転が可能	
文字列の方向	上下左右の指定が可能	
フォーマット印刷	書式オーバーレイ（ベクトルオーバーレイ方式）	
	メモリ容量	基本：4MB 拡張オーバーレイメモリ（PS-R100A52）搭載時：20MB
バーコード印刷（*2）	標準JAN、短縮JAN、Code 3 of 9、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、 物流用標準、物流用拡張、EAN-13、Matrix 2 of 5、UPC（バージョンA）、 UPC（バージョンE）、UPC（バージョンE 圧縮形式）、カスタムバーコード、 GS1-128、GS1-128（料金代理収納用）、QRコード（モデル2）、マイクロQRコード	
図形印刷	線分、円、円弧、面塗りなどが可能（ISO/CGM準拠）	
イメージ印刷	矩形の圧縮イメージ情報の印刷が可能（ISO/CGM準拠） 非圧縮／MH／MR／MMR（2値）方式をサポート	

*1: JEF/AP（ページプリンタモード）の印刷結果は、JEF（ラインプリンタモード）の印刷結果と一部異なる場合があります。
このため、事前に印刷確認を行うことを推奨します。

*2: バーコード印刷について
印刷濃度や用紙媒体等で品質が変化することがありますので十分な事前確認が必要です。
QRコード、マイクロQRコード印刷は、QRコード出力機構（PS-R100A56）が必須となります。
バーコードは、従来装置（PS5600C）では400dpi印刷でしたが、本装置ではプリンター装置の600dpiに合せた描画
となるため、大きさが異なる場合があります。

A.3 印字範囲と印字禁止領域

本装置の印字範囲と印字禁止領域を以下に示します。

表 A.4 印字範囲と印字禁止領域

項目	データ形式	
	JEF（ラインプリンタモード）	JEF/AP（ページプリンタモード）
印字範囲（*1）	最大457.2mm（18.0インチ）（*3）	最大421.64mm（16.6インチ）
印字禁止領域（*2）	6LPI：ページの前後各2行（8.4mm） 8LPI：ページの前後各2行（6.35mm） 12LPI：ページの前後各3行（6.35mm）	ページの前後各6.35mm（1/4インチ） （ピッチに依存しない）

*1: 印字範囲は文字データの印字が可能な領域になります。

*2: 印字禁止領域は各ページの折り畳み用ミシン目近傍の印字を禁止する領域になります。

*3: 印字範囲を最大 457.2 mm (18.0 インチ) にするには、本装置の設定を初期値の 16.5 インチから 18 インチに変更する必要があります。詳細は、[\[5.1.6 印刷設定 \(JEF 設定\)\] \(P.84\)](#) を参照してください。

A.4 印刷範囲

本装置の印刷範囲を以下に示します。

印刷範囲はオーバーレイ・図形・イメージデータを印刷することが可能な領域で、印刷開始制御で設定したモード（Fモード/モード）により、印刷範囲と印刷開始位置が異なります。モードの切り替えは [「5.1.5 印刷設定（一般設定）」](#) を参照してください。

■ Fモード（標準）（*1）

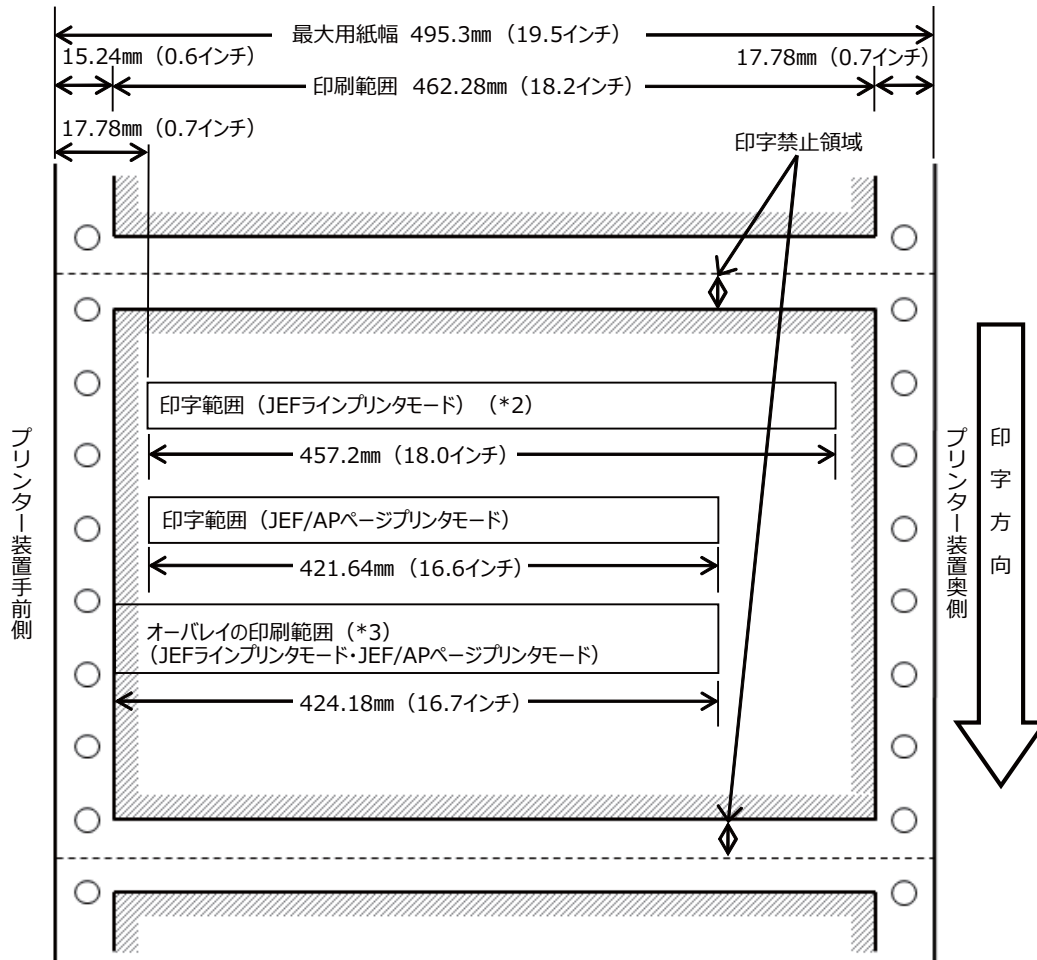


図 A.1 印刷範囲（Fモード）

- *1: 印刷開始位置は左端 0.6 インチ（文字は 0.7 インチ）です。
- *2: 印刷範囲を最大 462.28 mm (18.2 インチ) にするには、本装置の設定を初期値の 16.5 インチから 18 インチに変更する必要があります。詳細は、[「5.1.6 印刷設定（JEF 設定）」](#) (P.84) を参照してください。
- *3: オーバーレイについては、ADJUST の印刷範囲は最大 16.7 インチまでです。

- 幅 165.1 ～ 492.76 mm (6.5 ～ 19.4 インチ) の用紙の場合
用紙端よりプリンター装置正面側で 15.24 mm (0.6 インチ) とプリンター装置奥側で 15.24 mm (0.6 インチ) の範囲を除いた内側の部分が印刷範囲です。
- 幅 492.76 ～ 495.3 mm (19.4 ～ 19.5 インチ) の用紙の場合
用紙端よりプリンター装置正面側で 15.24 mm (0.6 インチ) から 462.28 mm (18.2 インチ) が印刷範囲です。

■ I モード（標準）(*1)

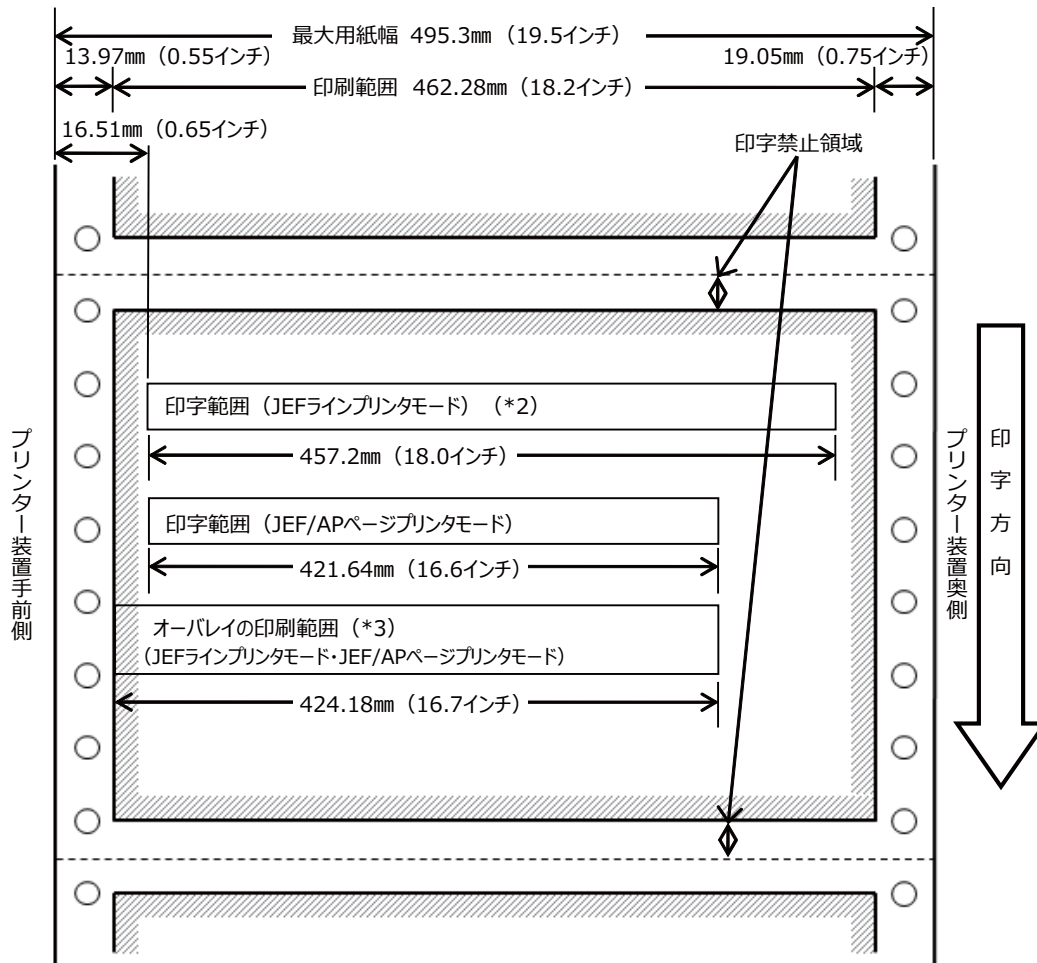


図 A.2 印刷範囲 (I モード)

- *1: 印刷開始位置は左端 0.55 インチ（文字は 0.65 インチ）です。
- *2: 印刷範囲を最大 462.28 mm (18.2 インチ) にするには、本装置の設定を初期値の 16.5 インチから 18 インチに変更する必要があります。詳細は、[「5.1.6 印刷設定 \(JEF 設定\)」\(P.84\)](#) を参照してください。
- *3: オーバレイについては、ADJUST の印刷範囲は最大 16.7 インチまでです。
- 幅 165.1 ～ 490.22 mm (6.5 ～ 19.3 インチ) の用紙の場合
用紙端よりプリンター装置正面側で 13.97 mm (0.55 インチ) とプリンター装置奥側で 15.24 mm (0.6 インチ) の範囲を除いた内側の部分が印刷範囲です。
 - 幅 490.22 ～ 495.3 mm (19.3 ～ 19.5 インチ) の用紙の場合
用紙端よりプリンター装置正面側で 13.97 mm (0.55 インチ) から 462.28 mm (18.2 インチ) が印刷範囲です。

A.5 通信要件

本装置で使用するネットワーク通信ポートを以下に示します。

表 A.5 ネットワーク通信ポート

通信ポート	プロトコル名	プロトコル種別	用途	ポート番号	TCPまたはUDP
LAN1 LAN2	FTP	一般通信プロトコル	プリンター通信	20/21 (固定)	TCP
	HTTP		運用管理端末通信	80 (固定)	
	NTP			8080 (固定)	
			NTPサーバー通信	123 (固定)	
	PowerChute Network Shutdown	独自通信プロトコル	UPS 通信	3052 (デフォルト)	UDP TCP

付録 B 非互換一覧

富士通メインフレームから PS5000 シリーズプリンタにチャンネル直結で印刷する場合（従来構成）と、富士通メインフレームから本装置を中継して CF191/CF168 プリンターに印刷する場合の相違点を以下に示します。
 なお、各装置の操作や設定内容などの違いは、[表 2.1](#) を参照してください。

表 B.1 従来構成と富士通メインフレーム + 本装置 + CF191/CF168 との相違点

分類	項目	従来構成（富士通メインフレーム + PS5600CK）	富士通メインフレーム + 本装置 + CF191/CF168
システム構成	ホスト I/F	BMC/PSD チャンネル	FCLINK/CTS チャンネル
	運用管理端末	プリンタの操作パネル操作のため不要	<ul style="list-style-type: none"> 本装置 Web-UI による操作のため、ブラウザ搭載 PC および LAN 接続が必要 運用管理端末は Print Station の端末と共用可能
	装置構成	プリンタ装置単体	本装置 + プリンター装置 + 運用管理端末
印刷関連	解像度	240dpi/400dpi/600dpi	600dpi (*1)
	バーコード	従来バーコード描画	バーコードの指定サイズによっては解像度 600dpi に合わせて描画するため、バーコードの大きさが従来と異なる場合あり
	マーク印刷	コピーセパレーションマーク (*2) マークフォーム (*3)	コピーセパレーションマーク 従来装置（PS5600C）でのコピーセパレーションとは仕様が異なりますので、 「付録 I マーク印刷」(P.168) を参照してください。
	2up 印刷	サポート	非サポート
	セルフリカバリ	サポート	非サポート
	ジョブ名表示	プリンタ装置の操作パネルに表示	本装置の運用管理端末
運用	印刷単位	ホストでのライタ操作に依存	プリンターへの送信ファイル単位 (*4)
	操作方法	プリンタ装置の操作パネルで操作	プリンター装置の操作パネル（Print Station 含む）、および本装置の Web-UI で操作
	装置のトラブル対応	プリンタ装置トラブルのホスト報告あり	<ul style="list-style-type: none"> 本装置トラブルのホスト報告あり プリンター装置トラブルのホスト報告なし
		プリンタ装置の操作パネルでトラブル要因を確認して対応する	本装置の Web-UI、またはプリンター装置の操作パネルでトラブル要因を確認して対応する
	電源連動制御	ホストからプリンタ装置の電源 ON/OFF 指示が可能	非サポート

分類	項目	従来構成（富士通メインフレーム +PS5600CK）	富士通メインフレーム + 本装置 +CF191/CF168
設置	設置性	プリンタ装置のみ	本装置（*5）+ プリンター装置 + 運用管理端末（*6）
	接続（ケーブルの敷設）	ホスト - プリンタ装置間を BMC/PSD チャンネル用ケーブルで接続する	<ul style="list-style-type: none"> • FCLINK ケーブル ホスト - 本装置間 • ツイストペアケーブル 本装置 - プリンター装置間 本装置 - 運用管理端末間 本装置 - UPS 間
	無停電電源装置（UPS）	プリンタ装置に内蔵	本装置：サポート（*7） CF191/CF168：プリンター装置に内蔵

- *1: 240dpi と 400dpi はプリンター装置の解像度に合わせ 600dpi に変換して出力されます。
- *2: コピーセパレーションとは、用紙のミシン目上の左端に 1 本または 2 本の短いたて棒のマーク（コピーセパレーションマーク）を印刷するもので、オペレータの用紙の仕分けを支援するものです。
- *3: マークフォームとは、ジョブの切れ目が分かるように、用紙のミシン目にマーク（ジョブセパレーションマーク）付きの白紙ページを出力するものです。
- *4: ホストから受信した印刷データは、必要に応じて分割された送信ファイルとしてプリンターへ送信されます。詳細については、[「5.1.9 送信ファイル設定」\(P.93\)](#) を参照してください。
- *5: 本装置はラックマウントタイプ（1U）のため、サーバーラックへの搭載が必要です。
- *6: 運用管理端末を設置するため、机が必要です。
- *7: サポートする無停電電源装置（UPS）は [「付録 F 周辺機器（推奨）」\(P.151\)](#) を参照してください。

付録 C 設置諸元

C.1 設置条件（プリンター装置、運用管理端末、および UPS を除く）

本装置の設置条件を以下に示します。

表 C.1 設置条件

項目	仕様
外形寸法（幅×奥行き×高さ）	483mm×771mm×43mm（1U）
質量	約 12.0kg（15.9kg：ラックレール含む）
入力電源	AC 100V±10%（50/60Hz）
消費電力（皮相電力）	約 420W（424kVA）
入力電源コンセント形状	3 ピン形状（平行 2P アース極付）、3m
温度条件	10 ～ 35 ℃（動作時）
湿度条件	10 ～ 85%（結露なきこと）
騒音	39dB(A)（動作時）
発熱量	約 1.512MJ/h

表 C.2 設置条件（ラック搭載）

項目	仕様
ラックでの取り付け時の奥行き	771mm
ラックサイズ	1U
19 インチラックマウント	対応
ラックでのケーブル配線時の奥行き	200mm（1000mm ラックを推奨）

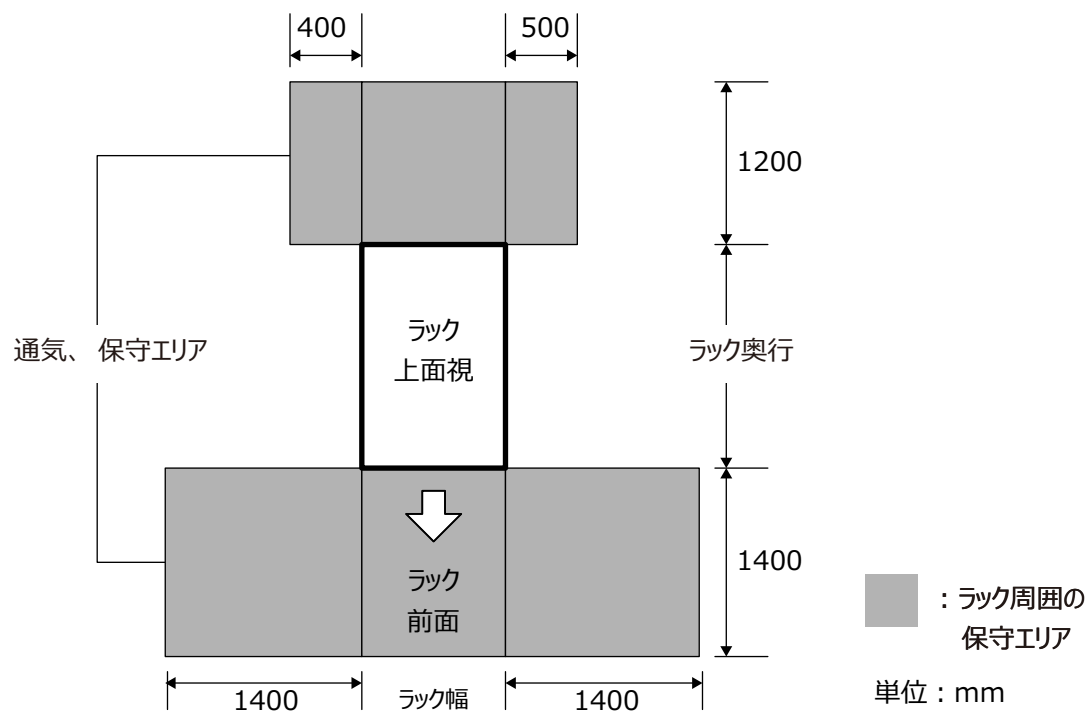


図 C.1保守エリア

付録 D オプション機構

本装置のオプション機構を以下に示します。

表 D.1 オプション

項	名称	型名	JEF	JEF/AP	備考
1	2 チャンネルスイッチ	PS-R100A51	○	○	2 台のホストを接続し、切り替え操作を行い利用する場合に必要なオプション
2	拡張オーバレイ機構	PS-R100A52	○	○	基本部 4MB から 20MB 分までフォームオーバレイデータを収容可能にするために必要なオプション
3	拡張文字パターン出力機構	PS-R100A53		○	JEF（ラインプリンタモード）で使用していた、明朝フォントまたはゴシックフォントの 7、9、12 ポイント以外に JEF/AP（ページプリンタモード）で任意の文字サイズ、教科書体や毛筆体など各種フォントを追加で使用する場合に必要メモリ。 JEF/AP（ページプリンタモード）印刷時のみ有効 < PS-R100A54 必須 >
4	JEF/AP 出力機構	PS-R100A54		○	JEF/AP（ページプリンタモード）印刷時に必要なオプション
5	拡張バーコード出力機構	PS-R100A55	○		JEF（ラインプリンタモード）にて GS1-128（料金代理収納用）バーコードを印刷する場合に必要なオプション
6	QR コード出力機構	PS-R100A56	○	○	QR コード印刷をする場合に必要オプション

付録 E 装置添付品

本装置の装置添付品を以下に示します。[表 E.1](#) を参照して、添付品に漏れがないかご確認ください。
万一、欠品などがありましたら、担当営業員に連絡してください。

- 添付のリカバリ／セットアップディスクは、システムの変更時やファームウェアの再インストール時に必要となるため、大切に保管してください。
- 本書に記載の添付品のほかに、注意書きの紙が入っている場合があります。
- QR コードは、(株) デンソーウェーブの登録商標です。

表 E.1 装置添付品

項	名称	個数	用途／備考
1	電源コード	1本	3m、平行2ピン、アース極付き
2	ラックレールキット	1式	ラックレール (1セット) ネジキット (1式) <ul style="list-style-type: none"> センタリングスクリュー (4個) M5 皿ネジ (2個) イージーマウントクリップアンロック治具 (1個)
3	ラックレールキット 取り付け手順	1部	
4	ケーブルクランプホルダー	1個	
5	Fujitsu メインフレーム帳票変換装置 連帳プリンター接続モデル (PS-R110Ax) 取扱説明書 (CD)	1枚	このマニュアル
6	SSD リカバリディスク Fujitsu メインフレーム帳票変換装置 連帳プリンター接続モデル (PS-R110Ax) (DVD)	1枚	保守作業用に使用
7	システムボード セットアップディスク (BIOS/iRMC) Fujitsu メインフレーム帳票変換装置 連帳プリンター接続モデル (PS-R110Ax) (CD)	1枚	保守作業用に使用
8	FCLINK カード セットアップディスク Fujitsu メインフレーム帳票変換装置 (CD)	1枚	保守作業用に使用
9	はじめにお読みください	1部	
10	安全上のご注意	1部	
11	装置添付品	1部	
12	試験成績書	1部	
13	ライセンスシート	1～5枚	ご購入されたオプション (*1) ごとに1枚添付されます。 ライセンスは保守技術員 (担当 CE) が登録します。

- *1: 対象オプションは、以下のとおりです。
- 拡張オーバーレイ機構 (PS-R100A52)
 - 拡張文字パターン出力機構 (PS-R100A53)
 - JEF/AP 出力機構 (PS-R100A54)
 - 拡張バーコード出力機構 (PS-R100A55)
 - QR コード出力機構 (PS-R100A56)

付録 F 周辺機器（推奨）

使用を推奨する周辺機器を以下に示します。

表 F.1 推奨周辺機器

項	名称	型名	備考
1	Smart-UPS SMT 1500RMJ	PY-UPAR152	瞬時の停電や電圧低下時に電源を供給したり、長時間の停電時にチャネル接続機構を正常に電源 OFF したりするための無停電電源装置
2	Smart-UPS SMT 1200RMJ	PY-UPAR122	
3	ネットワークマネジメントカード	PY-UPC01	Smart-UPS SMT 1500RMJ と Smart-UPS SMT 1200RMJ の LAN 接続用オプションカード LAN で接続することにより、UPS の状態監視や ON/OFF の制御をリモートで行うことが可能 UPS の背面パネルにある拡張用スロットに装着

付録 G 定期保守のお願い

本装置の定期保守を実施する際のお願い事項を記載します。

- 保守技術員用の PC が持ち込めない際に、お客様の運用管理端末を本装置のファームウェアアップデート作業などで使用させていただく場合があります。
- 動作確認のため、お客様にプリンター装置の操作を行っていただく場合があります。
- CF191/CF168 の定期保守をする場合に本装置の電源 OFF を実施してください。

付録 H プリンター設定一覧

本装置から CF191/CF168 に印刷するために必要となるプリンターの設定値を以下に示します。

表 H.1 システム設定

設定名称				設定値	備考	設定変更可否 ×：変更不可 △：変更可 ○：推奨
サーバー設定	サーバーとレポートリスト出力	レポートリストの出力設定単位		inch		△
サーバー設定	UIの言語設定	単位		inch		△
ネットワーク設定	プリントサーバー	IPv4	IPアドレス	IPアドレス	本装置のWeb-UI「送信先設定」の「IPアドレス」と設定を合わせてください。	△
	プリントサーバー	IPv4	サブネットマスク	サブネットマスク		△
ネットワーク設定	プリントサーバー	IPv4	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ		△
ネットワーク設定	UIクライアント	通信タイムアウト（分）		3		△
ネットワーク設定	UIクライアント	ポート番号		8888		△
ネットワーク設定	UIクライアント	同時接続可能なクライアントの最大数		20		△
ネットワーク設定	UIクライアント	許可するアドレスを制限する		チェックしない		△
ネットワーク設定	UIクライアント	許可するアドレス		－		△
プロトコル設定	FTPサーバー	FTPサーバー		起動	設定値を変更しないでください。	×
プロトコル設定	FTPサーバー	ログインタイムアウト値（秒）		30	設定値を変更しないでください。	×
プロトコル設定	FTPサーバー	データ受信のタイムアウト値（秒）		600	設定値を変更しないでください。	×
プロトコル設定	FTPサーバー	受信可能な最大ファイルサイズ（MB）		0（制限なし）	設定値を変更しないでください。	×
プロトコル設定	FTPサーバー	FTP接続ユーザー	ユーザー	PS-R11_USER	設定値を変更しないでください。	×
プロトコル設定	FTPサーバー	FTP接続ユーザー	パスワード	PS-R11_PASS	設定値を変更しないでください。	×
プロトコル設定	FTPサーバー	FTP接続ユーザー	デフォルト論理プリンター	PS-R11_Printer	設定値を変更しないでください。	×
プロトコル設定	FTPサーバー	FTP接続ユーザー	コメント	Fujitsu PS-R11 FTP User	設定値を変更しないでください。	×
ジョブ設定	サーバー	受信後にジョブを保留する		チェックしない	設定値を変更しないでください。	×

設定名称				設定値	備考	設定変更可否 ×：変更不可 △：変更可 ○：推奨
ジョブ設定	サーバー	プレビューを表示する		チェックする		○
ジョブ設定	サーバー	ジョブの処理順		受信開始順	設定値を変更しないでください。	×
ジョブ設定	サーバー	複数選択ジョブの処理順		受信開始順	設定値を変更しないでください。	×
ジョブ設定	サーバー	[ラスタースプールを使用する]に応じたジョブの処理		ラスタースプールを使用するジョブのみ処理する	設定値を変更しないでください。	×
ジョブ設定	サーバー	ジョブをすべて保持する		チェックしない	設定値を変更しないでください。	×
ジョブ設定	サーバー	指定日時にジョブを削除する		チェックしない	設定値を変更しないでください。	×
ジョブ設定	サーバー	スプール容量を超えたときにデータを削除する		チェックしない	設定値を変更しないでください。	×
ジョブ設定	サーバー		入力スプールから印刷完了ジョブを削除する	チェックしない	設定値を変更しないでください。	×
ジョブ設定	サーバー		RIPスプールから印刷完了ジョブのRIPデータを削除する	チェックしない	設定値を変更しないでください。	×
ジョブ設定	サーバー		スプール容量 (%)	90	設定値を変更しないでください。	×
ジョブ設定	プリンター	ジョブの前にセパレータをプリントする		チェックしない	設定値を変更しないでください。 (*1)	×
ジョブ設定	プリンター	ジョブの後にセパレータをプリントする		チェックしない	設定値を変更しないでください。 (*1)	×
ジョブ設定	ジョブ履歴	ジョブ履歴を保持する		チェックする		×
ジョブ設定	ジョブ履歴		次の期間まで保持する (日)	90		△
ジョブ設定	ジョブ履歴		次のレコードまで保持する	25000		△

設定名称				設定値	備考	設定変更可否 ×：変更不可 △：変更可 ○：推奨
ジョブ設定	ジョブ履歴	ジョブ履歴を自動的に転送する		チェックしない		○
ジョブ設定	ジョブ履歴		転送先		「転送先/接続先」で登録した転送先から選択可能	○
ジョブ設定	ジョブ履歴		時刻の指定方法	曜日/時刻		○
ジョブ設定	ジョブ履歴		保存内容			○
ジョブ設定	ジョブ履歴			日付順		○
ジョブ設定	ジョブ履歴			前回の自動保存移行		○
ジョブ設定	ジョブ履歴		ファイルの設定	チェックしない		○
ジョブ設定	ジョブ履歴			jobLog		○
ジョブ設定	ジョブ履歴			Shift-JIS		○
メッセージ設定	リスト	ポップアップ制御内容	面付けテンプレート名変更時の用紙確認	無効	設定値を変更しないでください。 (*2)	×
メッセージ設定	リスト	ポップアップ制御内容	起動直後の用紙確認	無効	設定値を変更しないでください。 (*2)	×
メッセージ設定	リスト	ポップアップ制御内容	面付けテンプレートのサイズとロードしている用紙サイズが異なる場合	無効	設定値を変更しないでください。 (*2)	×
メッセージ設定	リスト	ポップアップ制御内容	作成したラスタサイズとロードしている用紙サイズが異なる場合	無効	設定値を変更しないでください。 (*2)	×
メッセージ設定	リスト	ポップアップ制御内容	面付けテンプレート（デフォルト）で印刷する場合	無効	設定値を変更しないでください。 (*2)	×
メッセージ設定	リスト	ポップアップ制御内容	ストップスイッチを押したときの確認	無効	設定値を変更しないでください。 (*2)	×
通信履歴	通信履歴の保持設定	次の期間まで保持する（日）		7		○
通信履歴	通信履歴の保持設定	次のレコードまで保持する		100		○

*1: プリンター装置のセパレータ機能は使用しないでください。

*2: ポップアップ制御はすべて「無効」としてください。「有効」とした場合、ジョブ単位でポップアップメッセージが表示されるためその都度操作が必要となります。
他のシステムからの印刷時にポップアップ制御の設定を変更した場合は、本装置からの印刷の前に必ず「無効」に戻してください。

表 H.2 [入力ゲートウェイ]-[論理プリンター]

論理プリンターの設定				設定値	備考	設定変更可否 ×：変更不可 △：変更可 ○：推奨
プリンター名				PS-R11_Printer	本装置からの印刷時に使用する論理プリンターです。設定値を変更しないでください。	×
コメント				Fujitsu PS-R11 logical_printer	設定値を変更しないでください。	×
論理プリンターを起動する				チェックする	設定値を変更しないでください。	×
ジョブを処理する				チェックする	設定値を変更しないでください。	×
ゲートウェイ				FTP(File Transfer Protocol)	設定値を変更しないでください。	×
ジョブプロパティ	テンプレートから選択			チェックする	登録されているテンプレートから選択します。 [入力ゲートウェイ]-[ジョブテンプレート]で作成した "template_PS-R11"を選択してください。	×
ジョブの種類				通常		×

表 H.3 [入力ゲートウェイ]-[ジョブテンプレート]

ジョブテンプレートの設定				設定値	備考	設定変更可否 ×：変更不可 △：変更可 ○：推奨
テンプレート名				template_PS-R11	本装置からの印刷時に使用するジョブテンプレートです。設定値を変更しないでください。	×
コメント				Fujitsu PS-R11 template		×
このテンプレートが割り当てられている論理プリンター				PS-R11_Printer	選択した論理プリンターにテンプレートを割り当てます。 "PS-R11_Printer"を選択します。	×
部数				1	設定値を変更しないでください。	×

ジョブテンプレートの設定				設定値	備考	設定変更可否 ×：変更不可 △：変更可 ○：推奨
ジョブ プロパティ	設定 (操作パネル) / 詳細設定-設定 (Print Station)	基本 (操作パネル) / 設定 (Print Station)	出力先の設定	プリント	設定値を変更しないでください。	×
			プリント完了後にジョブを保持	チェックする	プリンター装置での再印刷が可能となります。(*1)	×
			RIPデータを保持	チェックしない	設定値を変更しないでください。	×
			原稿ページ範囲	全ページ	設定値を変更しないでください。	×
			出力ページ範囲	全ページ	設定値を変更しないでください。	×
			フォルダー	#共通		△
			タグ	(空欄)		△
		処理オプション	RIPの種類	CPSI	設定値を変更しないでください。	×
			受信完了後にRIP処理を開始する	チェックする	設定値を変更しないでください。	×
			ラスタースプールを使用する	チェックする	設定値を変更しないでください。	×
			RIP完了後にプリントを開始する	チェックする	設定値を変更しないでください。	×
			ジョブ削除を許可する	チェックする		○
		リソースセット	リソースセット	SYSTEM_DEFAULT	設定値を変更しないでください。	×
		セキュリティ	セキュリティプリントする	チェックしない		×

ジョブテンプレートの設定				設定値	備考	設定変更可否 ×：変更不可 △：変更可 ○：推奨
ジョブ プロパティ	レイアウト（操 作パネル） / 詳細設定-レイ アウト （Print Station）	面付け設定	テンプレート名	PS- R11_110_0_1	設定値を変更しないで ください。	×
			原稿の向き	自動判別	設定値を変更しないで ください。	×
			ページ長	面付けの設定 に従う	設定値を変更しないで ください。	×
		面付け済みペー ジの加工	面付け済みペー ジのページ番号	使用しない	設定値を変更しないで ください。	×
		ページ番号	ページ番号	使用しない	設定値を変更しないで ください。	×
	出力（操作パネ ル） / 詳細設定-出力 （Print Station）	基本	最終ページから プリントする	チェックしな い	設定値を変更しないで ください。	×
			180度回転	チェックしな い	設定値を変更しないで ください。	×
			画像を左右反転 （鏡像）する	チェックしな い	設定値を変更しないで ください。	×
		マーク	マークの指定方 法	面付けテンプ レートの設定 に従う	設定値を変更しないで ください。	×
			ジョブマークを プリントする	チェックしな い	設定値を変更しないで ください。	×
			コピーマーク	チェックしな い	設定値を変更しないで ください。	×
			オフセットマー クをプリントす る	チェックしな い	設定値を変更しないで ください。	×
			リカバリーマー カーページをプ リントする	チェックしな い	設定値を変更しないで ください。	×
			リカバリーマー カーページに ジョブマークを プリントする	チェックしな い	設定値を変更しないで ください。	×
		プリント位置/ 倍率	プリント位置/ 倍率の調整を行 う	チェックしな い	設定値を変更しないで ください。	×

*1: スプール容量を超えた場合に印刷ができなくなるため、お客様の運用に合わせたジョブ設定を行う、または定期的なスプール容量の管理を行う必要があります。

表 H.4 【面付けテンプレートの登録情報一覧】

面付テンプレートの登録先リソースセットは「SYSTEM_DEFAULT」になります。設定値は変更しないでください。

項番	ヘッダー情報		製本方式	面付け設定					
	名前	コメント		出力シート設定			仕上がり設定		
				出力シート の幅 (dot)	出力シート の長さ (dot)	シート 枚数	仕上がり サイズ	カスタム サイズ	配置 する ページ の回転
1	PS-R11_035_0_1	Fujitsu_3.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	2100	1	A4	-	0
2	PS-R11_035_1_0	Fujitsu_3.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	2100	1	A4	-	0
3	PS-R11_040_0_1	Fujitsu_4.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	2400	1	A4	-	0
4	PS-R11_040_1_0	Fujitsu_4.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	2400	1	A4	-	0
5	PS-R11_045_0_1	Fujitsu_4.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	2700	1	A4	-	0
6	PS-R11_045_1_0	Fujitsu_4.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	2700	1	A4	-	0
7	PS-R11_050_0_1	Fujitsu_5.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	3000	1	A4	-	0
8	PS-R11_050_1_0	Fujitsu_5.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	3000	1	A4	-	0
9	PS-R11_055_0_1	Fujitsu_5.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	3300	1	A4	-	0
10	PS-R11_055_1_0	Fujitsu_5.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	3300	1	A4	-	0
11	PS-R11_060_0_1	Fujitsu_6.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	3600	1	A4	-	0
12	PS-R11_060_1_0	Fujitsu_6.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	3600	1	A4	-	0
13	PS-R11_065_0_1	Fujitsu_6.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	3900	1	A4	-	0
14	PS-R11_065_1_0	Fujitsu_6.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	3900	1	A4	-	0
15	PS-R11_070_0_1	Fujitsu_7.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	4200	1	A4	-	0
16	PS-R11_070_1_0	Fujitsu_7.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	4200	1	A4	-	0
17	PS-R11_075_0_1	Fujitsu_7.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	4500	1	A4	-	0
18	PS-R11_075_1_0	Fujitsu_7.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	4500	1	A4	-	0
19	PS-R11_080_0_1	Fujitsu_8.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	4800	1	A4	-	0
20	PS-R11_080_1_0	Fujitsu_8.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	4800	1	A4	-	0
21	PS-R11_085_0_1	Fujitsu_8.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	5100	1	A4	-	0

項番	ヘッダー情報		製本方式	面付け設定					
	名前	コメント		出力シート設定			仕上がり設定		
				出力 シート の幅 (dot)	出力 シート の長さ (dot)	シート 枚数	仕上がり サイズ	カスタム サイズ	配置 する ページ の回転
22	PS-R11_085_1_0	Fujitsu_8.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	5100	1	A4	-	0
23	PS-R11_090_0_1	Fujitsu_9.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	5400	1	A4	-	0
24	PS-R11_090_1_0	Fujitsu_9.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	5400	1	A4	-	0
25	PS-R11_095_0_1	Fujitsu_9.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	5700	1	A4	-	0
26	PS-R11_095_1_0	Fujitsu_9.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	5700	1	A4	-	0
27	PS-R11_100_0_1	Fujitsu_10.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	6000	1	A4	-	0
28	PS-R11_100_1_0	Fujitsu_10.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	6000	1	A4	-	0
29	PS-R11_105_0_1	Fujitsu_10.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	6300	1	A4	-	0
30	PS-R11_105_1_0	Fujitsu_10.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	6300	1	A4	-	0
31	PS-R11_110_0_1	Fujitsu_11.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	6600	1	A4	-	0
32	PS-R11_110_1_0	Fujitsu_11.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	6600	1	A4	-	0
33	PS-R11_115_0_1	Fujitsu_11.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	6900	1	A4	-	0
34	PS-R11_115_1_0	Fujitsu_11.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	6900	1	A4	-	0
35	PS-R11_120_0_1	Fujitsu_12.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	7200	1	A4	-	0
36	PS-R11_120_1_0	Fujitsu_12.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	7200	1	A4	-	0
37	PS-R11_125_0_1	Fujitsu_12.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	7500	1	A4	-	0
38	PS-R11_125_1_0	Fujitsu_12.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	7500	1	A4	-	0
39	PS-R11_130_0_1	Fujitsu_13.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	7800	1	A4	-	0
40	PS-R11_130_1_0	Fujitsu_13.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	7800	1	A4	-	0
41	PS-R11_135_0_1	Fujitsu_13.5inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	8100	1	A4	-	0
42	PS-R11_135_1_0	Fujitsu_13.5inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	8100	1	A4	-	0
43	PS-R11_140_0_1	Fujitsu_14.0inch_Mark_OFF	カスタム レイアウト	11700	8400	1	A4	-	0
44	PS-R11_140_1_0	Fujitsu_14.0inch_Mark_ON	カスタム レイアウト	11700	8400	1	A4	-	0

項 番	ヘッダー情報		配置	その他
	名前	コメント	面付け設定（操作パネル） 配置設定（PrintStation）	面付け設定（操作パネル） その他の設定（PrintStation）
			印字面	配置ページ原点
1	PS-R11_035_0_1	Fujitsu_3.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
2	PS-R11_035_1_0	Fujitsu_3.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
3	PS-R11_040_0_1	Fujitsu_4.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
4	PS-R11_040_1_0	Fujitsu_4.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え
5	PS-R11_045_0_1	Fujitsu_4.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
6	PS-R11_045_1_0	Fujitsu_4.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
7	PS-R11_050_0_1	Fujitsu_5.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
8	PS-R11_050_1_0	Fujitsu_5.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え
9	PS-R11_055_0_1	Fujitsu_5.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
10	PS-R11_055_1_0	Fujitsu_5.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
11	PS-R11_060_0_1	Fujitsu_6.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
12	PS-R11_060_1_0	Fujitsu_6.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え
13	PS-R11_065_0_1	Fujitsu_6.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
14	PS-R11_065_1_0	Fujitsu_6.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
15	PS-R11_070_0_1	Fujitsu_7.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
16	PS-R11_070_1_0	Fujitsu_7.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え
17	PS-R11_075_0_1	Fujitsu_7.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
18	PS-R11_075_1_0	Fujitsu_7.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
19	PS-R11_080_0_1	Fujitsu_8.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
20	PS-R11_080_1_0	Fujitsu_8.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え
21	PS-R11_085_0_1	Fujitsu_8.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
22	PS-R11_085_1_0	Fujitsu_8.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
23	PS-R11_090_0_1	Fujitsu_9.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
24	PS-R11_090_1_0	Fujitsu_9.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え
25	PS-R11_095_0_1	Fujitsu_9.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
26	PS-R11_095_1_0	Fujitsu_9.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
27	PS-R11_100_0_1	Fujitsu_10.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
28	PS-R11_100_1_0	Fujitsu_10.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え
29	PS-R11_105_0_1	Fujitsu_10.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
30	PS-R11_105_1_0	Fujitsu_10.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
31	PS-R11_110_0_1	Fujitsu_11.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
32	PS-R11_110_1_0	Fujitsu_11.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え
33	PS-R11_115_0_1	Fujitsu_11.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
34	PS-R11_115_1_0	Fujitsu_11.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
35	PS-R11_120_0_1	Fujitsu_12.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
36	PS-R11_120_1_0	Fujitsu_12.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え
37	PS-R11_125_0_1	Fujitsu_12.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
38	PS-R11_125_1_0	Fujitsu_12.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
39	PS-R11_130_0_1	Fujitsu_13.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
40	PS-R11_130_1_0	Fujitsu_13.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え
41	PS-R11_135_0_1	Fujitsu_13.5inch_Mark_OFF	片面	左上揃え

項 番	ヘッダー情報		配置	その他
	名前	コメント	面付け設定（操作パネル） 配置設定（PrintStation）	面付け設定（操作パネル） その他の設定（PrintStation）
			印字面	配置ページ原点
42	PS-R11_135_1_0	Fujitsu_13.5inch_Mark_ON	片面	左上揃え
43	PS-R11_140_0_1	Fujitsu_14.0inch_Mark_OFF	片面	左上揃え
44	PS-R11_140_1_0	Fujitsu_14.0inch_Mark_ON	片面	左上揃え

項番	ヘッダー情報		オプション							
	名前	コメント	ジョブ マークを プリント する	コピーマーク		オフ セット マークを プリント する	ジョブ のオフ セット 設定を 有効に する	リカバリーマーク ページ		ページ長
				コピー マーク	切り替 え単位			リカバリー マーク ページを プリント する	リカバリー マーク ページに ジョブマ ークを プリント する	
1	PS- R11_035_0_1	Fujitsu_3.5inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
2	PS- R11_035_1_0	Fujitsu_3.5inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
3	PS- R11_040_0_1	Fujitsu_4.0inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
4	PS- R11_040_1_0	Fujitsu_4.0inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
5	PS- R11_045_0_1	Fujitsu_4.5inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
6	PS- R11_045_1_0	Fujitsu_4.5inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
7	PS- R11_050_0_1	Fujitsu_5.0inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
8	PS- R11_050_1_0	Fujitsu_5.0inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
9	PS- R11_055_0_1	Fujitsu_5.5inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
10	PS- R11_055_1_0	Fujitsu_5.5inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
11	PS- R11_060_0_1	Fujitsu_6.0inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
12	PS- R11_060_1_0	Fujitsu_6.0inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
13	PS- R11_065_0_1	Fujitsu_6.5inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
14	PS- R11_065_1_0	Fujitsu_6.5inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
15	PS- R11_070_0_1	Fujitsu_7.0inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う

項番	ヘッダー情報		オプション							
	名前	コメント	ジョブ マーク をプ リ ン ト する	コピーマーク		オフ セット マーク をプ リ ン ト する	ジョブ のオフ セット 設定を 有効に する	リカバリーマーク ページ		ページ長
				コピー マーク	切り替 え単位			リカバリー マーク ページを プリント する	リカバリー マーク ページに ジョブマ ークをプ リント する	
16	PS- R11_070_1_0	Fujitsu_7.0inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
17	PS- R11_075_0_1	Fujitsu_7.5inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
18	PS- R11_075_1_0	Fujitsu_7.5inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
19	PS- R11_080_0_1	Fujitsu_8.0inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
20	PS- R11_080_1_0	Fujitsu_8.0inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
21	PS- R11_085_0_1	Fujitsu_8.5inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
22	PS- R11_085_1_0	Fujitsu_8.5inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
23	PS- R11_090_0_1	Fujitsu_9.0inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
24	PS- R11_090_1_0	Fujitsu_9.0inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
25	PS- R11_095_0_1	Fujitsu_9.5inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
26	PS- R11_095_1_0	Fujitsu_9.5inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
27	PS- R11_100_0_1	Fujitsu_10.0inc h_Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
28	PS- R11_100_1_0	Fujitsu_10.0inc h_Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
29	PS- R11_105_0_1	Fujitsu_10.5inc h_Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
30	PS- R11_105_1_0	Fujitsu_10.5inc h_Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う

項番	ヘッダー情報		オプション							
	名前	コメント	ジョブ マーク をプ リ ン ト する	コピーマーク		オフ セット マーク をプ リ ン ト する	ジョブ のオフ セット 設定を 有効に する	リカバリーマーカー ページ		ページ長
				コピー マーク	切り替 え単位			リカバリー マーカー ページを プリント する	リカバリー マーカー ページに ジョブマ ークをプ リント する	
31	PS-R11_110_0_1	Fujitsu_11.0inch h_Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
32	PS-R11_110_1_0	Fujitsu_11.0inch h_Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
33	PS-R11_115_0_1	Fujitsu_11.5inch _Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
34	PS-R11_115_1_0	Fujitsu_11.5inch _Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
35	PS- R11_120_0_1	Fujitsu_12.0inc h_Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
36	PS- R11_120_1_0	Fujitsu_12.0inc h_Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
37	PS- R11_125_0_1	Fujitsu_12.5inc h_Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
38	PS- R11_125_1_0	Fujitsu_12.5inc h_Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
39	PS- R11_130_0_1	Fujitsu_13.0inc h_Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
40	PS- R11_130_1_0	Fujitsu_13.0inc h_Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
41	PS- R11_135_0_1	Fujitsu_13.5inc h_Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
42	PS- R11_135_1_0	Fujitsu_13.5inc h_Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
43	PS- R11_140_0_1	Fujitsu_14.0inc h_Mark_OFF	なし	プリント しない	－	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う
44	PS- R11_140_1_0	Fujitsu_14.0inc h_Mark_ON	なし	全シート にプリン トする	ジョブ ごと	なし	なし	なし	なし	面付けの 設定に従 う

項番	ヘッダー情報		用紙/配置/その他 共通	
	名前	コメント	ページ/マークリスト	
			おもて ページ/マーク	
			オフセット位置	ユーザーマーク
1	PS-R11_035_0_1	Fujitsu_3.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
2	PS-R11_035_1_0	Fujitsu_3.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
3	PS-R11_040_0_1	Fujitsu_4.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
4	PS-R11_040_1_0	Fujitsu_4.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
5	PS-R11_045_0_1	Fujitsu_4.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
6	PS-R11_045_1_0	Fujitsu_4.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
7	PS-R11_050_0_1	Fujitsu_5.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
8	PS-R11_050_1_0	Fujitsu_5.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
9	PS-R11_055_0_1	Fujitsu_5.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
10	PS-R11_055_1_0	Fujitsu_5.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
11	PS-R11_060_0_1	Fujitsu_6.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
12	PS-R11_060_1_0	Fujitsu_6.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
13	PS-R11_065_0_1	Fujitsu_6.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
14	PS-R11_065_1_0	Fujitsu_6.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
15	PS-R11_070_0_1	Fujitsu_7.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
16	PS-R11_070_1_0	Fujitsu_7.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
17	PS-R11_075_0_1	Fujitsu_7.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
18	PS-R11_075_1_0	Fujitsu_7.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
19	PS-R11_080_0_1	Fujitsu_8.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
20	PS-R11_080_1_0	Fujitsu_8.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
21	PS-R11_085_0_1	Fujitsu_8.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
22	PS-R11_085_1_0	Fujitsu_8.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
23	PS-R11_090_0_1	Fujitsu_9.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし

項 番	ヘッダー情報		用紙/配置/その他 共通	
	名前	コメント	ページ/マークリスト	
			おもて ページ/マーク	
			オフセット位置	ユーザーマーク
24	PS-R11_090_1_0	Fujitsu_9.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
25	PS-R11_095_0_1	Fujitsu_9.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
26	PS-R11_095_1_0	Fujitsu_9.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
27	PS-R11_100_0_1	Fujitsu_10.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
28	PS-R11_100_1_0	Fujitsu_10.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
29	PS-R11_105_0_1	Fujitsu_10.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
30	PS-R11_105_1_0	Fujitsu_10.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
31	PS-R11_110_0_1	Fujitsu_11.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
32	PS-R11_110_1_0	Fujitsu_11.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
33	PS-R11_115_0_1	Fujitsu_11.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
34	PS-R11_115_1_0	Fujitsu_11.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
35	PS-R11_120_0_1	Fujitsu_12.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
36	PS-R11_120_1_0	Fujitsu_12.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
37	PS-R11_125_0_1	Fujitsu_12.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
38	PS-R11_125_1_0	Fujitsu_12.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
39	PS-R11_130_0_1	Fujitsu_13.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
40	PS-R11_130_1_0	Fujitsu_13.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
41	PS-R11_135_0_1	Fujitsu_13.5inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
42	PS-R11_135_1_0	Fujitsu_13.5inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
43	PS-R11_140_0_1	Fujitsu_14.0inch_Mark_OFF	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし
44	PS-R11_140_1_0	Fujitsu_14.0inch_Mark_ON	X:0.4inch Y:0.0inch	設定なし

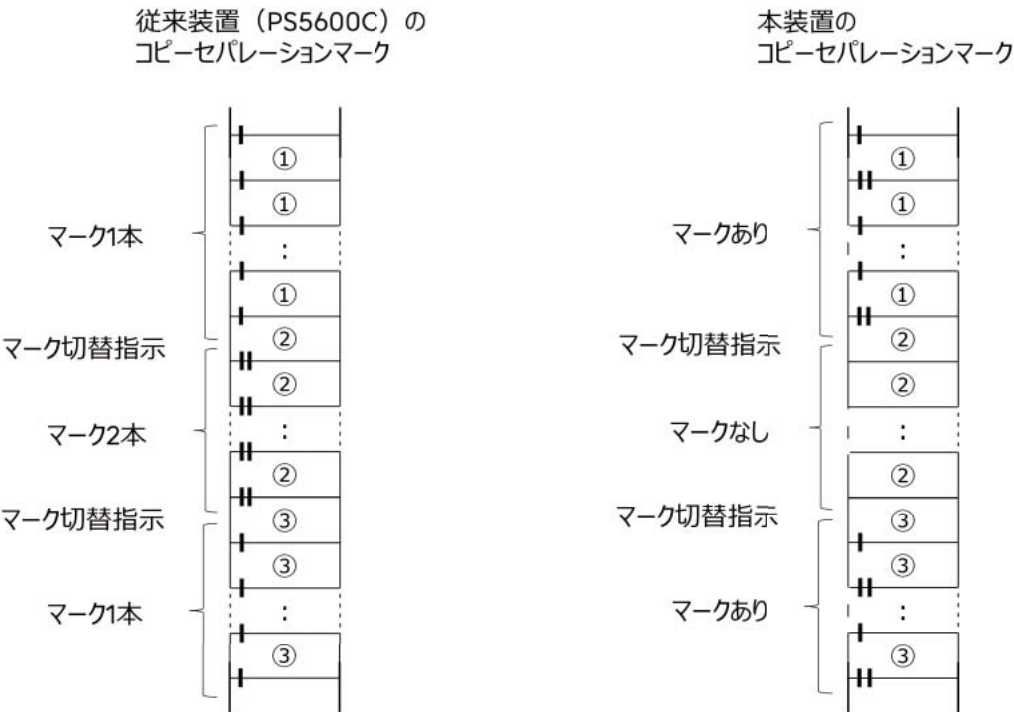
付録Ⅰ マーク印刷

本装置ではコピーセパレーションマークのみ使用できます。従来装置（PS5600C）で対応していたジョブセパレーションマークは使用できませんので、コピーセパレーションマークで代替してください。
また、本装置ではコピーセパレーションマークのマーク印刷が従来装置（PS5600C）と異なりますので、印刷済の用紙を仕分けする際、用紙カット位置を間違えないようにご注意ください。

表 I.1 用紙仕分け時のカット位置

装置	カット位置
従来装置	マークの本数が変化した箇所
本装置	マーク印刷のあり・なしが変化した箇所（*1）

*1: 印刷データの切り替わり（ジョブや SYSOUT ファイルの単位）に合わせ、コピーセパレーションマークの印刷あり・なしで切り替わります。本装置からプリンター装置へ分割して送信される送信ファイル単位でコピーセパレーションマークの本数は1本、2本で切り替わります。本数が切り替わっても1つのジョブや SYSOUT ファイルの可能性があり
ます。



※「マーク切替指示」は、ジョブやSYSOUTファイルの単位で各ライタから指示されます。

図 I.1 コピーセパレーションマークの差異イメージ

Fujitsu メインフレーム帳票変換装置
連帳プリンター接続モデル
取扱説明書

C145-0005-01Z3

発行日 2023 年 4 月
発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書の内容は、細心の注意を払って制作致しましたが、本書中の誤字、情報の抜け、本書情報の使用に起因する運用結果に関しましては、責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

FUJITSU